

# 注意事項

このファイルはページ数が多いので、見たい章に行くために、『**グーグルドキュメント**』をインストールして閲覧することをお勧めしています。

『**グーグルドキュメント**』を使って閲覧すると、「**目次機能**」が使えるので、すぐ見たい章まで飛ぶことができます。

『**グーグルドキュメント**』をまだインストールしていない人は、インストールして「**目次機能**」を使うことをお勧めします。

## 第1章 時制

### 1-A

1. わたしたちは6年前に中学で会ってからお互いを知っている。

③

since ~という表現に注目。since ~(~以来)は、「過去のある時から現在まで」という意味で、この「過去のある時から現在まで」を表現するのは、『現在完了形have Vpp』なので、これを表す③have knownが正解。

2. 「昨日の夜何してた？」

「テレビ見て、ピアノの練習して、宿題した。」

①

( )を含む一文の他の動詞の形に注目する。watched, practicedというように、過去形の動詞が使われているので、それと一致させて、過去形の①didを選択する。

3. わたしはその時シャワーを浴びていたので電話が鳴っているのに気づかなかった。

①

「シャワーを浴びていた」というのは、過去の一時点に進行中の動作なので、過去進行形①was takingが正解。

4. 次の日曜日で、彼は3年間那覇にすることになる。

④

Next Sunday(次の日曜日)という表現に注目。「次の日曜日」というのは、未来の一時点で、「その時まで、三年間那覇にすることになる」という意味になるので、未来の一時点までの継続を表す未来完了形will have Vppの選択肢を選ぶ。したがって正解は、④will have stayed。

5. 姉は一晩中勉強していたのでとても眠そうだった。

④

主節の動詞seemedの時制が過去形であることに注目。「姉が眠そうに見えたのは、一晩中勉強していたからだ」というのが、英文の意味になり、「眠そうに見えた」という時点まで、勉強を継続していたことになるので、過去完了進行形had been Vingを選ぶ。したがって正解は、④had been studying。

6. 二時間前に会ったとき、葛島は図書館で勉強してたよ。

②

「二時間前に会ったとき」という過去の一時点で、葛島がしていた行動をどの時制で表すか考えるという問題なので、「過去の一時点で進行中の動作」を表す過去進行形was Vingを選ぶ。したがって正解は、②was studying。

7. メアリーは今日お休みです。北海道に行っています。

②

選択肢②は正しくは「has gone」で、タイプミスのため「has been」となっています。

have / has gone to ~「～に行ってしまった(そして、今ここにいない)」という意味があるので、  
②has goneが正解になります。

8. 先週から先生へのプレゼントを探してるんだけど、見つからない。

②

since last weekという表現に注目。(1)と同じように、sinceが使われているので、現在完了have Vppか現在完了進行形have been Vingを選択することになる。ここでは、選択肢②がhave been lookingという現在完了進行形なので、これが正解となる。

9. 彼は、その本を二年前に書いたと言った。

④

two years beforeという表現に注目。「～ before」という表現は、「(過去のある時点から)～前」という意味で、two years beforeは、「(過去のある時点から)2年前」という意味になる。今回は、主節のHe said「彼は言った」という時点から2年前という意味で使われている。

ここで、「言った」という過去の時点より前に「書いた」ということになるので、過去の二つの行動のうちより古い行動(大過去)を表現するのに適切な時制を選ぶことになる。そうすると、それを表現するのは過去完了形had Vppとなり、選択肢④had writtenが正解となる。

ポイント:「言った」より「書いた」方が古いので、過去完了形had Vppを使う。

10. 父は三日前に出張に行きました。

②

three days agoという表現に注目。「～ ago」という表現は、「(現在から)～前」という過去の一時点を表し、three days agoは、単に「3日前」という過去の一時点を表すので、選択肢②過去形wentを選ぶ。

11. 高校で、わたしたちは金閣寺は1397年に建てられたと習った。

③

in 1397という表現に注目。in 1397は「過去の一時点」なので、過去形を選ぶ。③was builtは、「受動態の過去形」なので、これが正解。

12. その男性は2011年に失業し、それ以来仕事を探し続けています。

③

(11)と同じように、in 2011という「過去の一時点」を表す表現が使われているので、過去形の③lostを選択する。

13. キム氏はただいまオフィスの外におります(外出しております)。いつ戻るかは分かりかねます。

④

「彼がいつ戻るかわからない」という意味の選択肢を選ぶ。「彼が戻る」のは未来のことなので、正解は、④will comeとなる。

ちなみに、なぜ①comesが正解にならないかは、(14)の解説を参照。

14. あなたが到着する時、父とわたしが空港で待っています。

①

「あなたが到着する時」は未来のことなので、未来形will arriveを選びたくなるが、ここで、『時・条件を表す副詞節では未来のことでも現在形』という重要な法則を使って判断する必要がある。「あなたが到着する時」は、「時を表す副詞節」なので、①現在形arriveが正解になる。

(13)は正解は④will comeとなっていて、なぜここは現在形ではないのか、という疑問が起こるかもしれませんが、(13)の「when he will come back」は、knowの目的語の名詞節で、副詞節ではないので、上記のルールは適用されないことになる。したがって、ここでは未来のことを、普通に未来形で表してもよい。

15. 父は、旅行から帰ったらすぐにわたしと話がしたいと言っている。

①

「旅行から帰ったらすぐに」の部分が表しているのは、「未来」。しかし、この部分は「時を表す副詞節」なので、現在形の選択肢を選ぶ。したがって正解は、①getsとなる。

16. 君が帰って来るまでテレビ見ながら家にいるよ。

①

「君が帰ってくるまで」の部分が表しているのは、「未来」しかし、この部分は「時を表す副詞節」なので、現在形の選択肢を選ぶ。したがって正解は、①you come backとなる。

17. 天気が良かったら、私たちは明日青空市場に行きます。

②

「天気が良かったら」の部分が表しているのは、「未来」しかし、この部分は「条件を表す副詞節」なので、現在形の選択肢を選ぶ。したがって正解は、②isとなる。

18. 今日の留学生歓迎パーティーに彼が来るかどうかを、彼女ははっきりとは知らない。

③

She is not sure if ~の意味は、「～かどうかを彼女ははっきりとは知らない」という意味で、「～かどうか」は名詞節。(if ~を「もし～なら」と訳す場合は、副詞節) 名詞節の場合は、未来のことを、普通に未来形で表すので、正解は③will comeとなる。

19. 去年は彼の誕生日に本をあげたけど、来週のパーティーではCDをあげるつもりだよ。

①

at the party next weekに注目。「来週のパーティー」は未来のことなので、①am going to giveを選ぶ。

20. この箱には30冊もの本が入っている。

①

この箱には30冊本が入っている、というのは現在のことなので、現在形①containsを選ぶ。

現在進行形④is containingを選べない理由は、現在進行形は、「現在に進行中の動作」を表すため。contain(入る、含む)というのは動作ではなく状態なので、現在進行形の選択肢を選ぶことはできない。

21. 姪っ子は7歳から英語を勉強してるんだよ。

③

(1)と同じように、since ~という表現が使われているので、現在完了形have Vppか現在完了進行形have been Vingがここで使える。選択肢③has been learningは現在完了進行形なので、これが正解となる。

22. 伊波と須田は普段週末に洗濯する。

②

usually ~ on weekendsという部分に注目する。「普段週末に」というところから、動詞が表すのは「習慣」だと考えられ、「習慣」を表すのは現在形なので、②doが正解となる。

23. 今週の日曜は何も予定ないけど、来週の日曜はおばさんの家に行くんだ。

②

next Sundayという部分に注目。「次の日曜日」は未来を表す表現。そして、現在進行形is/am/are Vingは「～する予定だ」という未来の予定を表すので、選択肢②I am visitingが正解。

24. 飛行機に乗るのは初めてだったんだ。前に飛行機に乗ったことがなかったから、すごく緊張したよ。

④

「前に飛行機に乗ったことがなかったから、すごく緊張した」というところから、「飛行機に乗る」と「緊張した」という二つの行動の前後関係が読み取れる。「飛行機に乗る」という話題のほうが「緊張した」より古いので、ここを過去完了形(大過去形)had Vppで表現する。したがって、④had not flownが正解。

## 1-B

P8

1. 僕がプラットフォームに着いたとき、電車はすでに到着していた。それで寒い中待つ必要はなかった。

①

「プラットフォームに着いたとき、電車はすでに到着していた」というところから、「着いた」と「到着していた」という二つの出来事の前後関係が読み取れる。「到着していた」のほうが「着いた」より古いので、ここを過去完了形(大過去形)had Vppで表現する。したがって、①had already arrivedが正解。

2. 重要な計画が話し合われていますので、ロバートは今会議を離れることはできません。

③

「重要な計画が話し合われている」というのは、現在進行中の動作なので、現在進行形を選ぶ。さらに、今回は、「話し合われている」という受動態を現在進行形で表現するので、現在進行形の受動態is being Vppという形が正解になる。よって、③is beingが正しい。



3. 「有名な物理学者のアルバート・アインシュタインが、肉を食べるのをやめてたって知ってた？」

「ああ、僕の記憶が正しければ、死ぬ前の1年、厳密なベジタリアンになったんだよ。」

④

内容面から判断すると、「アインシュタインは厳密なベジタリアンになった」とあるので、「肉を食べるのをやめた」という内容の選択肢を選ぶ。したがって正解は、④stopped eating。また、時制の点から考えても、「厳密なベジタリアンになった」というのは過去の行動なので、過去形stoppedが正解になる。

4. 次トモコに会う時、彼女の本を彼女に返します。

③

the next time S' V' という形は、「次S' V'する時」という未来を表す。そして、ここで、「時・条件を表す副詞節では未来のことでも現在形」というルールが適用されるので、空欄には、現在形③seeが入る。

5. もうすぐ雨がやんだら、散歩に行きませんか？

②

(4)と同じように、「もうすぐ雨がやんだら」というのは、「時・条件を表す副詞節」なので、現在形②stopsが正解。

6. ステラはわたしの電話番号をなくしたんじゃないかと思う。この2時間、彼女からの電話を待っているんだ。

④

for the last two hoursの部分に注目。ここは「この2時間」という意味で、「2時間前から現在まで」ということを表しているので、これは現在完了または現在完了進行形で表現する。よって、現在完了進行形の④I've been expectingが正解。

7. 「ジェーンは今夜パーティーに出られないって？なんで？」

「息子さんが風邪をひいて、世話をするんだって言ってるよ。」

③

パーティーに出られないのは、パーティーが開かれている時間は息子の面倒を見ているから、と判断できる。パーティーが開かれている時間(未来の一時点)で、進行中の動作(面倒を見ている)は、未来進行形will be Vingで表す。したがって正解は、③will be takingとなる。

8. 「あの映画みたことある？」

「うん。東京にいた時に3回見た。」

③

When I was in Tokyoという部分に注目。これは、「東京にいた時」という過去を表す表現。過去を表す表現が使われている時は、過去形を選ぶので、正解は③saw。

9. マネージャーは彼のチームがサッカーリーグに勝つだろうと言い、次のシーズンに彼らは実際に勝った。

④

空欄Aはwouldになる。なぜなら、その前のところにThe manager saidという過去形の部分があるので、その部分との時制の一致で、willではなく助動詞の過去形wouldを選択する必要があるから。

また、空欄Bはthe nextIになる。なぜなら、単にnext seasonと言うと、現在から見て次のシーズン、という意味になってしまうが、the next seasonと言うと、過去のある時点から見て次のシーズンという意味になり、今回は後者の意味で使われているから。

10. 「休暇の間ひどい天気だったよ。」

「そうだったの？それは残念！」

①

We had terrible weather ...を受けて、疑問文を述べる部分なので、We hadの過去形に対応して、疑問文も過去形の疑問文にするので、①Did youが正解。

11. 今月は追加の仕事がたくさんあるから、明日の夜6時に君に会うのはできないと思う。たぶん、僕はまだ働いているよ。

①

「明日の夜6時に会えないのは、その時仕事をしているから」、ということなので、未来のある時点で仕事という進行中の動作をしていることを表現する必要がある。そのため、未来進行形will be Vingの①I'll still be workingが正解になる。

12. 子どもの時3年間中国に住んでいたけど、中国語は全く話せない。

③

when I was a childという部分に注目。これは過去を表す表現のため、動詞は過去形を選択する。そのため、③livedが正解。

13. ジムはそのレースを楽勝した。たとえ練習しなかったとしても、それでも彼は勝っただろう。

④

「たとえ練習しなかったとしても、それでも彼は勝つだろう」、と後半に書かれていて、「実際には練習をして、勝った」ということが暗に示されているので、「勝った」という内容の④won the race easilyが正解。

14. 出るときは鍵をかけてね。

①

「出るとき」という部分の時制を考える。「出るとき」はこれから先のことなので、時間的には未来。しかし、『時・条件を表す副詞節では未来のことでも現在形で表す』というルールがあるので、現在形の①leaveが正解。

15. パリ行きの飛行機に乗り損ねたから、ジェーンはまだ空港にいるよ。

④

ジェーンが空港にいるのは、パリ行きの飛行機に乗り損ねたから、ということなので、「乗り損ねた」という過去の行動を表す選択肢である④just missedが正解。①のalmost missedはalmostが「ほとんど」という意味のため、「あと少しのところでも乗り損ねるところだった(だが実際は乗れた)」という意味になり、ここでは文意と適合しない。

16. 去年パソコンを買わなかったら、わたしはまだ古いタイプライターを使っていることじゃろう。

①

「去年パソコンを買わなかったら、まだ古いタイプライターを使っているだろう」という内容になるように、選択肢を選ぶ。「もし～しなかったら、～だろう」というのは仮定法になる。そして、「去年」という過去の時点において「～しなかったら」と仮定する場合、『仮定法過去完了』を使用する。したがって、正解は①hadn't bought。

17. バスが早く出てしまうといけないから、今出発しよう。

②

in caseという表現に注目。in caseは、「in case S' V' ~」という形で、「S' V'するといけないから」という意味になる。ここで「～するといけないから」というのは『条件』を表しているので、『時・条件を表す副詞節では未来のことでも現在形』というルールを思い出して、現在形の②leavesを選ぶ。

18. 僕たちの車はまだ修理されていないだろうから、僕らは土曜日に彼の車でビーチに行きたい。

②

「土曜日に僕らの車はまだ修理されていないから、彼の車でビーチに行きたい」、という話なので、「土曜日」という未来の時点でまだ完了していないということを、未来完了形の否定形will not (won't) have Vppで表す。

また「修理される」というのは受動態be Vppを用いて表現するので、正解は、②have been fixed。

19. その男の子たちはアイスクリームを食べるべきではなかったが、食べた。

④

but they didの部分に注目。ここから、過去の話をしているとわかる。そして、助動詞で過去のことについて判断を表現するには、助動詞 have Vppという形を用いるので、④have eatenを選択する。そうすることで、The boys should not have eatenとなり、「食べるべきではなかった」という意味になり、文意が通る。

ポイント

should have Vpp 「～すべきだった」

should not have Vpp 「～すべきでなかった」

20. 遅いですよ。会議は30分前に終わりました。

③

finishedという過去形の部分に注目。したがって、空欄には「過去を表す表現」が来る。「～ ago」(～前)という形が来れば良いので、選択肢③thirty minutes ago(30分前)を選ぶ。

21. その男の人は奥さんが来るまで駅で待つことに決めた。

①

The decidedという部分に注目。動詞がdecidedという過去形なので、until以下もこの過去形という時制と一致させる必要がある。したがって、正解は過去形の①came。

22. あなたの問題について聞いてお気の毒に思います。でも私のアドバイスをお聞きになっていたら、今そんなふうに困っていないでしょうね。

④

if you had taken my adviceという部分に注目。これは「仮定法過去完了」の部分で、「もし私のアドバイスを聞いていたら(実際には聞いていない)」という意味になる。それに続く部分は、「アドバイスを聞いていたら、今は困っていないでしょう」という内容が必然的に続くので、④wouldn't beが正解。

ここで、文の最後にnowという表現が使われているため、Butから始まる文は、前半のif節は過去の仮定を表す「仮定法過去完了」、そして、後半の主節は現在の仮定を表す「仮定法過去」という形になっていることにも注目。

ポイント:

仮定法過去完了(過去の仮定) If ~ had Vpp ~, ~ 助動詞 have Vpp ~.

仮定法過去(現在の仮定) If ~ 過去形 ~, ~ 助動詞の過去形 ~.

上記の下線部の部分の形が、この問題では使用されている。

23. 僕たちの犬は何週間も行方不明だったけど、ついに帰ってきた。

③

but以下の動詞の時制に注目すると、she came backと過去形が使われているので、これと対応させ、過去形の選択肢を選ぶ。②missedと③was missingがともに過去形だが、missとmissingは品詞が違っており、missは動詞で意味は「失敗する、的に当てそこなう」など、missingは形容詞で「あるべき所がない、いるべき所にいない」という意味で、missingが文意に合うので、正解は③was missing。

24. 1週間毎日一日中勉強していたから、先週の金曜日のテストの後、僕は疲れていた。

①

設問の英文を読むと、「先週の金曜日まで、1週間勉強をしていた」とあり、この点を使って時制を判断する。過去のある時点まで行動を継続していることを表すには過去完了形had Vppか過去完了進行形had been Vingを用い、今回は選択肢①had been workingが過去完了進行形なので、これが正解となる。

25. 雨が降るといけないから、傘を持っていきなさい。

①

「in case S' V'」というかたちは、「S'V'するといけないから」という意味で、今回は時制に注目。「雨が降る」のは未来のことで、「雨が降るといけないから」というのは条件と考えられるので、『時・条件を表す副詞節では未来のことでも現在形』というルールが適用される。したがって、現在形の①it rainsが正解。

26. スポーツフェスティバルで初めて会って以来、パットとパムはメールのやり取りをしている。

③

Ever since ~の部分に注目。ここでsinceという形があるので、現在完了形have Vppか現在完了進行形have been Vingを選択する。したがって正解は、③have been emailing。

27. シャワーを浴びていたので、訪問客が着いたとき、哲也は呼び鈴が聞こえなかった。

②

「訪問客が着いたとき」という過去の一時点に進行中の動作を選ぶことになるので、正解は過去進行形was Vingの選択肢②was taking。

28. 「卒業したら何がしたいの？」

「まだ決めてません。」

①

「まだ決めていない」ということを言いたい時、「決めることが完了していない」ということになるので、現在完了形have Vppが使われている選択肢を選ぶことになる。したがって正解は、①I haven't decided yet。



29. 「まだバスは来ていないですか？」

「はい。私は30分以上待っているんです。」

④

「まだはバスは来ていないですか？」という質問に対して、「来ていないので、～です」という言い方をする場合、「待っている」という内容が当てはまるので、正解は④been waiting。

## 1-C

1. 医者は薬を処方するとき患者を診察する。

①

「医者は薬を処方するとき患者を診察する」というのは、医者が日常的に行っていることの説明なので、『習慣的行動』を表す場合現在形を用いるので、正解は現在形の①examine。

2. 母は僕が怠け者だといつも愚痴を言っている。

②

現在進行形をalways(いつも)、repeatedly(何度も)などの頻度を表す副詞とともに使うと、繰り返される動作が強調され、「いつも～してばかりいる」という意味になる。この英文では、alwaysが使われており、現在進行形を使えば、「私の怠惰さの愚痴を言っている」という意味になり、適切な文意になるので、正解は②is always complaining。

3. ニュートンは、異なる質量の物体が同じ速度で落下するという法則を証明した。

①

「異なる質量の物体が同じ速度で落下する」というのは、科学の法則で、科学の法則は現在形で表すので、正解は①drop。(主語がobjectsという複数形の名詞のため、②dropsにはならない。)

4. じゃあ、彼女は弟と知り合いなんだね！彼女はどのくらいの間弟のことを知っているんだろう？

④

How longという表現に注目。基本的にHow long?(どのくらいの期間?)という表現を使った場合、過去のある時点から現在までの期間について尋ねていることになるので、この表現は、現在完了形あるいは現在完了進行形と使うことができる。④has she knownが現在完了形なので、これが正解。

(③has she been knowingは、現在完了進行形だが、状態動詞knowはふつう進行形にできないので、これは不正解。)

5. 私たちの組織は、その法律が施行されて以来その法律を無効にするために活動しています。

④

後半に、ever sinceという形が使われているので、現在完了進行形の④has been workingが正解。

6. 姉はわたしたちに1年前に買った家を見せてくれました。

①

「家を見せた」時と、「家を買った」時の二つの時点のうち、「家を買った」ほうが古いので、過去完了形の①had boughtが正解。

7. わたしの親友は5年前に亡くなりました。

④

for five yearsに注目。過去5年間ということから、現在完了形が当てはまるので、正解は④has been dead。

8. 弁護士の方は次に私と面会できませんか？彼女がこのクライアントとの面会を終えるまで、私は2時間無駄に待ってたんですよ。

②

「これまで2時間待ってきたので、次の面会を自分にできないか尋ねている」と考えると意味が通るので、これまで2時間の行動を現在完了進行形have been Vingで表している②have been waitingが正解。

9. マイクが明日僕たちのパーティーに来るか、僕は全く分からない。

②

if以下の部分の意味は、「マイクが来るかどうか」という意味で、「～かどうか」という意味の時、if節は名詞節である。そして、名詞節の場合は、未来の内容は未来形で表現するので、正解は②will comeとなる。(if節が副詞節の場合は、動詞は現在形となる。)

10. ヘリコプターが着陸したらすぐ、わたしたちは即座に出発します。

④

この文の意味は、「ヘリコプターが着陸したらすぐに出発する」という意味で、未来の内容である。そして、「ヘリコプターが着陸したらすぐ」という部分は、『時を表す副詞節』のため、動詞は現在形で表す。しかし、選択肢の中に現在形のものはない。その代わりに、④has landedという現在完了形があり、『時を表す副詞節』の中では、実は現在完了形も可能なので、この選択肢が正解。

(②is landingという現在進行形の選択肢の意味は、「着陸しつつある」という意味で、「ヘリコプターが着陸しつつあるとすぐに」というのは、文意が変なので選べない。)

11. 昨日は過去10年で最も激しい豪雨でした。

①

yesterdayという過去を表す表現があるので、過去形had(選択肢①)が正解。

12. 人類はこれまでのところ地球上から飢餓を消滅させることに成功していない。

②

文末のthus farに注目。thus farとは「これまでのところ」という意味。これは、過去から現在まで、という意味が込められているので、現在完了形の選択肢②has not been successfulが正解。

13. 彼が訪ねて来た時、僕はリビングで映画を2時間見ていた。

①

when he came to see meという部分に注目。「彼が訪ねて来た時」まで「2時間」見るという動作を継続していたので、過去完了進行形had been Vingが当てはまる。したがって正解は、①had been watchingとなる。

14. あなたが昼寝をしていたから、その時は邪魔しないことにしました。

②

at that time(その時)という、過去の一時点を表す表現に注目。この過去の一時点に、昼寝をするという動作が進行中だと考えると、文法的に正しい文になるので、過去進行形was /were Vingを選択する。したがって正解は、②were taking。

15. 彼女が日本に来てから10か月が経ちました。

③

「～してから～という期間が経った」ということを表現するには、次の3つの表現がある。

1) It's been 『期間』 since ~.

2) It is 『期間』 since ~.

3) 『期間』 have passed since ~.

今回は、③Ten months have passed sinceという形が、(3)と合致するので、③が正解。その他の選択肢は、どれも(1)～(3)とは、単語が部分的に違っているので不正解。

16. やめろ、お前ふざけてるな。/ ふざけるな。/ お前ばかみたい。

③

文法的に正しいのは③beingのみ。③を空欄に入れると、you're being ridiculousとなり、「are being ridiculous」というのは、現在進行形。現在進行形を使用すると、「(普段はちがうが)今だけ

～」という意味を表せる。したがって、you're being ridiculousというには、「(ふだんは違うが)今ふざけている」という意味になる。これは、Cut it out(やめろ)、という文頭の表現と無理なくつながるので、正解は③となる。

17. わたしは明日ウィーンを出て、火曜日まで戻ってきません。

③

( )内を③not returningにするなら、I'm leaving for Vienna tomorrowの中のleavingというVing形と対応するので、正解。

追加解説:I'm leaving tomorrowの中で、「tomorrow」という未来の表現とともに「現在」進行形を使っている理由は、現在進行形には「予定」を表す意味があるため。

## 問2

1. 彼女が行方不明になった前日に、わたしたちは散歩に出かけたとき森のはずれで彼女を見ました。

①

「彼女が行方不明になった前日に」「彼女を見た」ということなので、「彼女が行方不明になった」時と「彼女を見た」時という二つの時点が存在することになる。そして、当然「彼女を見た」時の方が古いので、こちらを過去完了形had Vppで表す必要がある。そのため、①have seenは誤りで、had seenにするのが正しい。

2. その女の子は友だちと合流するため、数日前に一人でウィニペグに行った。

①

a couple of days agoという過去を表す表現に注目。この表現があるため、①has goneは誤りで、過去形wentにするのが正しい。

3. 10分間君に連絡しようとしてたのに、話し中だったんだ。やっとSNSでなんとか連絡が着いたよ。いったい誰と話してたのさ？

③

③ your line's being busy (= your line is being busy)だと、今現在、電話が話し中という意味になってしまうが、その前にあるfor ten minutesという表現からすると、今現在話し中というよりは、この10分間話中ということになり、現在進行形は不適切。

10分前という過去から現在まで話し中ということになるので、これは現在完了形で表現すべきなので、③ line's beingは誤りで、line's been (= line has been)にするのが正しい。

### 問3

1. 科学はわたしたちに原子でできているものを教えてきた。  
(意訳) 科学によって、わたしたちは原子で構成されているものを知った。

③ ⑤ ⑥ ⑦ ① ④ ②

has taught us what atoms are made of.

2. わたしたちが家に着く時、子どもたち何してると思う？

④ ③ ① ⑥ ⑤ ② ⑦

the children will be doing when we get home

3. 冬を乗り越えた昆虫は春に活発になった。

⑤ ④ ③ ⑦ ⑥ ② ①

that had gotten through the winter became active

4. 彼が来るまで、長くは待たなかった。

⑥ ⑤ ① ② ⑦ ④ ③

had not waited long before he came

5. 我々が山頂に到達するまでに、雨はやんでいた。

⑦ ① ④ ③ ② ⑥ ⑤

we reached the top of the mountain it had stopped raining

## 第2章 助動詞

### 2-A

1. ②

can'tに「はずがない」という意味があるので、②can'tが正解。

①mustn'tは「～してはならない」という意味で、推量の意味はないので、不適。

2. 彼がスポーツカーを買ったなんてありえるだろうか？

①

canは「ありえる」(可能性)という意味があるので、Can it be true ~?は「～ということがありえるだろうか？」という意味になり、文意が通じるので、①Canが正解。

3. (直訳)急いで出て申し訳ないです。会社に戻らなくてははいけないんです。

(意訳)こんなに早くおいとまするのは申し訳ないですが、会社に戻らなくてははいけないんです。

③



③mustは「～しなければならない」(義務)の意義があり、文意が通じるので正解。

4. わたしは時間通りに着くと約束したんだ。遅れてはならないんだ。

③

③must not「～してはいけない」が入れると文意が通じるので正解。

④don't have toは、「～する必要はない」という意味で、「遅れる必要はない(?)」という通じない文意になるので、不適。

5. 彼のラジオが聞こえるから、彼は中にいるに違いない。

④

mustには「～に違いない」という意義があり、「彼のラジオが聞こえる」という状況から、「～に違いない」という確信を持った推量ができるので、正解は④must。

6. 兄は数日前に事故に遭って、わたしが病院に連れて行かなくてはならなかった。

②

have toの過去形had toは「～しなくてはならなかった」という意味で、兄が事故に遭ったなら必然的に「病院に連れて行かなければならない」という状況が生じるので、正解は②had to take。

7. おっ、もう11時だ。すぐ家に帰らなきゃ。

②

I've got toは、have got to「～しなければならない」の短縮形で、have toのカジュアルな言い方。

8. 「君は今日の午後、会議に出席しなくちゃいけないの？」

「必要はないけど、新しい委員会についてもっと知りたいから、そうするよ。」

③

空所の後の内容をもとに、空所内に入る選択肢を判断する。

空所の後には、「しかし、新しい委員会についてもっと知りたいから、出席するよ」という内容が書かれている。(\*willの後には、前の発言の内容を受けて、attend the meetingが省略されている)

したがって、「会議に出る必要はないが」「出席する」という流れなら意味が通じるので、正解は

③I don't have to. (don't have to「～する必要はない、～しなくてよい」)

9. (a) このケーキを6つに分けなさい。

(b) このケーキは6つに分けられるべきだ。

③

(a)の文は、「ケーキを分けなさい」という命令で、それと近い意味になるのは、③should(～べきだ)。

10. 彼はよりよく子どもの世話をすべきだ。

②

ought toは「～すべきだ」(should「～すべきだ」と同じ意味)という意味で、oughtを入れると、空欄の後のtoとつながるので、正解は②ought。

11. わたしは、父の健康の本当の状態を、父に伝えるべきではない。

④

ought toの否定形は、ought not to(～すべきではない)で、空欄にoughtを入れると「父に本当の健康状態を言うべきではない」という意味になり通じるので、正解は④ought。

12. わたしに向かってよくそんな口の利き方ができるものだな！

③

dareは「あえて[思い切って、大胆にも]～する」という意味の助動詞で、How dare ~で、怒りやいらだちを表現できるので、③dareが正解。

13. わたしたち皆はトラックを押そうとしましたが、どうしても動きませんでした。最終的に、自動車 サービスセンターに電話しました。

④

「トラックを押そうとしたが、どうしても動かなかった」という意味になると通じるので、④wouldn't (どうしても～しようとしなかった)が正解。

14. ピーターは映画に行くよりむしろ家にいたい。

②

「would rather 動詞の原形～ than 動詞の原形・・・」(・・・するよりむしろ～したい)という形が使われているので、空欄は動詞の原形の②go。

15. 雨が降ってるから、僕はむしろ家にいたい。

④

「would rather 動詞の原形」(むしろ～したい)という形を使うと、空欄の直後の動詞の原形stayとつながるので、正解は④rather。

16. 歯が痛いなら、すぐに歯医者に行った方がいいよ。

④

「歯が痛いなら、すぐに歯医者に( )」という英文なので、空欄には、「見てもらったほうがいい」という内容を入れると考える。その内容に合うのは、④had better see。(had betterは「～したほうがいい」という意味。)

17. この近所では、暗くなってからジョギングしない方がいい。

②

had betterの否定形を問う問題。had betterの否定形は、had better not(～しないほうがよい)なので、正解は②had better not。

18. 姉はシカゴに住んでいましたが、去年ロサンゼルスに引っ越しました。

②

used to 動詞の原形は、「かつて～していた(過去の習慣)」を表し、「以前はシカゴに住んでいたが、昨年ロサンゼルスに引っ越した」という文意になるので、正解は②used to live。

be used to 名詞／動名詞は、「～することに慣れている」という表現で、ここには当てはまらない。

19. 僕たちが子どもだったとき、毎年冬にスケートにいったものだなあ。

②

wouldは「(昔は)～したものだった(過去の習慣)」という意味で、これを使うと「子供のころ、毎年冬スケートに行ったものだった」という文意が成立するので、正解は②would。

20. トムは昨日そこにいたかもしれないけど、僕たちは彼に会わなかったよ。

②

yesterday(昨日)という過去を表す表現に注目。may have 過去分詞は「～だったかもしれない」という過去の推量を表し、これを使うと、「トムは昨日そこにいたかもしれないけど、僕たちは彼に会わなかった」という文意が成立するので、正解は②may have been。

21. その結婚披露宴はたくさんお金がかかったに違いない。お客さんがたくさんいたし、ホテルは街で最高のホテルだった。

①

must have 過去分詞は「～したに違いない」という意味で、文の後半が「お客さんがたくさんいて、ホテルが街で最高のホテルだった」という情報から、「結婚披露宴はお金がたくさんかかったに違いない」と推量できるので、正解は①must have cost。

cannot/can't have 過去分詞は、「～したはずがない」という意味で逆の意味になるので不適。

22. ケイトは何度かここに来たことがあるんだから、道に迷ったはずがないよ。

③

can't / cannot have 過去分詞は、「～したはずがない」という意味。後半が「彼女はここに何回か来たことがある」とあり、そうだとすると、「道に迷ったはずがない」と推論できるので、正解は③can't have lost。

①couldn't loseを入れると、「道に迷うことができなかった」という意味になり、文意が不明なので不適。

②could have lostを入れると、「could have 過去分詞」という、過去の推量、可能性「～していた(だった)かもしれない」「～することができたのに」(\*could have 過去分詞の文は、仮定法過去完了の if 節が省略された形)という表現を使用していることになり、文意が通じないので不適。

23. 君に今朝電話するべきだったんだけど、忙しすぎてできなかったんだ。

③

should have 過去分詞は、「～すべきだった(が、しなかった)」という意味で、これを使うと、「電話すべきだったが、忙しすぎてできなかった」という文意が成立するので、③should have が正解。

①must have を使用すると、must have 過去分詞「～したに違いない」という形になり、文意が通じないので不適。

24. 僕らのフランス語の先生は、早い(時間の)バスに乗ったんだから、そろそろここに着いているはずなのに(着いていない)。

①

ought to have 過去分詞は「(すでに)～しているはずだ(がしていない)」という意味で、これを使用するなら、「早い時間のバスに乗ったから、もうここに着いているはずだ」という文意が成立するので、正解は①ought to have arrived。

25. 「君びしょぬれだね。雨の中出て行くべきじゃなかったのに。」

「わかってるよ。でも彼らが僕を待ってたんだ。」

②

shouldn't have 過去分詞は、「～すべきではなかったのに(～した)」という意味なので、これを使用すると、「君びしょぬれだね。雨の中出て行くべきじゃなかったのに。」「わかってるよ。でも彼らが僕を待ってたんだ。」という文意が成立するので、正解は②shouldn't have gone。

③could have goneと④couldn't have goneが当てはまらない理由は以下を参照。

could have p.p.→過去の推量、可能性 「～していた(だった)かもしれない」「～することができたのに」 ※could have p.p.の文は、仮定法過去完了の if節が省略された形。

couldn't have p.p. →「(過去に) ...したはずがない」

26. 天気予報とは反対に、昨日は雨が降らなかった。

わたしたちはレインコートと傘を持っていく必要はなかったのに。(持って行った)

③

needn't have 過去分詞は、「～する必要はなかったのに(～した)」という意味で、これを使うと、「雨が降らなかったから、レインコートと傘を持っていく必要はなかった」という文意が成立するので、正解は③needn't have brought。

27. アニーが芸術の才能を無駄にするなんて残念だ。

③

It isの後の「regrettable(残念だ)」という感情を表す形容詞に注目。

「It is 形容詞 [that ～ ].」という形の中で、「感情を表す形容詞」が使われている場合は、「that節の動詞は直説法か、should～を用いる」ので、正解は、③should。

28. その書類が金庫に保管されることは必須です。

③

It isの後の形容詞「essential(必須だ)」に注目。

「It is 形容詞 [that ～ ].」の中で、「決断、主張、願望などを表す形容詞」(essential含む)が使われる場合は、that節をとる動詞は[米]では仮定法現在(動詞の原形)、[英]では主にshould～を用いる。

したがって、今回は、選択肢③beが動詞の原形で、これが当てはまるので、正解は③be。

29. そのミュージカルを観る人は誰でも、幸せや喜び、誇りを感じずにはいられない。

③

空欄にhelpを入れると、「can't / cannot help Ving(～せずにはいられない)」という形が成立し、文意が通じるので、正解は③help。



30. 私は弟の数学の宿題を手伝わざるを得なかった。

③

空欄にbutを入れると、「can't / cannot but 動詞の原形(～せずにはいられない)」という形が成立し、文意が通じるので、正解は③but。

## 2-B

P32

1. 「君が聴いてるその歌なに？」

「知らないの？ビートルズの『Yesterday』だよ。前に聞いたことあるはずだよ！」

③

must have Vpp(短縮形: must've heard)は「～したに違いない、～したはずだ」(過去の推量)という意味。今回は、空欄を含む一文の文末にbeforeという表現があり、過去のことについて話していることがわかるので、この過去の推量の表現が当てはまる。よって正解は、③must've heard。

2. 「ジェーンは今夜パーティーに出られないって？なんで？」

「息子さんが風邪をひいて、面倒をみるんだって言ってるよ。」

③

パーティーに出られないのは、パーティーが開かれている時間は息子の面倒を見ているから、と判断できる。パーティーが開かれている時間(未来の一時点)で、進行中の動作(面倒を見ている)は、未来進行形will be Vingで表す。したがって正解は、③will be takingとなる。

3. 「誰もヒル教授の質問に準備してなかったんだよ。」

「僕たち昨日の夜にレッスンを読んでおくべきだったんだろうな。」

④

should have 過去分詞は、「～すべきだったのに(～しなかった)」「(過去の後悔)」という意味。空欄を含む一文の文末にlast nightという表現があり、過去のことについて話していることがわかるので、この過去の後悔の表現が当てはまる。よって正解は、④should have read。

4. わたしは彼女に教授に会うように勧めた。

③

「提案・要求・命令」を表す動詞の後ろのthat節の中では、should + 動詞の原形が使われる」というルールがあり、それが適用される。そのため、正解は、③should see。

ポイント:

「提案・要求・命令を表す動詞」[that ~ should 動詞の原形 ].

例文: The police officer required that I should show him my passport.

その警察官は、私がパスポートを見せることを要求した。

「提案・要求・命令を表す動詞」には、recommend(勧める)、suggest(提案する)、propose(提案する)、require(要求する)、demand(要求する)などがある。

5. A: 今テレビ見ていい? ママ。

B: 今すぐ部屋に行って宿題に戻りなさい。こんなに短い時間で宿題をちゃんとできたわけありません。

②

can't have Vppは、「～したはずがない」(過去の推量)という意味。

6. あの小さいボートで海岸からあまり離れてはいけません。危険かもしれません。

②

couldは、「～の可能性がある」という意味。

7. 「トムが見えないな。どうして遅れてるんだろう。」

「うーん、電車を逃したのかもしれないし、もしかしたら寝過ごしたのかもね。」

①

might have Vppは、「～したかもしれない」(過去の推量)という意味。

should have Vppは、「～したはずだ」という意味で、これも過去の推量を表すが、こちらの方がより確信度が高い。しかし、今回は、「電車を逃したのかもしれないし、寝過ごしたのかもしれない」と断定できず、確信がさほど高くないので、might have Vppという確信度が高くない過去の推量の表現を選ぶ。

8. 兄は高校生の時すごく人気者だったに違いない。前のクラスメートからまだたくさん年賀状をもらっている。

①

must have Vppは、「～だったに違いない」(過去の推量)という意味。

「年賀状をたくさんもらっている」という状況から、「人気者だったに違いない」という過去の推量を行っていると考えられるので、①mustを空欄に入れて、must have been popular(人気者だったに違いない)という形を作る。

9. 両親が夜に外出するときにはいつも妹の面倒を見させられたことを覚えてるよ。

④

would(よく～したものだっ)(過去の回想)を用いる。

10. ジムは昨日スキー事故にあったけど、大丈夫だ。ひどい怪我をしたかもしれないんだから、彼は運がいい。

①

could have Vpp(～ということになり得た(だが実際はそうはならなかった))という表現を入れる。この表現は、仮定法過去完了のif節が省略された形。

11. 「今朝新宿駅で山田さんを見ましたよ。」

「見たはずがないですよ。彼はまだ休暇でハワイにいるんですよ。」

①

couldn't have Vpp(～したはずがない)(過去の推量)を入れる。

12. 「君が運転免許を取ったら、両親が車を買うお金をくれるの？」

「いや、両親は、僕が欲しかったら買ってでもいいけど、僕にお金はやらないって言ったよ。自分で稼がなくちゃいけないんだ。」

②

空欄を含む一文は、they saidと過去形の動詞が使われているので、それと時制を一致させて、couldを選ぶ。

13. ドロシーはオフィスにいません。カフェテリアでコーヒーを飲んでいるかもしれません。

③

まず、今回選択肢の中に使われている動詞haveは「食べる(eat)、飲む(drink)」の代用の使い方をされているので、通常の「持つ」という意味の状態動詞ではなく、「食べる・飲む」という意味を持つ動作動詞の使い方をされている。

したがって、選択肢①can be having、③might be havingのような「飲んでいる」という進行形の使い方が正しく、②can have、④might haveは選ばない。(もし、can have、might haveを選ぶと、「ドロシーは、カフェテリアで飲む可能性がある」、「ドロシーは、カフェテリアで飲むかもしれない」という意味になり、今後の話をしていることになり、ここでは不適。)

次に、canとmightのどちらを選ぶかだが、canは「理論的可能性」を表す。そして、canを選ぶなら、「ドロシーはオフィスにはいません。カフェテリアでコーヒーを飲んでいる理論的可能性があります」という不思議な意味になってしまうので不適。

しかし、mightは単に「～かもしれない」という推量を表すので、ドロシーがいないので、「カフェテリアでコーヒーを飲んでいるかもしれないね」という推量を表していることになり、問題なく当てはまる。

したがって、正解は③might be having。

14. わたしたちの先生は、わたしたちにもう1本レポートを書くように求めた、それで今私は金曜日までに終わらせなくてはならないレポートが2本ある。最初の課題を先週終わらせるべきだった。

③

should have Vpp「～すべきだった(がしなかった)」(過去の後悔)

last weekという表現が文末にあるので、過去のことについて語っているとわかる。そして、書くべきレポートがたくさんあるので、最初の課題を終わらせておけばよかったという過去の後悔していると考えるとつじつまが合うので、正解は③shouldを入れて、should have Vppという形を作る。

15. 「頼んでおいた報告書はどこですか？」

「あれは先週ジャックが処理したはずです。」

③

should have Vpp「～したはずだ」(過去の推量)

last weekという表現から、過去のことを言っていると判断できる。そのため、過去の推量を表す should have Vppという形を作れば良いので、③have been takenを選択し、should have been taken care ofという形を作る。

16. 「なんでこの手紙まだここにあるの？」

「しまった！ 昨日の午後ポストに入れなくちゃいけなかったのに、すっかり忘れてた。」

②

yesterday afternoonという過去を表す表現があるので、過去のことを述べる形を作る。②I should'veを入れれば、should have(should've) Vpp(～すべきだった(がしなかった))(過去の後悔)という形ができ、文意が通じる。

17. わたしが警告したときに、君はわたしの言うことを聞くべきだったのに。

③

should have Vpp(～すべきだった(がしなかった))(過去の後悔、過去のことを責める言い方)

18. あーあ、雨が降り始めたよ。わたしたち家にいるべきじゃない？

③

had better(～したほうがいい)の疑問形はHad S better V ~?になり、今回は否定疑問形Hadn't S better V ~?が使われている。

19. 君が試験の準備をしていたら、試験に受かることができたのに。

②

仮定法過去完了「If S had Vpp ~, S 助動詞の過去形 have Vpp ~.」という形になるように単語を選ぶ。

助動詞の過去形は、②couldだけなので、②が正解。

20. 君に昨日の夜電話するべきだったんだけど、忙しすぎたんだ。

③

should have Vpp(～すべきだった(がしなかった))(過去の後悔)

21. 単なる形式ばらないパーティーだったんだよ。君はドレスアップする必要なかったのに。

①

don't have toは「～する必要がない」。didn't have toは「～する必要がなかった」。今回は、内容から考えてdidn't have toを選ぶ。

22. 木材は主な燃料として使われていたが、最近は化石燃料が広く使用されている。

①

過去と現在を対比しているので、過去の習慣を表す助動詞「used to」をAに入れる。そして、後半は、nowadaysという現在を表す表現に注目し、現在形「are used」をBに入れる。

23. 「昨日の夜の試合、どう思う？」

「チームはよくプレイしたね、でも最初の20分間はもっと上手くプレイできたはずだよ。」

①

「最初の20分間はもっと上手くプレイできたはずだ(が実際はそうではなかった)」という過去の事実と反する仮定法の内容が当てはまるので、正解はcould have Vpp(～できた(が実際はそうしなかった))を用いた①could've done。

24. もしあなたがわたしの言ってることに本当に関心があるなら、窓の外を見つめていないはずよ。

④

仮定法過去「If S 過去形 ～, S 助動詞の過去形 動詞の原形 ～。」という形になるように単語を選ぶ。

したがって正解は、④wouldn't be。



## 2-C

P40

1. わたくしどもの事務所にお寄りになるときは、わたしに知らせてもらえますか？

④

依頼を表す時の付加疑問文には、「will you?」を使うので、正解は④will you。

2. ショッピングモールに行かない？

②

一緒に何かをしようと言う時の付加疑問文には、「shall we?」を使うので、正解は②shall。

3. わたしは彼女に働くのをやめるようアドバイスしたけれども、彼女はどうしてもやめなかった。

①

「どうしても～しようとしなかった」と言いたいときは、would not[wouldn't]と言うので、正解は①would

●

4. その近所に大きなデパートがあった。

②

『現在とは違う過去の状態・習慣』を表す時は、「used to」を使うので、正解は、②used to。

「be used to 名詞／動名詞」は、「～に慣れている」という意味の別の表現で、ここでは不適。

5. こんなに悪い天気の中出ていくべきじゃない。

①

had better「～したほうがいい」の否定形は、「had better not」。

6. これは非常に重要な会議です。欠席すべきではありません。

③

ought to「～すべきだ」の否定形は、ought not to「～すべきではない」。

7. 彼女がそれについて何もわたしに言わなかったのは妙だ。

③

「It is 形容詞 [that ～ ].」の中で、形容詞が「話し手の判断を表す形容詞」(strange含む)になる場合は、that節の中で、should～を用いる。

ポイント: 話し手の判断を表す形容詞

strange(変な), odd(奇妙な), disappointing(がっかりさせる), proper(適切な), right(正しい), sad(悲しい), natural(自然な), a pity[shame](残念なこと), surprising(驚くべき)

したがって正解は、③should。

8. いったい誰が入ってきたと思いますか、いとこのマイクですよ。

①

shouldには、『wh-節で、驚き・おかしさを表して、「いったい・・・」』という意味になる使い方があり、今回はそれが使われているので、正解は③should。

9. 君はジェニファーにそれについて何も言う必要はなかったのに。それは彼とは関係ないことだったんだ。

③

need not [needn't] have Vpp「～する必要はなかった(が～した)」(過去のことについて不必要だったと言う)

should not [shouldn't] have Vpp「～すべきではなかった(が～した)」(過去の後悔、過去のことを責める)

③needn't have toldと④shouldn't have saidのどちらも意味的には当てはまる。そこで、told(tell)とsaid(say)の語法を比較して、当てはまるのがどちらか考える。

You ( ) Jennifer anything (about it).

S V O1 O2

上記より、空欄を含む英文の文型はSVO1O2。

そして、tellの語法は、tell O1O2 (O1にO2を言う)、sayの語法は、say A to B (AをBに言う)。したがって、第4文型(SVO1O2)を取ることが出来るのは、tellなので、正解は③。

10. 晩餐会はほんとに素晴らしかった。あなたも来ればよかったのに。

②

should have Vpp「～すべきだった(が～しなかった)」(過去の後悔、過去のことを責める)が、ここでは意味的に当てはまる。

11. 前にどこかで彼女に会ったかもしれないけど、どこか思い出せない。

②

may [might] have Vpp「～したかもしれない」(過去の推量)がここでは当てはまる。

12. A: 女の人が電話に出たよ。彼の奥さんだと思うな。

B: 奥さんだったはずがないよ。彼女はずっと前に亡くなったんだ。

③

can't [cannot] have Vpp「～したはずがない」がここでは当てはまる。

13. その中に行ってはいけません。看板に「立ち入り禁止」と書いてあります。

②

must not [mustn't]「～してはいけない」(禁止)がここでは当てはまる。

do not [don't] have to「～しなくてよい」(不必要)は、ここでは不適。

14. この計り知れないほど貴重な芸術作品にわたしたちは十分なお金を払うことができない。

(価値が計り知れないほど貴重過ぎて、お金をいくら払っても十分ではない)

①

この計り知れないほど貴重な芸術作品にわたしたちは十分なお金を払わなくてはならない。

③

この問題は、上の和訳にある通り、①cannot、③mustの両方が意味的に当てはまるので、①、③どちらも正解となる。

問2

1. 彼らは車で行く予定なので、彼は自分の傘を持ってくる必要はなかった(のに持ってきた)。

①

need not have Vpp「～する必要はなかった(が～した)」という使い方では、needは助動詞なので、三人称単数現在形のsを付けてはいけない。

したがって、①needsは誤りで、正しくはneed。

2. 現在わたしたちは人手不足なのだから、こんなに急に病欠の連絡を入れるべきではない。

②

had better「～したほうがいい」の否定形は、had better notで、後ろにtoを付けることはないの  
で、②のto call in sickは誤りで、正しくはcall in sick。

P44

問3

1. その計画はできるだけ早く実行に移されるべきだ。

⑦ ② ⑧ ① ⑤ ③ ④ ⑥

ought to be put into practice as soon

put O into practice「Oを実行に移す」

2. わたしはどこかで財布を盗まれたに違いない。

① ④ ② ⑥ ③ ⑤ ⑧ ⑦

I must have had my wallet stolen somewhere.

3. 実のところ、わたしはなぜ彼女がそうしなくてはならないのか、確かに不思議に思っていた。

① ⑦ ⑥ ④ ③ ⑤ ②

did wonder why she had to do

「do/does + 動詞の原形」、「did + 動詞の原形」は、強調を表す表現で、これが使用されている。

4. あなたはその仕事を延期するくらいなら、今続けたほうがまだ。

⑤ ② ① ③ ⑦ ⑥ ⑧

may as well carry on with the work now as put it off

may as well V1 as V2「V2するくらいなら、V1するほうがまだ」という表現が使われている。

carry on with ~「(仕事などを)がんばって続ける」

put off「～を延期する」

## 第3章 仮定法

### 3-A

1. もし眞喜志が家にいれば、彼が自分で電話にでるのになあ。

②

仮定法過去の公式「If 主語＋過去形～, 主語＋助動詞の過去形＋動詞の原形」から、if節の中は動詞の過去形が来るので、正解は②。

2. 僕は自転車を持ってないんだけど、もし持ってたら、もちろん君に貸すんだがなあ。

①

仮定法過去の公式「If 主語＋過去形～, 主語＋助動詞の過去形＋動詞の原形」から、if節の中は動詞の過去形が来るので、正解は①。

3. もし藤野がここにいれば、この問題を解決するためにすべきことについてわたしにアドバイスしてくれるだろうな。

③

仮定法過去の公式「If 主語＋過去形～, 主語＋助動詞の過去形＋動詞の原形」から、主節の中は助動詞の過去形＋動詞の原形が来るので、正解は③。

4. 具合が悪くなかったら、パーティーに出たのになあ。

④

仮定法過去完了の公式「If 主語＋had Vpp ～, 主語＋助動詞の過去形＋have Vpp」から、主節の中は助動詞の過去形＋have Vppが来るので、正解は④。

5. もし僕の代わりに君が運転してたら、事故は避けられたかもしれない。

①

仮定法過去完了の公式「If 主語 + had Vpp ~, 主語 + 助動詞の過去形 + have Vpp」から、if節の中はhad Vppが来るので、正解は①。

6. わたしたちの先生は、わたしたちがまるで先生の子どもかのように叱った。

②

「as if 主語 + 過去形」(まるで～であるかのように)の形が使われているので、正解は②。

7. 僕はすごく眠かった。そうでなかったら、昨日君と図書館に行っただろう。

②

私は実際には、「図書館には行っていない」ので、仮定法を使う。そして、過去のことについて語っているので、仮定法過去完了を使う。また、「図書館にいったろう」という内容を英語にするので、「～したろう」を表すwould have Vppを使用する。したがって正解は、④。

8. もしあの時そう告げられていれば、わたしは今幸せだろうに。

①

前半にthen(あの時)という過去の表現があり、後半にnowという現在の表現があるので、「過去に～していたら、今～だろうに」という過去と今の両方が関係する仮定法を用いる。

過去と今の両方が関係する仮定法の公式：

「If 主語 + had Vpp ~」(過去), 「主語 + 助動詞の過去形 + 動詞の原形」(現在)



上記の公式を使うので、正解は①。

9. 去年パソコンを買わなかったら、わしはまだ古いタイプライターを使っていることじゃろう。

①

前半にlast year(去年)という過去の表現があり、後半に'd still be usingという仮定法過去が表す現在の表現があるので、「過去に～していたら、今～だろうに」という過去と今の両方が関係する仮定法を用いる。

過去と今の両方が関係する仮定法の公式：

「If 主語 + had Vpp ～」(過去), 「主語 + 助動詞の過去形 + 動詞の原形」(現在)

上記の公式を使うので、正解は①。

10. もし太陽が西から昇るようなことがあったとしても、彼は決心を変えないだろう。

②

「仮に～ということがあったら」という意味の仮定法の公式：

「If 主語 + were to V ～, 主語 + 助動詞の過去形 + 動詞の原形」

が当てはまるので、正解は②。

11. 彼がわたしのオフィスに立ち寄るとは思いませんが、もしわたしの留守中に来るようなことがあれば、もっと情報を提供しておいてください。

③

可能性が低いことが未来に起きることを仮定する「万～したら」という意味の仮定法の公式：

「If 主語＋should＋動詞の原形, 主語＋助動詞の過去形＋動詞の原形」

「If 主語＋should＋動詞の原形, 主語＋助動詞の現在形＋動詞の原形」

(\*主節の助動詞は、助動詞の過去形が来る場合と、助動詞の現在形が来る場合の両方があります。

I don't think he will stop by my officeという前置きがあるため、「彼が来る可能性は低い」ことになる。このような可能性が低いことが未来に起きることを仮定しているので、上記の公式が使われる。したがって、正解は③。

12. ジムは、もっといい成績がとれればなあと思っているけど、もっと勉強する気はないんだ。

①

主語＋wish＋【主語＋仮定法過去／仮定法過去完了】(【～】だったらなあ)

上記の公式が使われるので、正解は①。

13. 去年のこのくらいの時期に家を買うのに十分なお金を持っていたらなあ。

③

主語＋wish＋【主語＋仮定法過去／仮定法過去完了】(【～】だったらなあ)

around this time last year(去年のこのくらいの時期)という過去を表す表現があるので、上記の公式の中の「仮定法過去完了」を使った形が当てはまる。したがって、③が正解。

14. 一日が48時間だったらなあ！

①

「If only 主語＋動詞の過去形～」(～だったらなあ)

という形が使われているので、正解は①。

15. 彼女は自分の将来を考えてもいい頃だ。

④

「It is time 主語＋動詞の過去形～」(～してもいい頃だ)

という形が使われているので、正解は④。

16. 彼の欠点がなかったら、すぐにマナミと結婚するんだけど。

②

「If it were not for ～」(～がなかったら)という形が使われているので、正解は②。

17. そろそろパーティーをお開きにしてもいい頃だな。

④

「It is about time 主語＋動詞の過去形～」(そろそろ～してもいい頃だ)という形が使われているので、正解は④。

18. お医者さんのタイムリーなアドバイスがなかったら、わたしはまだ不健康なダイエットに苦しんでいるだろう。

②

「If it had not been for ~」(過去に～がなかったら)の倒置形「Had it not been for ~」が使われているので、正解は②。

19. ご質問やご感想がおありでしたら、わたくしどもの事務所にお電話ください。

③

「If 主語 + should + 動詞の原形」(万一～したら)の倒置形「Should 主語 動詞の原形」が使われているので、正解は③。

20. もし重大な危機が起こるとしたら、政府は迅速に行動しなくてはならないだろう。

③

「仮に～ということがあっても」という意味の仮定法の公式：

「If 主語 + were to V ~, 主語 + 助動詞の過去形 + 動詞の原形」

上記の公式の倒置形「Were + 主語 + to V ~」という形が使われているので、正解は③。

21. 彼らが援助を差し伸べてくれれば、もっと良い橋が建てられただろうに。

④

仮定法過去完了の公式「If 主語 + had Vpp ~, 主語 + 助動詞の過去形 + have Vpp」の倒置形「Had + 主語 + Vpp ~」が使われているので、正解は④。

### 3-B

1. 「彼ってスキー上手いよね。」

「うん、ほんとに。わたしも彼みたいにスキーできたらなあ。」

②

主語 + wish + 【主語 + 仮定法過去 / 仮定法過去完了】 (【～】だったらなあ)

上記の公式が使われるので、正解は②。

2. あの時、両親がドイツに留学させてくれなかったら、そこでこんなにいい仕事を見つけることはできなかっただろう。

④

仮定法過去完了の公式「If 主語 + had Vpp ～, 主語 + 助動詞の過去形 + have Vpp」が使われるので、正解は④。

3. デービッドはその事故でひどい怪我をした。彼が5分早く家を出てさえいれば、それに巻き込まれなかっただろう。

④

仮定法過去完了の公式「If 主語 + had Vpp ～, 主語 + 助動詞の過去形 + have Vpp」が使われるので、正解は④。

4. 「もしいつか別のときに、また来ても大丈夫？」

「もちろん。来る前に電話だけしてね。」

③

仮定法過去の公式「If 主語＋過去形～, 主語＋助動詞の過去形＋動詞の原形」から、主節の中は助動詞の過去形が来るので、正解は③。

5. 去年パソコンを買わなかったら、わたしはまだ古いタイプライターを使っていることじゃろう。

①

前半にlast year(去年)という過去の表現があり、後半に'd still be usingという仮定法過去が表す現在の表現があるので、「過去に～していたら、今～だろうに」という過去と今の両方が関係する仮定法を用いる。

過去と今の両方が関係する仮定法の公式：

「If 主語＋had Vpp ～」(過去), 「主語＋助動詞の過去形＋動詞の原形」(現在)

上記の公式を使うので、正解は①。

6. これまずい！ 飢え死にしかけてたってこれは食べれないや。

③

仮定法過去の公式「If 主語＋過去形～, 主語＋助動詞の過去形＋動詞の原形」から、if節の中は動詞の過去形が来るので、正解は③。

7. A：彼女がお金の問題でそんなに困ってるとは知らなかったよ。

B：君がもう数週間早くいくらか送ってればよかったんだがなあ。

①

主語＋wish＋【主語＋仮定法過去／仮定法過去完了】(【～】だったらなあ)

Aのセリフにdidn't knowという形があるので、過去の話をしていることがわかる。そして、Bのセリフの最後にa couple of weeks earlier(数週間早く)という表現もあることから、過去のことについての話なので、上記の公式の中で仮定法過去完了を使う形を選択する。したがって正解は、①。

8. もしあの橋から落ちることがあれば、助けるのはほぼ不可能です。

③

「仮に～ということがあったら」という意味の仮定法の公式：

「If 主語＋were to V ～, 主語＋助動詞の過去形＋動詞の原形」

上記の公式が当てはまるので、正解は③。

9. わたしがもう少し若かったら、その山に登るのに加わるんだけどねえ。

④

仮定法過去の公式「If 主語＋過去形～, 主語＋助動詞の過去形＋動詞の原形」から、主節の中は助動詞の過去形が来るので、正解は④。

10. 君の問題を聞いて気の毒に思うよ。でも君が僕のアドバイスを受け入れていれば、今そういう困った状態にはいないはずだよ。

④

前半にhad Vppがあり過去の話をしており、後半にnowという表現があり、現在の話をしているので、以下の公式が使われる。

過去と今の両方が関係する仮定法の公式：

「If 主語 + had Vpp ～」(過去), 「主語 + 助動詞の過去形 + 動詞の原形」(現在)

したがって、正解は④。

11. もし我々の最後のバッターがついにホームランを打たなかったら、我々のチームは試合に負けただろう。

①

仮定法過去完了の公式「If 主語 + had Vpp ～, 主語 + 助動詞の過去形 + have Vpp」が使われるので、正解は①。

12. ケンジはロンドン旅行が素晴らしかったと僕に言った。僕もその計画に参加してればよかったなあ。

①

主語 + wish + 【主語 + 仮定法過去／仮定法過去完了】(【～】だったらなあ)

上記の公式が使われるので、正解は①。

13. もし雨じゃなかったら、僕たちは今日ハイキングに行くのになあ。

②

if節の動詞の形から、仮定法過去だと判断できる。したがって正解は、②。

助動詞の過去形は、would, could, mightのどれかしか使わないので、④were able toは不適。



14. 「ジャックはパーティーにいた？」

「そうは思わないな。もしいたなら、会っただろうから。」

③

仮定法過去完了の公式「If 主語 + had Vpp ～, 主語 + 助動詞の過去形 + have Vpp」が使われるので、正解は③。

15. もし先月ハンナと別れてなかったら、2年間彼女と付き合ってることになったんだけどなあ。

④

仮定法過去完了の公式「If 主語 + had Vpp ～, 主語 + 助動詞の過去形 + have Vpp」が使われるので、正解は④。

16. 「わたし、自分の仕事は好きだけど、もっと稼げたらなあと思うよ。」

「わたしも。そうだったら、新しい車買えるのにな。」

①

仮定法過去の公式「If 主語 + 過去形 ～, 主語 + 助動詞の過去形 + 動詞の原形」から、if節の中は動詞の過去形が来るので、正解は①。

17. 「昨日宿題終わらせられなかった。」

「頼んでくれれば手伝ったのに。」

①

仮定法過去完了の公式「If 主語＋had Vpp ～, 主語＋助動詞の過去形＋have Vpp」が使われるので、正解は①。

18. 「君の弟、君があげた新しいペン本当になくしちゃったの？」

「ああ、そうだよ。あいつが自分のものをもっとちゃんと管理することを覚えてくれたらと思うよ。」

①

主語＋wish＋【主語＋仮定法過去／仮定法過去完了】(【～】だったらなあ)

上記の公式が使われるので、正解は①。

19. 父親のアドバイスがなかったら、マイコは今困った状況にいるだろう。

③

前半にhad Vppがあり過去の話をしており、後半にnowという表現があり、現在の話をしているので、以下の公式が使われる。

過去と今の両方が関係する仮定法の公式：

「If 主語＋had Vpp ～」(過去), 「主語＋助動詞の過去形＋動詞の原形」(現在)

したがって、正解は③。

20. 「車が壊れたから、昨日授業に出られなかったよ。」

「僕のを借りられたのに。僕は使ってなかったんだよ。」

②

空欄の後の文に、「僕は自分の車を使っていなかった」とあるので、「車を借りられたのに」という内容が空欄に来るとわかる。

「～できたのに」という内容は、「could have Vpp」で表せるので、正解は②。

21. あなたの財政的援助なしには、わたしたちは計画を実行に移すことはできないでしょう。

④

「～がなければ」という内容は、「Without～」という形で表現できるので、正解は④。

22. 家を出る前に君がここにいることを知ってたら、君の本を持ってきたんだけどなあ。

②

before I left home(家を出る前に)という部分に注目。ここから、過去のことを話しているとわかる。したがって、仮定法過去完了を使えばよいことになる。

仮定法過去完了の公式「If 主語 + had Vpp ～, 主語 + 助動詞の過去形 + have Vpp」が使われるので、正解は②。

23. あの会社に比べれば、我が社はもっと長い有給休暇を与えている。

②

「～と比較すれば」という内容は、「Compared with～」という形で表現するので、正解は②。

24. そのビーチはきれいだったよ！もっと長くいることができたらなあ。

②

主語＋wish＋【主語＋仮定法過去／仮定法過去完了】(【～】だったらなあ)

一文目は、The beach was beautiful!で、過去形が使われているので、過去の話をしていることがわかる。したがって、上記の公式の中で仮定法過去完了を使う形を選択する。したがって正解は、②。

25. すごく疲れてたんだ。そうじゃなかったら、昨日の夜君と一緒にパーティーに行ったんだけど。

④

last nightという過去を表す表現が空欄を含む文の中にあるので、仮定法過去完了を使う。

仮定法過去完了の公式「If 主語＋had Vpp ～, 主語＋助動詞の過去形＋have Vpp」

そして、Otherwise(そうでなければ)という、If節の代わりをする表現があるので、空欄部分は主節の「助動詞の過去形＋have Vpp」という形が入る。したがって正解は、④。

26. 君が試験の準備をしていれば、受かったのに。

②

仮定法過去完了の公式「If 主語＋had Vpp ～, 主語＋助動詞の過去形＋have Vpp」が使われるので、正解は②。

### 3-C

P60

問1

1. あなたがわたしに同伴したいと思っているのを知っていたら、あなたについて来させたのだが。

②

仮定法過去完了の公式「If 主語 + had Vpp ~, 主語 + 助動詞の過去形 + have Vpp」が使われるので、正解は②。

2. 万一姉がわたしの留守の間に来たら、待つように伝えてください。

②

可能性が低いことが未来に起きることを仮定する「万一～したら」という意味の仮定法の公式：

1)「If 主語 + should + 動詞の原形, 主語 + 助動詞の過去形 + 動詞の原形」

2)「If 主語 + should + 動詞の原形, 主語 + 助動詞の現在形 + 動詞の原形」

3)「If 主語 + should + 動詞の原形, 動詞の原形(命令文)」

上記の公式の3が使われているので、正解は②。

3. 君があと5分待っていたら、彼に会い損ねることはなかっただろうに。

①

仮定法過去完了の公式「If 主語 + had Vpp ~, 主語 + 助動詞の過去形 + have Vpp」の倒置形「Had + 主語 + Vpp ~」が使われているので、正解は①。

③や④で使われている、more five minutesという形は、正しくない。

「あと5分」という言い方は、正しくはfive more minutes。

4. 遅い時間になってきたね。僕たちそろそろ家に帰ってもいい頃だと思うよ。

③

「It is about time 主語＋動詞の過去形～」(そろそろ～してもいい頃だ)という形が使われているので、正解は③。

5. もし生徒たちがルールに従わなければ、罰せられます。

③

仮定法と見せかけて、実は普通の条件文。理由は、「生徒がルールに従わない」ということは、普通にありえることなので。

したがって、動詞を過去形にする必要はないので、正解は③。

6. 原子力がなかったら世界はどんな風になるか考えたことはありますか？

①

「If it were not for ～」(～がなかったら)という形が使われているので、正解は①。

7. 永遠に燃え続けるかのように見えた炎は、消え始めた。

④

「as if 主語＋過去形」(まるで～であるかのように)の形が使われているので、正解は④。

8. 30年前は、日本にとって自衛隊を海外に派遣することは考えられないことだっただろう。

①

Thirty years agoという過去を表す表現に注目。この時点で、「自衛隊を海外に派遣することは考えられないことだっただろう」ということになるので、仮定法過去完了を使う。したがって正解は、①。

9. 彼の懸命な努力がなかったら、彼は入試に受からなかっただろう。

③

「If it had not been for ~」(過去に～がなかったら)が使われているので、正解は③。

10. 僕が君の立場だったら、そのことについて彼女と話すことはしないな。

④

仮定法過去の公式「If 主語＋過去形～, 主語＋助動詞の過去形＋動詞の原形」から、主節の中は助動詞の過去形が来るので、正解は④。

11. もし太陽が西から昇るようなことがあろうとも、それでも約束を守ると彼は言った。

②

「仮に～ということがあったら」という意味の仮定法の公式：

「If 主語＋were to V ～, 主語＋助動詞の過去形＋動詞の原形」

が当てはまるので、正解は②。

12. 先生の助けがなかったら、リチャードは入試で深刻な間違いをしていたに違いないだろう。

③

「もし～がなかったら」は、But for ~, Without ~, If it were not for(と倒置形: Were it not for)、If it had not been for(と倒置形: Had it not been for)があり、今回はBut forが使われる。したがって正解は、③。

13. あの芝居はとてもおもしろかったよ。君もそこにいたらよかったのになあ。

②

主語 + wish + 【主語 + 仮定法過去 / 仮定法過去完了】(【～】だったらなあ)

という形を使う。一文目がThe play was a lot of fun.となっていて、時制が過去なので、仮定法過去完了を使う。

ここで、選択肢②had beenと選択肢③would have beenのどちらも仮定法過去完了なので、このどちらかを選択することになる。

つまり、以下の仮定法過去完了の公式の中で、「had Vpp」か「助動詞の過去形 + have Vpp」のどちらが適切か判断する必要が出てくる。

参考:

仮定法過去完了の公式

「If 主語 + had Vpp ~, 主語 + 助動詞の過去形 + have Vpp」

(もし～だったら、～だったろうに)



選択肢②を入れた文は、I wish you had been there. となり、意味は「あなたがそこにいたらなあ」となる。意味が通じる。

一方、選択肢③を入れた文は、I wish you would have been there. となり、意味は「あなたがそこにいるだろうことを願う」(?)となる。

ここで大切なことは、wouldを入れるなら、「～だろう」という意味になってしまうということである。そして、今回の問題では、「～だろう」の意味が加わると、文意が変になってしまうので、③は誤り。正解は②となる。

14. 彼らは僕の部屋にいたいと思ってるけど、僕は彼らにそうしないでほしいんだが。

①

「I would rather S' V' (S' V' は仮定法過去・仮定法過去完了)」(「～するより」むしろ～してほしい)

という形が使われているので、正解は①。

15. コーラ100本飲めるくらいものすごく喉が渴いてる。

②

「コーラを100本飲む」ということは現実にはありそうにないので、仮定法で表現する。したがって、助動詞の過去形couldを使った②が正解。

16. 今朝、朝ご飯食べてれば、今お腹が空くことはないんだけどなあ。

②

前半にthis morningという表現があり過去の話をしており、後半にnowという表現があり現在の話をしているので、以下の公式が使われる。

過去と今の両方が関係する仮定法の公式：

「If 主語 + had Vpp ～」(過去), 「主語 + 助動詞の過去形 + 動詞の原形」(現在)

したがって、正解は②。

P64

問2

1. 彼女はダイエット中だから、私たちが昨日キャンディーを送ったりしないでくれればよかったの  
にと思っている。

①

yesterdayという過去の表現があるので、仮定法過去完了を用いるので、①didn't sendは誤りで、正しくはhadn't sent。

2. わたしは夫に、遅れると伝えるために電話しました。そうしなかったら、彼はわたしのことを心配したでしょう。

③

I calledとあるので、過去の話をしていることになり、If以下で仮定法過去完了を使うことになる。したがって、③didn'tは誤りで、正しくはhadn't。

3. キャシーはカセットプレーヤーの音量を下げた。さもないと、近所の人が音のことで苦情の電話をかけてくるかもしれなかっただろう。

③

Cathy turnedとあるので、過去の話をしていることになり、Otherwise以下で仮定法過去完了を使うことになる。したがって、③would callは誤りで、正しくはwould have called。

### 問3

1. (直訳)あなたと共にあるもう少し多くの注意が、危険を避けることができただろう。

(意訳)あなたがもう少し注意していたら危険を避けることができただろう。

⑦ ① ⑥ ③ ⑧ ④ ⑤ ②

With a little more care, you could have avoided

### 【解説】

With ~は「～があつたら」という意味。

2. 彼は、まるで僕が知らない人であるかのように見つめながら立っていた。

⑥ ② ⑤ ① ④ ③ ⑦

He stood (staring at me as if I were) a stranger.

3. もしその暗殺の試みが成功していたら、ほぼ確実に、市民の、また政治の混乱があつたことだろう。

③ ④ ② ① ⑥, ⑤

(Had the attempted assassination succeeded, there would) almost certainly have been civil and political chaos.

4. 彼を見る人は、彼が人生の中で全く心配をしたことがないと思うだろう。

⑤ ② ①, ③ ⑥ ④

(To look at him, one would suppose that) he has never had a care in his life.

【解説】

To look at himのようなto不定詞は、「to ~したら」という意味で仮定法で使われることがある。To look at himは、「彼を見たら」という意味。

5. 快適な住む家があったらなあ！

③ ⑥ ⑦ ④ ① ② ⑤

Would that I had a comfortable house to live in!

【解説】

「Would that ~!」(～であればなあ[if only])(that以下は仮定法過去・仮定法過去完了)

という表現があり、これを使用する。

例文: Would that I could make money so easily! (そんなに楽に金儲けができればなあ!)(=I wish I could make ~.)

## 第4章 五文型

### 4-A

P66

1. なんで鶏は卵をうむのをやめてしまったんだろう？

①

stop Ving → 「～することをやめる」

stop to V → 「～するために立ち止まる」 ex. I stopped to look at the poster. そのポスターを見るために立ち止まった

lie → lying : 自動詞「横になる」

lay → laying : 他動詞「(卵を)産む、(物を)置く」

上記の情報から、stop Ving「～することをやめる」とlay「(卵を)産む」の形を使っている①が正解。

2. 彼って彼の父親に似てると思う？

①

resemble: 他動詞「(～に)似ている」

したがって、①が正解。

② resembleは状態動詞なので進行形は不可。

③、④ resembleは他動詞なので前置詞不要。

3. 彼は一番人気の先生というわけではなかったが、生徒たちは彼を尊敬していた。

②

look up to ～：～を尊敬する

したがって、②が正解。

③、④ **respect**は他動詞なので前置詞不要

4. それらの花はとても甘い香りがする。

①

smell：「匂いがする」S+V+Cをとる

①**sweet** 形容詞 ②**sweeten** 他動詞「～を甘くする」、自動詞「甘くなる」 ③**sweetly** 副詞「甘く」 ④**sweetness** 名詞「甘さ」

正解は形容詞の①。

④**sweetness**「甘さ」を選ぶと、SVCにはS=Cの関係があるので、「これらの花は、『甘さ』だ」(?)という意味になってしまい、通じないので不適。

5. 彼はとてもいい声をしているけど、マイクを通すといい声に聞こえない。

③

第2文型SVCをとる動詞を選ぶ。**sound**は、SVCを取るなので、正解は③。

6. もし時間があれば、お皿を洗うのを手伝ってくれませんか？

②

do the dishes → 皿を洗う

したがって、②が正解。

7. 私がマネージャーに話に行ったとき、彼は私に10分取っておくことしかできなかった。

②

SVOOをとる動詞を選ぶ

① provide → AにBを提供する: provide A with B

② spare → spare A B : AのためにBをとっておく

③ hear → hear A : Aの声が聞こえる(耳を傾けているのではない)、「時間」はhearの目的語にはなれない

したがって、②が正解。

8. お願いがあるんだけど、郵便局に車で連れて行ってくれない？

①

SVOO

do someone a favor → 人のお願いを聞いてやる、手を貸してやる

Can/Will you do me a favor? → お願いがあるんですが。

したがって、正解は①。

9. 来いよ、一杯おごるからさ。

③

pay → (人に) (料金、報酬など)を支払う

buy → S buy O1 O2 : O1にO2を買う

したがって正解は、③。

「I'll buy you a drink.」で、「あなたに一杯おごる」という意味になる。

10. 君はSFが好きだから、この本がおもしろいとわかるはずだよ。

②

find → find O C : OがCであることがわかる

see → see O C : OがCであるのを見る

したがって正解は②。

「find this book interesting」で、「この本が面白いとわかる」という意味。

O C

11. その町に新しく来た人のために家を見つける手伝いをするボランティアの募集があった。

②



help 自動詞:「役立つ/手伝う」 help (to) V → ～するのに役立つ (to は省略可能)

※volunteers 以下の to～は、volunteersを形容する不定詞句

したがって正解は、②。

\*call:【名】募集、招集、招待〔for〕

12. 寝る前に歯を磨いたら、後でお話をしてあげようね。

②

tell 他動詞→ 目的語に「人」をとる

say 他動詞→ 目的語は「人以外」

speak、talk → 自動詞

したがって正解は、②。

また、tellはtell O1O2「O1にO2を話す」という形を取ることも、②が正解になる。

13. そのアパートの大家さんは彼に1か月に約9万円の家賃を請求している。

②

cost, chargeともに、SVOOの形を取れる。

しかし、単語の使用方法に違いがある。

**cost** →主語は、「購入した物」や「it」。

(人に) (ある金額の) 負担がかかる。

例文: The eggs cost two dollars. (卵は2ドルかった。)

**charge** →主語は、「サービスの提供者」。

(人に) (代金を) 負わせる

例文: The hotel charged us \$200. (そのホテルは私たちに200ドル請求した。)

今回は、「The landlord of the apartment (アパートの大家)」というサービスの提供者が主語なので、正解はcharge。

14. 僕たちは夜遅くまでその国際問題について話し合った。

①

**discuss** → 他動詞なので**about** は必要ない

**talk** 自動詞

したがって、「We discussed the global problem.」

S 他V      O

という形になる選択肢①が正しい。

15. この本はスコットランドの風景をとてもしきしきと描いているので、まるでスコットランドにいるかのような気持ちにしてくれる。

③

makeは使役動詞で、「make O V(原形)」「OにV(原形)させる」という形を取る。

したがって、makes youの後は、動詞の原形になるので、正解は③feel。

16. 彼女の夢はかなった。

②

come true→～が実現する

comeの活用→come-came-come

したがって正解は、②。

17. 那覇から名護にバスで行くのにな5000円かかる。

②

cost O1(人) O2(金額) (O1にO2がかかる)

したがって、正解は②。

chargeもcharge O1O2という形を取るが、chargeの主語は、「サービスの提供者」でなければならないので、今回はitが主語のため、不適。

18. ニコラが冗談をいうまで、わたしはちょっと退屈に思っていた。

③

tellの語法

tell O1O2 (O1(人)にO2(話)を言う)

例文: He told me a funny story. (彼は私に面白い話をした。)

O1    O2

sayの語法

say A to B (AをB(人)に言う)

例文: He said hello to me. (彼は私に「こんにちは」と言った。)

A    B

今回は、選択肢③を選ぶと、told me a jokeという、tell O1O2の形ができるので、正解は③。

19. 「これらの書類は明日の朝一番に準備されていなくてはならないんですね？」

「その通りです。私たちはなんとかして今日終わらせなくてはなりません。」

②

get O done → 「～を終わらせる」 SVOCの文

したがって正解は、②。

\*first thing tomorrow morning: 明日の朝一番に

do away with ～ : ～を処分する、排除する

20. 石油の価格は最近上昇している。

④

rise → 自動詞「上がる」

raise → 他動詞「～を上げる」

したがって正解はriseのing形④rising。

21. 確かに、電車は行ってしまったんだ。ホームに誰もいない。

①

leave → 他動詞(場所を) 去る

start → 自動詞「出発する」前置詞が必要

したがって正解は、①。

22. 僕が、君のお兄さんに僕を駅まで送らせることができると思う？

④

have、get → 使役動詞

have O V(原形)、get O to V の形で使う。

したがって、④get your brother to drive (get O to V)が唯一正しい形なので、これが正解。

23. タクシーの運転手に、わたしたちを最寄りの病院にすぐに連れて行かせた。

①

使役動詞have O V(原形)

したがって正解は①。

24. 君にとって都合のいい時間を僕に知らせてほしいんだ。

③

want 人 to V → 人にVしてもらいたい

使役動詞 let O V(原形) → OがVするのを許可する

以上から、want youの次はtoで始まる必要があるので、正解は③か④に絞られる。

そして、letの使い方は、let O V(原形)になるので、正解は③to let me know。

25. (直訳)悪い天気が僕たちに試合をキャンセルさせた。

(意訳)悪い天気のせいで、僕たちは試合をキャンセルせざるを得なかった。

②

使役動詞have O V(原形) → Oに～してもらう

使役動詞make O V(原形)→Oに(無理やり)～させる

cause O to V →Oに～させる

force O to V→Oに(無理やり)～させる

空欄の後ろがus cancelとなっているので、Oの後ろに動詞の原形を取る、使役動詞haveかmakeが正解。

haveの場合は、「～してもらう」という意味で、makeの場合は「(無理やり)～させる」という意味で、今回は悪い天気のせいで強制的に試合が中止に追い込まれているので、makeを選ぶ。したがって正解は、②made。

26. そのアメリカ人は、自分は9人のアメリカ大統領が現れたり去ったりするのを見てきたと言った。

②

知覚動詞

see O V(原形)

seeは知覚動詞のため、Oの後の動詞は原形。

したがって正解は、②come and go。

27. 彼は自分の個人的な問題が仕事ぶりに決して影響しないようにしている。

②

allow O to V → OがVするのを許す

使役動詞 let O V(原形)→OがVするのを許可する

使役動詞 make O V(原形)→Oに(無理やり)～させる

「his personal problems to affect ~」と、Oの後ろにto Vがあるので、正解はallow O to Vを使う  
②allows。

28. 彼は、出張に行っている間、わたしに子どもの面倒をみるように頼んだ。

④

ask 人 to V → 人にVするよう頼む

したがって正解は、④asked me to look。

29. 勝者への賞が人々をそのコンテストに参加するよう動かしている。

③

encourage 人 to V → 人をto Vするよう鼓舞する、励ます

affect → 他動詞 (物・事・人の状態)に影響を及ぼす

したがって正解は、③。

\*選択肢③は、旧版のテキストでは誤植のため「encourage」となっているが、正しくは「encourages」

ちなみに、affect O to Vという形はないので、②affectsは誤り。



30. 僕は彼に、もう少しバスを待たなくてはいけないことを説明した。

①

explain to 人 that節 → 人にthat～を説明する

inform 人 that 節 → 人にthat～の情報を与える

空欄の直後が「to him」になっていて、この形を取れるのは、explainなので、正解は①。

informは、直後にtoを入れてはいけないので、不適。(×inform to 人)

## 4-B

P74

1. 昨日の夜窓の外を見たら、猫が隣の庭に忍び込むのが見えた。

②

知覚動詞seeの取る3つの形：

1) 知覚動詞see O V(原形) 「OがV(原形)するのを見る」

2) 知覚動詞see O Ving 「OがVingしているのを見る」

3) 知覚動詞see O Vpp 「OがVppされるのを見る」

上記の2が今回は使われるので、正解は②sneaking。

選択肢③sneaksは、三人称単数現在形のsが付いているので誤り。原形『sneak』なら正解だった。

2. 英語を社内公用語として使うという新しい方針を採用している会社もある。

③

absorb 吸収する

accompany 付き添う

adopt (新しい方針など)を採用する

appoint 任命する

英語を社内公用語として使う新しい方針を「adopt(採用する)」と意味が通じるので、正解は③。

3. お父さん、学期の終わりまでに成績が上がったら、お小遣いを上げてくれない？

①

mindは動名詞Vingを目的語に取る動詞。

Would[Do] you mind Ving ~? (～してもらえませんか？〔丁寧な依頼〕)

上記のmindの使い方から、Ving形の①か②に解答は絞られる。

そして、

rise → 自動詞「上がる」

raise → 他動詞「～を上げる」

allowance (おこずかい)を「上げる(raise)」という話をしているので、正解は①raising。

rise – rising

raise - raising

4. ケンジは図書館から借りたあの本まだ持ってるの？

②

borrow（無料で）借りる

lend 貸す（lend-lent-lent）

rent（有料で）借りる、貸す

図書館から借りた本の話をしているので、正解は②borrowed。

5. ツアーガイドさんに、わたしたちは買い物に行く方がいいと言った。

②

prefer to V toVすることを好む

したがって正解は、②。

6. アンジェリーナはわたしに、先週の土曜日のお祭りを楽しんだかどうか尋ねた。

①

まずは、①②のaskedか③④のsaid toのどちらかを判断するが、「whether節」(訳: ~かどうか)が後ろにあるため、askedの場合は、「~かどうか尋ねた」という意味になり、said toの場合は「~かどうか言った」という意味になる。

「私が祭りを楽しんだかどうか言った」(??)というのは、意味が不自然なので不適。

よって、「私が祭りを楽しんだかどうか尋ねた」という意味になるaskedを選ぶ。

そして、Bの空欄は、「尋ねた時点」より、「祭りを楽しんだ時点」の方が古いので、大過去となり、過去完了形had Vppを使う。

したがって正解は、①。

7. 非常にたくさんの国々が参加したので、オリンピックは大成功だった。

①

participate 【自】参加する

represent 【他】~を代表する

take part in ~に参加する

選択肢②と④は、前置詞で終わっているけれども、後ろに名詞がないので不適。

選択肢③は他動詞だが、後ろに名詞がないので不適。

残る①participatedは、文法的にも意味的にも問題ないので正解。

8. A: 最寄りのバス停の場所を教えてください。

B: ごめん。全然知らないんだ。

①

「have no idea」(わからない、知らない)の短縮形「I've no idea」が、当てはまる。したがって正解は①。

9. オーストラリアのどこで育ったの？

①

grow up 【自】成長する

raise 【他】～を成長させる、育てる

rise 【自】上がる、昇る

②did you raise upは、raiseという他動詞が使われているが、目的語が後ろにないので不適。

③were you grown upは、grow upは自動詞なので受動態にできないので不適。

④were you risen upは、riseが自動詞なので受動態にできないので不適。

残る①は、文法的にも意味的にも問題ないので正解。

10. 喫煙は有害無益だということを心に留めておかなくてははいけません。

②

do 人 harm [人]に害を与える

do 人 good [人]に益をもたらす

上記から、②が正解。

11. 第三次世界大戦がもうすぐ起こるかもしれないと怖れる人もいるが、わたしはそれは疑わしいと思う。

②

①～④のif節、that節は、どれも名詞節。

そして、第3次世界大戦は未来のことなので、名詞節中の動詞はwillを使っている必要がある。

したがって、③と④は誤り。①か②が正解。

そして、①am afraid ~は、「残念ながら、～だと思う」という意味で、①を省略を補って書くと、「I am afraid it will (break out soon).」(残念ながら、まもなく勃発すると思う)という意味になる。

その前に、「ある人々は第3次世界大戦の勃発を畏れている、しかし・・・」とあるので、意味がつかない。そのため、①は誤り。

残るは②だが、②を入れるなら、「ある人々は第3次世界大戦の勃発を恐れている、しかし、『そうなるかは疑わしい(doubt)と思う』」となると意味が通じるので、正解は②。

12. 何に耳を向ければいいかが一度わかったら、僕はモダンジャズの良さが分かるようになった。

②

come to V「Vするようになる」

上記から、正解は②。

become to Vという表現は、存在しないので、①は不適。

13. ビルは試合に勝てるか確信はなかったが、幸運を祈り、最善の結果を期待した。

③

cross one's fingers (人差し指の背中に中指の腹をからめて重ねて) 幸運を祈る[魔除け・願い事のしぐさ]

hope for the best 最善の結果を願う

上記から、正解は③。

14. 大学教育は、世界に対するより広い視点を得させてくれる。

①

enable O to V 「Oがto Vすることを可能にする」

上記から正解は①。

15. ある場所を誰かに(お金を取って)貸したら、その人たちが一定の金額を定期的に支払う限り、そこを使わせることになる。

④

borrow (無料で) 借りる

lend (無料で) 貸す (lend-lent-lent)

rent (有料で)借りる、貸す

英文の最後に、as long as they regularly pay you a certain amount of money「彼らが定期的に一定額のお金を支払う限り」とあるので、有料で貸すことがわかる。

「有料で貸す」は、rentなので、正解は④。

16. 「説得する」とは、納得させたり、議論したり、あるいは懇願したりして誰かに何かをするようにさせることである。

④

command 命令する

direct 指示する

order 命令する

persuade 説得する

上記から、正解は④。

17. あなた、わたしたちの近くに住んでますよね？タクシーの相乗りしませんか？

④

「近くに住んでいる」なら、相乗りを提案するのが普通なので、正解は④share。

18. イギリスではますます多くのビデオがレンタルされているにもかかわらず、映画のチケットの売上数は5300万枚から9600万枚と、81%増加した。



③

5300万から9600万枚への増加は81%の増加なので、81%増加したということを表現する必要がある。byは、「by ~」という形で、変化した量や差を表すことができるので、正解は③。

\*ちなみに、 $9600 \div 5300 = 1.81...$ なので、実際に1.81倍に増えている、つまり81%増加していることがわかる。

19. 明日で期限が切れるから、定期券を更新しないといけない。

③

activate 起動する

conceive [考え・思い]を心に抱く

expire [有効期限が]切れる

interfere 干渉する

今回当てはまるのは、③expire。

20. 太郎は今時間とエネルギーをすべて英語の勉強に注ぎ込んでいる。

②

devoteの語法:

devote O to 名詞/動名詞 「Oを名詞/動名詞に費やす」

toは前置詞で、後ろには名詞か動名詞が来る必要がある。

したがって正解は、②to studying。

21. 僕たちが誕生パーティーに着いたとき、食べたり飲んだりするものは何も残されていなかった。

③

③there wasを入れると、there was nothing left to eat or drinkという形になり、「食べたり飲んだりするための物は、何も残されていなかった」という意味になり通じるので、正解は③。

22. 「ジーンが新しい仕事についたって知ってる？」

「いや、わたしたちにはそのことについて何も言わなかったよ。」

④

言う・話す系の動詞の語法

say: say A to B「AをB(人)に言う」

speak:

①speak 言語 speakの目的語は、普通、Englishなどの言語。

②speak to ~「～に話しかける」

talk: talk with/to「～と話す」

tell: tell O1(人)O2(物)「O1(人)にO2(物)を言う」

今回は、「she ( ) us nothing ~」という形が来ていて、usがO1、nothingがO2という、SVO1O2の形になっている。

このSVOOの形を取れるのは、上記のまとめより、tellだけなので、正解は、④。

23. スーザンは仕事をやめたので、時間に余裕がある。

④

spareには、「時間などを他の活動のために割く」という意味があり、例えば:I can't spare the time for the dinner party. (ディナーパーティーのための時間が取れない)のように使う。

今回は、スーザンは仕事を辞めたので、「他の活動のために割く時間」がたくさんあるはずなので、she a lot of time to spareとすると意味が通る。

したがって正解は、④。

24. 彼の奥さんは車の衝突で怪我をしたので、病院にいる。

④

break 壊す

damage 損傷を与える(目的語は通常、物)

destroy 破壊する

injure 怪我をさせる

今回は、受動態の形を使うので、①から順に次のような意味になる。

①彼女は、壊された。

②彼女は、損傷を与えられた。

③彼女は、破壊された。

④彼女は、怪我をさせられた＝怪我をした。

①と③は意味が不自然。②はそれほど不自然ではないが、通常、物に対する損傷を表現するので、今回は彼の奥さんという人に対して用いることはしない。④は問題がないので、正解は④。

25. その相撲取りたちはそれぞれ体重が100kg以上ある。

③

weigh 動詞: 重さが～である

weight 名詞: 重さ、重量

weighは、「He weighs 70kg. (彼は体重が70kgだ。)」のように使う。

したがって、③が正しい。

26. 僕たちはニューヨークに住んでいた時アパートを借りていたけど、すごく高かった。

③

borrow (無料で)借りる

hire ～を雇う

rent (有料で)借りる、貸す

search [search forの形で]～を探す

アパートはお金を払って借りるものなので、rentを使う。したがって正解は、③。

27. カタログには今年のモデルは去年のものより少し安いと書いてある。

①

speakは、目的語にthat節を取らない。

talkは、「おしゃべりをする」という意味。カタログとおしゃべりをするのではないので、不適。

tellは、that節を取れるが、「tell O(人) that節」という形をとって、O(人)を書く必要があるので、ここでは不適。

よって、残る①saysが正解。

28. その機械工は、わたしの車を直すのに700ドルかかるだろうといった。

②

「cost O1(人)O2(金)」という形を取るので、正解は②。

29. 「オーウェンさんの、工場の経費削減の提案をどう思います？」

「彼のアイディアは気に入ったよ。でも、うまくいくとは思わないな。」

①

workには、「機能する、うまく行く」という意味があるので、①が正解。

30. 「その歌好き？」

「うん。楽しかった学生時代を思い出させてくれるんだ。」

④

recall: [recall Oの形で]～を思い出す

recollect: [recollect Oの形で]～を思い出す

remember: [remember Oの形で]～を思い出す

remind: [remind A(人) of B(事)の形で]A(人)にB(こと)を思い出させる

今回は、meの後ろにofがあるので、正解は④reminds。

31. 実現させる方法は知らないけれど、彼女は映画スターになる夢を持っていた。

④

itの指している内容は、a dream of becoming a movie star。realize a dreamの形で、「夢を実現させる」という意味になるので、正解は④realize。

## 第5章 態

### 5-A

P82

1. わたしの町の一番高い建物は、50年以上前に建てられた。

④

over 50 years agoという過去を表す表現に注目。過去を表す表現は、現在完了形と一緒に使うことはできないので、②は誤り。

正解は④。

2. 彼は少年たちによってチームのキャプテンに選ばれた。

②

chooseは、choose A(人) as B(役職)「A(人)をB(役職)に選ぶ」という形で使われる。そして、問題文の能動態の形は、The boys chose him as captain of the team. となる。

この文が受動態になると、He was chosen as captain of the team by the boys. になる。

そして、この「choose A as B」の中のasは、受動態になると省略されることが多いので、今回はそれが省略された形の、He was chosen captain of the team by the boys. となる。

したがって正解は、②。

3. 夏の間その花はどのくらいの頻度で水やりをされていましたか？

②

water 水やりをする、水をあげる

How often are the flowers ( ) ~?

上記の文の下線部にareというbe動詞があるので、空欄にwateredを入れれば、are watered(水やりをされる)という受動態の形を作ることができる。

したがって正解は、②。

4. 月への着陸のような出来事はコンピューターでシミュレーションできる。

②

②can be simulatedを入れれば、can be simulated by a computer(コンピューターによってシミュレーションされることができる)という意味になり、文意が通じるので、正解は②。

5. 幸運なことに、その病院の新しい空調設備はその夏の最初の熱波が来た時にはすでに設置されていた。

①

「最初の熱波が来た時」と「空調の設置」という二つの過去の出来事のうち、「空調の設置」の方がより古い出来事なので、これは過去完了形で表す。

したがって正解は、④以外になる。

そして、「空調が設置される」ので、受動態の選択肢①が正解になる。

6. 家の前で道が工事中なので、このごろ勉強に集中するのが難しい。

③

「道が建設されている」ので、受動態の選択肢を選ぶ。③はis being builtという形で、「is/am/are being Vpp」という現在進行形の受動態の形になっている。

したがって③が正解になる。



7. 学校からの帰り道、その少女は知らない人に話しかけられた。

①

問題の英文を能動態にすると、

A stranger spoke to the little girl. となる。

この英文を受動態にすると、

The little girl was spoken to by a stranger. となる。

上記の注意点は、speak toは受け身にするとき、be spoken toとなり、前置詞toは消さないということ。

そして、be spoken toの後には、動作主を表すby a strangerが続くので、正解は①。

8. これに興味があれば、わたしに知らせてね。

①

be interested in ~で「～に興味がある」

したがって正解は①。

9. わたしたちはそのレストランのサービスに満足した。

②

be satisfied with ~で「～に満足する」

したがって正解は②。

10. このセンサーは情報を得るための手段として皆に知られている。

①

be known to 人で、「[人]に知られている」

したがって正解は①。

11. ジョンに笑われるぞ。

③

laugh atの受動態は、be laughed at。大切な点は、受動態になってもatを消さないということ。

したがって正解は③。

12. その会社の社長は委員会のメンバーによって突然辞任させられた。

②

使役動詞makeを受動態にしたときの形を問う問題。

「make O V原」の受動態は、「O is made to V原」となる。つまり、受動態になったとき、「V原」の部分は「to V原」となり、toが使われるということである。

したがって正解は②。

13. 長野では冬の間、人々が雪だるまを作っているのをしばしば見ることができる。

(直訳)長野では冬の間、人々は雪だるまを作っているのをしばしば見られることができる。

①

知覚動詞seeの受動態の形を問う問題。

「see O Ving」の受動態は「O is seen Ving」となる。

したがって正解は①。

14. その道路工事は3か月以上かかることが予想される。

④

expect O to Vの受動態の形を問う問題。

「expect O to V」の受動態は、「O is expected to V」となる。

④を選ぶなら、「The road construction is expected to take ~」となり、正しい受動態の形になるので、正解は④。

15. この工場は世界で最新の機械が備え付けられています。

③

be equipped with ~で「～が備わっている」。

したがって正解は③。

16. 警察は行方不明の女の子を探している。その子は黒いコートを着て、赤い帽子をかぶっていると考えられている。

①

受動態の時制を問う問題。

「警察が行方不明の女の子を探し」ていて、その女の子の身なりについて今考えられていることがIt以下に来ているので、正解は現在形が適切。したがって、①を選ぶ。

17. その新しい薬の研究にはその薬、あるいは偽薬を与えられた3100人以上の人々が参加した。

④

「薬を与えられる」という話なので、受動態を選ぶ。

したがって正解は、④。

18. わたしの両親は長い間連れ添ってきた。来月の初め、結婚して30年になる。

③

「結婚している」とは「be married」で表す。

そして、「来月の初め」という未来の時点で、「結婚して30年間になる」ということなので、未来完了形will have Vppを選ぶ。

したがって正解は①will have been married。

19. その電車は大雪で遅れた。

②

delay「遅らせる」

be delayed by ～「～によって遅らせられる」

したがって正解は、②was delayed by。

20. 「心配そうだね。どうしたの？」

「誰かが僕のバイクを盗んだんだ。どうやって学校に行けばいいんだ？」

③

①I was stolen ～と書くと、「私は～を盗まれた」という意味になって正しそうに見えるが誤り。なぜなら、The book was stolen. (その本は盗まれた。) The ring was stolen. (その指輪は盗まれた。) は正しいが、I was stolen. と書いてしまうと、「私は盗まれた」つまり、「私という人間が、誘拐された」のような意味になってしまうので、誤り。

②I have stolen my bike. は、「私は自分の自転車を盗んだ。」(??)という意味になり、不適。

③Someone stole my bike. は、「誰かが、私の自転車を盗んだ。」となり正しい。

④I had someone steal my bike. は、「使役動詞have O V原」(OにV原してもらう[依頼])という形を使っているので、意味は「私は、自転車を盗んでもらった。」(??)という意味になり、不適。

21. わたしたちが最後に飼った猫は家の外で車にひかれた。

④

run over ~「～をひく」

runの活用: run – ran - run

受動態「be Vpp by」の「be」を「get」に変え、より変化が起きたことを強調する用法があり、今回はその形が使われている。

したがって、run overの受動態は、「be [get] run over」となるので、正解は④。

22. 子どもたちに害はあったのですか？

②

do harm to 人:「～に損害を与える」の受動態は、「harm is done to 人」となる。

そして、今回はこの受動態が疑問文となり、be動詞が前に出て、そして、過去形なので、正解はWas harm done to ~?という形になる。

したがって正解は、②done。

## 5-B

P88

1. 重要な計画が話し合われておりますので、ロバートはただいま会議から離れることはできません。

③

受動態の時制を選択する問題。

ロバートが今会議を離れることができないのは、「重要な計画が今話し合われている」からと考えると、時制は現在進行形が適切。

そして、現在進行形の受動態は、「is/am/are being Vpp」という形になる。

したがって正解は、③。

2. 「この写真好きだな。子どもたちとってもかわいく見えるよ。」

「ありがとう。写真スタジオでとってもらったの。」

③

選択肢①done itを選ぶと、I had done it at a studio. となる。

この文は二つの理由で誤り。一つ目は、had doneとすると過去完了形を使っていることになる。過去完了形を使う理由がないので、誤り。また、訳が「私はスタジオでそれをやった[写真を撮った]」という意味になり、「自分がシャッターを押して写真を撮った」ことになってしまう。写真は、普通スタジオのカメラマンに撮ってもらうので、その点からも不自然。

選択肢③を選ぶと、I had it done at a studio.となる。

使役動詞haveは、「have O Vpp」という形で、「OをVppしてもらう／される」という意味になるので、had it(O) done(Vpp)で、「それ、つまり写真を撮ってもらう」となり通じる。

したがって正解は、③。

3. 「マネージャーの手紙は送りましたか？」

「いえ、まだです。まずそれにサインしてもらわないと。(それをサインされた状態にする)」

④

使役動詞haveは、「have O Vpp」という形で、「OをVppしてもらう／される」という意味になるので、④を選ぶなら、have it(O) signed(Vpp)で、「それをサインしてもらう」となり通じる。

したがって正解は④。

4. 家の前で道が工事中なので、このごろ勉強に集中するのが難しい。

③

「道が建設されている」ので、受動態の選択肢を選ぶ。③はis being builtという形で、「is/am/are being Vpp」という現在進行形の受動態の形になっている。



したがって③が正解になる。

5. そのかわいそうなおばあさんはまたバッグを盗まれた。

②

使役動詞haveは、「have O Vpp」という形で、「OをVppされる〔被害〕／してもらう〔受益〕」という意味になるので、②を選ぶなら、had her bag(O) stolen(Vpp)で、「バッグを盗まれた〔被害〕」となり通じる。

したがって正解は②。

④のwas stolen her bagは、一見正しそうだが、was stolenの主語は、「物」である必要がある。

例: The bag was stolen. (そのバッグは盗まれた。)

The bike was stolen. (その自転車は盗まれた。)

したがって、The poor old woman was stolenと書くと、「そのおばあさんが盗まれた(誘拐)」「(?)」のような意味になってしまい、その後ろのher bagもつながらないので不適。

6. 彼は腕を組んだままソファに横になって、すぐに眠ってしまった。

①

「with O C」(OがCである状態で)という形が使われている。

Cには、形容詞や現在分詞、過去分詞などが入る。

正解は①。

with his arms(O) folded(C)で、「腕が組まれた状態で(＝腕を組んだ状態で)」という意味になり、文意が通じる。

7. "psychology"という言葉は辞書の"P" のところで見つかるでしょう。

③

「find O C」(OがCなことを見つける／わかる)という形が使われている。Cには、形容詞、名詞、現在分詞、過去分詞などが入る。

③listedを選択すると、「find the word "psychology"(O) listed(C)」は、「“心理学”という単語が載せられているのを見つける」という意味になり通じる。したがって③が正解。

8. その男の子たちはアイスクリームを食べるべきではなかったが、食べた。

④

but they didから、時制は過去とわかる。

④を選択するなら、過去の行動について述べる「should not have Vpp」(～すべきでなかった[が、～した])という形ができ、通じる。

したがって正解は、④。

9. ケイトは英語をすごく速く話すんだ。英語があんなに速く話されるのは聞いたことがないよ。

③

「hear O Vpp」(OがVppされるのを聞く)という形が使われる。

③spokenを選択するなら、「I've never heard English(O) spoken(Vpp)」という形になり、「英語が話されるのを聞いたことがない」という意味に通じる。

したがって正解は、③。

10. 今家を塗装してもらってるんだ、だから代わりに来週の金曜日に来てくれる？

③

使役動詞haveは、「have O Vpp」という形で、「OをVppしてもらう〔受益〕／される〔被害〕」という意味になるので、③を選ぶなら、having my house(O) painted(Vpp)で、「家を塗装してもらう〔受益〕」となり通じる。

したがって正解は③。

11. 今日の会議で話し合われる議題はその計画を来月まで延期すべきかどうかということです。

③

問題の英文の主語は、The question、述語動詞Vはis。したがって、すでに述語動詞Vが存在するので、②is discussedは入らない。

③to be discussedを選ぶと、The question to be discussed at today's meetingという形で、「今日の会議で議論されることになっている問題」という意味になり、文意が通じる。したがって正解は、③。

12. A: 君の髪だいぶ長くなってきたね。

B: ずっと切ってないんだ。

③

使役動詞haveは、「have O Vpp」という形で、「OをVppしてもらう〔受益〕／される〔被害〕」という意味になるので、③を選ぶなら、had it(O) cut(Vpp)で、「it(髪)を切ってもらう〔受益〕」となり通じる。

したがって正解は③。

②had cut itを選ぶなら、haven't had cut itとなり、現在完了の否定形(haven't Vpp)のhaven't hadに、さらにcutという動詞が付き、文法的に間違いになるので不適。

13. 「なんで自転車を買おうとしてるの？先月買ったばかりじゃなかった？」

「ああ、でも運の悪いことに先週盗まれたんだ。」

③

①のI was stolen itは、一見正しそうだが、was stolenの主語は、「物」である必要がある。

例: The bag was stolen. (そのバッグは盗まれた。)

The bike was stolen. (その自転車は盗まれた。)

したがって、I was stolenと書くと、「私が盗まれた(誘拐)」「(?)」のような意味になってしまい、その後ろのitもつながらないので不適。

②のit was robbedは、robの語法を考える必要がある。

rob 人 of 物(人から物を強奪する)

例文: The man robbed the woman of her bag. (その男は、その女性からカバンを強奪した。)

上記の例文の受動態: The woman was robbed of her bag by the man. (その女性は、その男にカバンを奪われた。)

上記のように、robを受動態にする時は、The woman was robbed ~のように「人」が主語になる必要がある。

したがって、②it was robbedは、it(物)が主語になってしまっているので、誤り。

④someone was robbedは、確かに、someone(人)が主語だが、「誰かが強奪された」というのと、「自転車を私が買いに行く理由」が結びつかないので不適。

残る③it was stolenは、「it(自転車)が盗まれた」という意味になり通じる。したがって正解は、③。

14. 明子はバッグを盗まれて、お金を全部失った。

④

使役動詞haveは、「have O Vpp」という形で、「OをVppされる〔被害〕／してもらう〔受益〕」という意味になるので、④を選ぶなら、had her bag(O) stolen(Vpp)で、「her bag(バッグ)を盗まれた〔被害〕」となり通じる。

したがって正解は③。

15. 去年その国を襲った台風で多くの人が亡くなった。

④

④を選ぶなら、were killed by the typhoonという形ができ、「台風によって殺された(＝台風で亡くなった)」という意味になり、通じる。日本語では、「台風などの災害によって殺された」のような言い方は普通しないが、英語では普通。したがって正解は、④。

①had diedは、過去完了形なので、「過去のある時点より前に起きた」ことを表すのに使うが、今回の文中に時間的な前後関係はないので、ここで過去完了を使うことはできない。

16. 保護センターのその子犬は女の子に選んでもらって幸せそうだ。

④

④chosenを選ぶなら、「have been chosen by the girl」という現在完了形の受動態(have been Vpp)という形になるので、正解。

17. 嵐のせいで、それ以上何もできなかった。

③

③could be doneを選ぶなら、助動詞の受動態(could be Vpp)という形になるので、正解。

18. メアリーにとって、自転車が盗まれたのを知るのはショックだった。

④

shocking【形】「ショッキングな」

19. 紅茶は、世界中で飲まれているが、日本茶と同じ植物からできる。

④

be made from ~「～から作られる」

20. 彼女はボーイフレンドと映画館に入っていくのを見られた。

②

知覚動詞see O Ving「Oが～しているのを見る」という形が使われている。

例文:I saw her going into the theater. (私は彼女が映画館に入っていくのを見た。)

上記の例文の受動態:She was seen going into the theater. (彼女は映画館に入っていくのを見られた。)

上記の形になるのは、②going。

21. 今日、車は、誰もが持っていると思ってしまうほどに当たり前のものとみなされている。

③

take A for granted「Aを当たり前のものとみなす」という表現の受動態が使われている。

例文:We take cars for granted. (私たちは、車を当たり前のものとみなしている。)

上記の例文の受動態:Cars are taken for granted. (車は、当たり前のものとみなされている。)

上記の形に当てはまるのは、選択肢③taken for granted。

そして、出来上がった英文には、次の英文の下線部のように、「so 副詞 ~ that ...」という形が使われていて、訳は「とても～なので...だ」あるいは「...なほど～だ」になる。(解答の訳例では、「...なほど～だ」と訳している。)

Today cars are so much taken for granted that we assume everyone has one.

訳例: 今日、車は、誰もが持っていると思うほどに当たり前のものとみなされている。

\*似た表現で、take it for granted that S'V' ~ (that~を当たり前とみなす) というものがあるが、これはここには当てはまらない。

22. 子どもを溺れるのから救った女の子は、勇気に対して賞を贈られた。

③

present A with B (AにBを授与する、贈る)の受動態が使われている。

例文: They have presented the girl with an award. (彼らは、その女の子に賞を贈った。)

上記の例文の受動態: The girl has been presented with an award. (その女の子は、賞を送られた。)

上記の形に当てはまるのは、③presented。

①given, ②offered, ④promisedの各動詞には、「動詞 A with B」のようなwithを伴う用法がないので、不適。

## 5-C

P94

問1

1. 「君の自転車どこ？」



「ガレージで修理中だよ。」

③

「自転車が修理されている」ので、受動態の選択肢を選ぶ。③はis being repairedという形で、「is/am/are being Vpp」という現在進行形の受動態の形になっている。

したがって正解は③。

2. わたしたちは医者と呼ばれることを提案した。

③

ポイント:

「提案・要求・命令を表す動詞」[that ~ (should) 動詞の原形 ].

例文: The police officer required that I (should) show him my passport.

その警察官は、私がパスポートを見せることを要求した。

that節内では、should Vか動詞の原形が使われる。

「提案・要求・命令を表す動詞」には、recommend(勧める)、suggest(提案する)、propose(提案する)、require(要求する)、demand(要求する)などがある。

今回は、suggestという「提案」を表す動詞が使われているので、that節内は動詞の原形が来るので、正解は③be。

3. 船がさらに遠くに帆走するにつれて、灯台は霧の中に見えなくなった。

④

lose sight of ~「～を見失う、～が見えなくなる」が使われている。

例文: We lost sight of the lighthouse. (私たちは灯台を見失った。)

上記の例文の受動態: The lighthouse was lost sight of (by us). (灯台は見えなくなった。)

「lose sight of」を受動態にすると、「be lost sight of」になるのがポイント。「lose sight of」全体で一つの動詞の働きをするので、受動態にした場合もsightやofを消さないように注意する。

したがって、上記のルールを守っているのは、選択肢④was lost sight of。

## 問2

1. 来月の今頃までに、私の新しい家は完成しているだろう。

④

④completedは「been completed」にする必要がある。

## 問3

1. 天候が許せば、明日の夕方野外コンサートが開かれる。

④ ③ ① ⑤ ⑥ ②

Weather permitting, (an open-air concert will be given) tomorrow evening.

## 第6章 疑問文

### 6-A

P96

問1

1. 夏休みをどう過ごしましたか？

①

①Howの意味は「どのように」なので、今回の文意に合うため、正解。

2. このズボンはいくらしますか？

④

値段を聞く言い方は、「How much ~?」。したがって答えは、③か④に絞られる。そして、costは「お金がかかる」という意味の一般動詞なので、「do these trousers cost?」のように、「do S V ~?」という形にする必要があるので、正解は④。

3. 「毎年どのくらいの頻度で外国に行くの？」

「2、3回だね。」

③

解答が「Two of three times」(2,3回)と回数を答えているので、頻度を尋ねていると考えられる。したがって、「How often」(どのくらいの頻度で)という表現を使うので、正解は③。

4. 大阪から京都までどのくらい離れていますか？

③

「from Osaka to Kyoto」(大阪から京都まで)という表現が使われているので、距離を尋ねていると考えられる。したがって、「How far」(どのくらい離れているか)という表現が当てはまるので、正解は③。

「How long」は、「どのくらいの時間・期間」を尋ねる言い方なので、ここでは不適。

5. ① ⑩ ⑨ ④ ⑥ ③ ⑧ ⑤ ⑦ ②

(How long does it take to go from this lake) to the lake?

「How long does it take to V?」という形で、「to Vするのに、どのくらいの時間がかかるか?」という意味。

6. トークショーはいつ始まるの？

②

「How soon」という形で、「どのくらいすぐに」という意味。

7. 大阪から金沢はどのくらい距離があるのかと思う。

③

「How long」は時間を尋ねる言い方、「How far」は距離を尋ねる言い方で、今回は、「大阪と金沢」の距離を聞いているので、「How far」を選ぶ。そして、「大阪と金沢の距離は、どのくらいですか？」という疑問文は、通常は「How far is it between Osaka and Kanazawa?」だが、今回はI wonderに続く形で、How far ~以下を書くので、間接疑問文という形を取る。

間接疑問文中では、倒置がなくなるので、How far is(V) it(S) ~がHow far it(S) is(V) ~となるため、正解は③how far it is。

ポイント:

間接疑問文では、倒置がなくなるので、VSの箇所はSVに並びが変わる。

8. ④ ② ③ ⑥ ① ⑤

Elizabeth would often think about (how different her life would have been if) she had been born 100 years ago.

how her life would be differentではないことに注意。

How tall is he?(彼はどのくらいの背の高さですか?)や How much is this?(これは、いくらですか?)のように、Howの直後に形容詞を書くことがポイント。

9. ① ④ ② ③ ⑥ ⑤ ⑦

(Do you know when Tom will leave) New York for Paris?

10. ⑦ ① ⑧ ⑥ ⑤ ③ ④ ②

(What do you think sake is made from?)

作り方:

1)まず、「酒は何から出来ていますか?」を書く。

What is sake made from?

2)次にdo you thinkを上記の文に加える。

What do you think is sake made from?

ここで、Do you think what is sake made from?としないことがポイント。

理由は、Do you think ~で始めると、その文はYes/No疑問文ということになり、「はい」か「いいえ」で答える必要がある。

しかし、「お酒は何からできていると思いますか?」と聞かれて、「はい」と答えるのはおかしいので、Yes/No疑問文にはしない。

解答としては、「米」や「麦」や「芋」と答えるのが自然なので、「What(何)」から疑問文を始める。

3)What do you think is sake made from?の中で、倒置している箇所を減らす。

上記の文では、What do you think is sake made from?

do youとis sakeの2か所に倒置がある。

疑問文中には、倒置は1か所である必要があるので、後のis sakeをsake isの語順に変える。

したがって正解は、

What do you think sake is made from?

11. 「昨日彼女に会いにそこに行かなかったの？」

「行ったよ。そこで彼女に会って、一緒にパーティーに行ったんだ。」

④

空欄の後に、「I met her there」とあるので、「彼女と会った」ことがわかる。したがって、正解は、「I did (= go there to see her yesterday)」という選択肢になる。

そして、YesかNoのどちらを選ぶかだが、英語は「Yes, I did.」か「No, I didn't.」のどちらかを選ぶ必要があるので、正解は、「Yes, I did.」となる。

英語には、「Yes, I didn't.」や「No, I did.」という形は存在しない。したがって、②や③のような選択肢を選ぶことはできない。

ポイント

否定疑問文に対する答え方：

「昨日彼女に会わなかったよね？」

「うん、会わなかったよ」

上記の日本語を英語にしてみよう。

すると、

“Didn’t you see her yesterday?”

“Yes, I didn’t.”

という英訳にならなかったらどうか？

しかし、この英文は誤っている。なぜなら、英語には、「Yes, I didn’t.」や「No, I did.」のような形は存在しないからだ。

解答は、Yes, I did. かNo, I didn’t. のどちらになる。

したがって、今回は、「会わなかった」が解答なので、正解は、「No, I didn’t.」となる。

ここでおそらく納得しづらい点は、「日本語が『うん』となっているが、英語は『No』となっているということ」ではないだろうか？

実は、日本語と英語では、否定疑問文で質問された時の、「Yes / No」が逆になる。

「彼女に会わなかった？」と聞かれた場合、日本語では、「会わなかった」という相手の発言を肯定して「うん」と答えるが、英語では「会わなかった？」と聞かれた場合、「会わなかった(didn’t see)」という行動をベースにしてYes / Noを判断するので、「No, I didn’t.」と答える。

これが、日本語と英語の否定疑問文に対する答え方の違いである。

【解答】

“Didn’t you see her yesterday?”（昨日彼女に会わなかったよね？）

“No, I didn’t.”（うん、会わなかったよ）



12. 君は新入生じゃないよね？

③

付加疑問文の答え方は、

You are ~, aren't you?

You are not ~, are you?

のように、前半が肯定文なら、後ろが否定の形。前半が否定文なら、後ろが肯定の形になる。

したがって正解は、③。

13. 彼が言ったことは理解するのが難しいよね？

①

What he said is difficult to understandに、付加疑問文を付け加えたとしたら、まず、主語を特定する必要がある。主語は、「What he said」(彼が言ったこと)なので、これを代名詞で置き換えるなら、「it」となる。そして、次に時制を決める。時制は、Vが「is」なので、現在形となる。したがって、正解は、isn't itなので、①。

14. ピクニックに行かない？

②

Let'sに対する付加疑問文はshall weなので、正解は②。

15. 君の庭に大きい犬がいるよね？

④

There is ~から始まる文に付く付加疑問文は、isn't thereなので、正解は④。

16. ⑥ ⑧ ③ ① ④ ⑤ ⑦ ②

It (is of no importance where you come from.)

of importanceは、importantと同義。

17. ⑦ ⑤ ② ④ ① ③

This book (shows us what education was like) in the nineteenth century.

「what S is like」(Sはどのような様子か)という形を使用する。

18. 海外に行く前は、外国で暮らすのがどんなものか全く見当がつかなかった。

④

「what S is like」(Sはどのような様子か)という形を使用する。時制を過去形にした④what it was likeが正解。

19. ⑤ ⑥ ④ ⑨ ⑧ ③ ① ⑦

(What do you think about the article that) we discussed in class?

②howは使えない。なぜなら、how do you think ~?と尋ねるなら、「how」は「どのように」という「手段・やり方」を問う疑問詞なので、「あなたは、どうやって～を考えますか？」という意味になる。そして、それに対する答えは、「頭を使って考える」(?)などの答えになってしまう。

ここでは、「あなたはどう思いますか？」つまり、「あなたは何を考えますか？」と尋ねたいので、手段・方法を尋ねるhowではなく、内容を尋ねるwhatを使う。

20. ⑩ ⑨ ③ ① ⑥ ⑧ ⑦ ⑤ ④ ②

I (wonder what has become of the scarf my mother bought) for me.

「become of ~」は、『[通例whatを主語として]～はどうか《心配・困惑を表す》』

例: What has become of him? (彼はどうなったのだろう)[=What has happened to him?]

上記の形を用いる。

21. ③ ④ ② ①

How (come you did not) join the party yesterday?

「How come S V ?」(どうしてSVなのか?)という形を使う。この文では、How comeの後ろが、「SV」の語順で、倒置が起こらないことがポイント。

22. 何のために今日ここに来たのですか？

①

「What ~ for?」(どうして~か?)という形を使う。

23. 「この言葉の意味が分からない。」

「辞書を調べてみたら？」

①

「Why don't you ~?」(~してみたら)という、相手に行動を勧めたり促す表現を用いる。

24. ③ ⑦ ⑤ ⑥ ② ① ⑧ ④

Why don't we go to see a movie?

「Why don't we ~?」(一緒に~しませんか?)という、相手を誘って行動を一緒にしようと勧める表現を用いる。

25. 別の会議の時間です。このことについてはまた明日話したらどうでしょう？

②

「What about Ving ?」(～するのはどうですか？)という、相手に行動を促す表現を用いる。

26. ③ ⑥ ① ④ ⑤ ②

(Who knows how the national elections) of that era would have turned out?

「Who knows ~?」(誰に～がわかるか？[いやわからない])という反語表現を用いる。

27. ③ ② ① ⑤ ④

(What is the use of) doing such a thing?

「What is the use of ~?」(～は役に立つのか？)という形を用いる。

## 第7章 否定

## 7-A

p104

問1

1. その店ではすべてのペットの持ち込みを禁止している。

(a) any (b) No

They do not allow ( any ) pets at the store.

= ( No ) pets are allowed at the store.

上の文中にある、「not ... any」という部分は、「No」一単語で表すことができる。

2. その家には食べ物が何もない。

any

no = not anyなので、空欄に入る語は、any。

3. 彼は、自分の上司と言い争うほど愚かではない。

knows

「be wise enough not to V」は、「to Vしないくらいに賢い」という意味。

「know better than to V」は、「to Vする以上に分別がある = to Vするほど愚かではない」という意味。

したがって、「be wise enough not to V」≡「know better than to V」なので、空欄はknowsが入る。

4. 彼はパンツしか履いていない。

nothing

「nothing but ~」は「~だけ」という意味で、onlyに近いので、空欄はnothingが入る。

## 問2

1. 夏には誰もが浜辺へ行きたがるわけではない。

④

「not everyone」は「みんなが~というわけでない」という意味。

2. 「このソファは、二色で提供しています。トマトっぽい赤とレモンイエローです。」

「うーん、どちらの色も気に入らないね。両方とも色が派手過ぎるな。」

④

They are two bright. とあり、「They」という複数形が使われているので、複数のもの（赤と黄色）が気に入らない、と考えていることがわかる。

したがって、「not ... either」（どちらも~ない、両方とも~ない）という形を使って、赤と黄色の両方を否定する必要がある。

よって答えは、④。

「not ~ all」は、「全部が~というわけではない」という部分否定。

「not ~ both」は、「両方が～というわけではない」という部分否定。

「not ~ neither」は、neither自体にnotの意味が込められているので、notの意味が重複してしまうため、この表現自体が誤り。

3. 「あなたのご両親は、あなたと一緒に旅行するんですか？」

「いいえ、2人とも来るわけではないです。母親だけです。」

③

Mother onlyとあるので、「両親のうち母親だけが旅行する」ということがわかる。

したがって、「not both」(両方というわけではない)という形を使って、「両親ともではなく、母親だけ」という意味を表す。よって正解は、③。

「not each」を使うと、「それぞれ～ない」、

「not either」を使うと、「どちらも～ない」、

「not one」を使うと、「一つではない」、

という意味になり、ここには当てはまらない。

4. この2つのケーキを食べてはいけない。これもあれも、どちらもだめだ。

③

両方だめ、とあるので、「not ~ either」を選んで、「どちらも～ない」という意味を表す。したがって正解は、③。

5. 彼の小説を両方読んだわけではないが、私が読んだものから判断すると、彼はとても前途有望な作家だと思う。

②



judging from the one I have read(私が読んだ1冊から判断すると)とあるので、「彼の小説のうち1冊は読んだ」ことがわかる。

したがって、「not ~ both」(両方というわけではない)という形になるように、②bothを選べば、意味が通じる。

「not ~ any」は「どれも～ない」(全否定)

「not ~ either」は「どちらも～ない」(全否定)

「not ~ none」は、notとnoneという否定語が重複しており、そもそも間違った表現。

6. 私たちは、必ずしも裸眼でその星を見ることができるわけではない。②

「not ~ necessarily」で、「必ずしも～ない」という意味になり、文意が通じる。したがって正解は、②。

①helpを使う場合は、cannot help Vingのように、helpの後ろにはVing形が来る必要があるので、ここでは使えない。

③hardly、④scarcelyはともに「準否定語」で、cannotと共に使うと、否定が重複してしまうので、不適。

7. どんな犬も飛べないことは明らかだ。

④

「no dog can fly」という形で、「どんな犬も飛べない」という意味になり、文意が通じる。したがって正解は、④。

notとanyは、先にnotを書き、その後ろにanyを書く、「not ~ any」という形で使うと決まっているので、①any dog can'tや③any of the dogs can'tという形は誤り。

また、②no dog can'tは、noとnotという否定語が重複しているので誤り。

8. 戦後アメリカの芸術の真の歴史は、まだ書かれていない。

④

「be yet to V」(まだ)これから～することになっている。まだ～していない。

例文: He is yet to know the truth. (彼は事実をまだ知らない。)

上記の形を使う④が正解。

9. 新しい総理大臣が何を行うかは、まだわからない。

③

「remain to be Vpp」(事が)これから～されなければならない、まだ～されないでいる。

例文: It remains to be seen if he can find the solution to the problem.

彼がその問題を解決できるかどうかは、これからのことだ。

上記の形が使われており、remains to be seenは、「これから見える」、つまり「これからわかる(今はまだわかっていない)」という意味。したがって、③has not yet become clear(まだはっきりしていない)という選択肢が近い。

10. 彼女の英語は正しいどころか間違いだらけだ。

②

anything but ~ [形容詞・名詞の前で] 少しも～でない、～どころでない

(この句のbutは、「～以外の」(except)の意味)

例文: He is anything but kind. (彼は全然優しくない。)

He is far from kind. より口語的。

上記の形が使われるので、正解は②。

11. この古い写真を見るといつでも、私は母のことを思い出す。

= 母のことを思い出さずに、この古い写真を見ることはできない。

①

「cannot V without Ving」(VingせずにVできない、Vしたら必ずVingする)という形が使われるので、正解は①。

12. なぜ彼がパーティーに来なかったかわからない。彼は、以前一度も来れなかったことはないのに。

①

「fail to V」(Vしそこなう)という形が使われる。したがって正解は、①。

stop to Vは、「to Vするために立ち止まる」という意味なので当てはまらない。

13. どんな状況下でも、そのドアは施錠せずにしておいてはならない。

①

「under no circumstances」(どんな状況下でも～ない)

例文: Under no circumstances should you tell a lie. (どんな状況下でも、うそをついてはならない。)

上記の形が使われる。そして、noという否定語が入っているので、その後ろに続く部分には、倒置が起こる。

したがって①must the doorが正解。

③must the door notには、「not」が入っていて、Under no circumstancesの中の「no」と否定語の重複が起きるため、不適。

14. 彼は勉強をしないだけでなく、よく授業をさぼる。

①

「skip classes」(授業をさぼる)

文頭にnot onlyという否定語が来ているので、それに続く部分には倒置が起こる。そのため、①did he not studyが正解。

④was he not studyはwasと一般動詞studyを一緒に使っているので誤り。

15. 「今日の午後、買い物に行ってくれない？」

「いやだ。それに、メアリーも行かないよ。」

②

neitherを書いた後は、neitherが否定語なので、その後ろは、倒置が起こる。

したがって、②neither will Maryは文法的に正しい。

また、意味的にもneither will Maryは、「メアリーも～ない」という意味になり、「私は買い物に行かない、メアリーも行かない」という文意が成立するので正解は②。

①neither Mary willは、倒置が起きていないので不適。

③nor Mary willも、norの後ろには倒置が起こる必要があるのに、倒置していないので不適。

④so will Maryは、形は正しいが、意味が「メアリーも～するだろう」、ここでは「メアリーも買い物に行く」という肯定の意味になるので不適。

### 問3

1. 彼が訪ねて来てくれるなんて夢にも思わなかった。

⑨ ⑧ ⑤ ③ ⑦ ① ⑥ ② ④

Never (did I dream he would come and see me).

neverという否定表現が来ているので、その後ろは倒置が起こる。

2. 彼がなぜ来なかったのか想像もつきません。

④ ⑥ ② ① ③ (⑤不要)

Why he did not come (was more than I could) imagine.

more than I could imagineは、直訳は「私の想像を超えている」という意味で、意識すると「想像もつかない」となる。

3. 私たちはその条件を受け入れるしかなかった。

② ④ ⑥ ⑤ ① ③

We had (no choice but to accept those terms).

have no choice but to Vで、「to Vする以外選択肢がない」つまり、「to Vするしかなかった」という意味になる。

## 7-B

1. 「これが私の新しい犬。名前はウィズダム。」

「面白いね。一体なんで犬にそんな名前を付けたの？」

③

on earthは「一体全体」という意味で、疑問詞の後に書いて用いる。したがって正解は、③。

そのほかには、in the worldも「一体全体」という意味で使われる。

①in the earth、②in world、④on the worldという表現は似ているが違う。

2. 「ビデオを動かすことできないの？きっと説明書を読まなかったんでしょ。」

「違うよ。読んだよ！ただ問題が何か理解できないんだ。」

①

do + 動詞の原形で、「実際に～する」

did + 動詞の原形で、「実際に～した」

上記のように、doやdidを動詞の原形の前に置いて使うと、強調の意味を表すことができる。

したがって正解は、①。

3. これは、僕がこれまでに読んだ本の中で、ダントツに最高の本だ。

④

veryは「the very ~est」という形で、最上級を強調する用法がある。

したがって正解は、④。

by far the ~estという、最上級を強調する表現はあるが、単に、①farだけで最上級を強調することはできない。

また、much the ~estという、最上級を強調する表現はあるが、muchの後ろにthe ~estが来る必要があるので、この問題では使えない。

4. タイタニック号が処女航海で沈んだのは、1912年のことだった。

②

It is/was ~ that ...は、「...したのは、～だ／だった」という意味の強調構文。

5. 「コーヒーとお茶どちらがいいですか？」

「どちらも結構です。ありがとうございます。」

①

neitherは、「どちらも～ない」という意味。これを選ぶと、「コーヒーとお茶、どちらも結構です」という意味になり、文意が通じるので、これを選ぶ。

「コーヒーとお茶どちらがいいですか？」と聞かれて、

②No, I don't. (いいえ)

③Why not. (もちろん)

④Yes, I do. (はい)

はどれも受け答えになっていないので、不適。

6. 私の姉は真面目な高校生ではなかった。そして、私もそうです(= 私も真面目ではないです)。

④

My sister was not ~. と空欄の前に否定文があり、それを引き継ぐ形を選ぶので、正解は

④neither was I (私も～ない)。

①either I was、③neither I wasは、ともに倒置が起きていないので不適。



7. 今夜は、どこも行かないようにしよう。テレビでいい映画がやるから。③

Let's中のletは使役動詞のため、「let O V原」という形を取る必要がある。

そして、Let'sはLet usの短縮形。

したがって、Let us V原という形になる選択肢を選ぶ。

それゆえ、③not goを選ぶなら、Let us not goという形になり、goという動詞の原形が来ているので、正解。

②don't go to、④not to goを選ぶと、動詞の原形が来ていないので不適。

①のnot go toは、toが不要。なぜなら、anywhereは、「to any place」という意味で、anywhere自体にtoの意味が含まれているから。

8. 「今日の午後、買い物に行ってくれない？」

「いやだ。あと、メアリーも行かないよ。」

②

neitherを書いた後は、neitherが否定語なので、その後ろは、倒置が起こる。

したがって、②neither will Maryは文法的に正しい。

また、意味的にもneither will Maryは、「メアリーも～ない」という意味になり、「私は買い物に行かない、メアリーも行かない」という文意が成立するので正解は②。

①neither Mary willは、倒置が起きていないので不適。

③nor Mary willも、norの後ろには倒置が起こる必要があるのに、倒置していないので不適。

④so will Maryは、形は正しいが、意味が「メアリーも～するだろう」、ここでは「メアリーも買い物に行く」という肯定の意味になるので不適。

9. 「君は、虫怖くないよね？」

「全然怖くないよ。ハエも蚊も怖くないし、特にアリなんて全然怖くない。」

④

④「least of all」(特に～でない)を選ぶなら文意が通じるので、正解。

①「at best」(良くて、せいぜい)

例文: He will get an average mark at best. (彼はせいぜい平均点しか取れないだろう。)

②「at least」(少なくとも)

③「best of all」(とりわけ都合の良いことに)

10. あー、雨が降り出した。私たち家にいた方がよくない？

③

「had better」(～した方がいい)の否定疑問文。「Hadn't S better V原 ~?」

11. 「ダイキの妹たちは双子だと聞いたよ。これまでに会ったことある？」

「いや。どちらにも会ったことないね。」

②

「not ~ either」(どちらも～ない)という形なら文意が通じるので、正解は②。

④neitherを選ぶと、「not ~ neither」という形になり、notとneitherで否定が重複してしまい文法的に正しくない。

12. 多くのイギリス人は、スペイン語もフランス語も話さない。ましてや、日本語は話さない。

④

Aはneitherを選ぶ。そうすることによって、neither Spanish nor Frenchとなり、「neither A nor B」(AもBも～ない)という形が成立するから。

Bは、let aloneを選ぶ。let aloneの意味は以下の通り。

let alone ~ : [通例否定文の後で]ましてや(～ない)、～は言うまでもなく(～ない)

例文 : She can't walk, let alone run. (彼女は歩くことができない。ましてや走ることはできない。)

let aloneは、上記の例文のように、「歩く」と「走る」のような二つの程度の異なるものを前後に並べる。let aloneの手前が「歩く」のように程度の軽いものになり、let aloneの後ろが「走る」のように程度の重いものになる。

今回は、イギリス人にとって、言語の難易度的に程度が軽い「スペイン語やフランス語」を書いたから、let aloneの後ろに程度の重い「日本語」を書くことで、let aloneの正しい使い方になっている。

## 第8章 動名詞

### 8-A

1. 毎日歩くことで、人は健康的になり体も強くなる。

②

空欄部分は主語が来る場所で、動名詞は主語になれるので、②Walkingを入れる。

2. 佐藤さんは馬に乗ることを怖がっている。

②

前置詞の後ろには、名詞か動名詞が来る。

したがって、文中のofの後ろには、②ridingが来る。

3. 彼はそこに1人で行かないと強く言い張った。

④

動名詞の否定形は、not Vingという形を取るため、正解は④goingを選び、not goingという形を作る。

4. 彼らは誰にも目撃されることなくその家を去っていった。

③

「目撃される」という受け身の意味の動名詞は、『being Vpp』という形を取る。したがって正解は、③being seen。

5. あなたの息子は無事に戻ってくると私は確信している。

②

前置詞ofの後ろには、名詞か動名詞が来る。

そして、「あなたの息子が戻ってくる」という、「誰が」何をするか明示する場合は、名詞を動名詞の前に置き、次の形を作る。

『名詞 Ving』(名詞がVingすること)

したがって正解は②your son coming (back safely)になり、意味は「あなたの息子が無事に戻って来る」となる。

6. 彼女に以前会ったことを思い出せないが、彼女は私のことを知っているようだ。

③

主節の動詞より以前のことを表現するためには、『having Vpp』という形を使う。

したがって、「思い出せない」という現在より以前に、「彼女に会った」ことになるので、その部分を、「having met」と表現する。正解は、③。

7. 電車でその老婆に親切にできなかったことを恥じている。

①

動名詞の否定形:『not Ving』(～しないこと)

動名詞の完了形:『having Vpp』

の両方が合わさって使用された、「(I am shamed) of not having been (kind) ...」

(親切にできなかったことを恥じている)が文法的にも意味的にも当てはまる。したがって正解は、①。

8. 冬の間、多くの人が様々なウィンタースポーツを楽しむ。

④

enjoyという動詞は、後ろに不定詞を取ることはできず、動名詞を取るので、正解は④。

9. その小説読み終わった？

②

finishという動詞は、後ろに不定詞を取ることはできず、動名詞を取るので、正解は②。

10. ラッシュアワーにこのルートを使うのは避けなさい。

④

avoidという動詞は、後ろに不定詞を取ることはできず、動名詞を取るので、正解は④。

11. 働き過ぎないようにと医者が彼に忠告をした。

②

stopは後ろに不定詞が来るか、動名詞が来るかで意味が変わり、意味が通じるものを選択する。

『stop to V』(to Vするために立ち止まる)

『stop Ving』(Vingすることをやめる)

「働きすぎることをやめる」という内容になると通じるので、正解は②。

12. その窓を開けてもらえませんか？

②

mindという動詞は、後ろに不定詞を取ることはできず、動名詞を取るので、正解は②。

ちなみに、mind Vingは『～することをいやがる』という意味。

Would you mind Ving?は、直訳は『～することをいやがりますか？』で、遠回しに『～してくれませんか？』という依頼をする言い方。

13. 「まだ今回の冬休みにハワイに行く予定ですか？」

「ええ、そして私と一緒に来てくれないかな。」

②

considerという動詞は、後ろに不定詞を取ることはできず、動名詞を取るので、正解は②。

14. 彼はその山に登頂することを諦めた。

③

give upという表現は、後ろに不定詞を取ることはできず、動名詞を取るので、正解は③。

15. 彼はこれまでスージィに会った事はないと言っている。

①

denyという動詞は、後ろに不定詞を取ることはできず、動名詞を取るので、正解は①。

ちなみに、③being metは、meeting(会う)の受け身形で、意味が「会われる(?)」となって通じないので不適。

16. 彼は金庫からお金を盗んだと認めた。

③

admitという動詞は、後ろに不定詞を取ることはできず、動名詞を取るので、正解は③。

17. 明日の朝、ゴミを外に出すのを忘れないで。

④

forgetは後ろに不定詞が来るか、動名詞が来るかで意味が変わり、意味が通じるものを選択する。

『forget to V』(これからto Vすることを忘れる)

『forget Ving』(〈過去に〉Vingしたことを忘れる)

ゴミを出すのは、「これからすること」なので、正解はforget to Vの形になる④。

18. 昨年パリに滞在したことを私は決して忘れないでしょう。これまで経験した中で最高の休暇でした。

⑤

forgetは後ろに不定詞が来るか、動名詞が来るかで意味が変わり、意味が通じるものを選択する。

『forget to V』(これからto Vすることを忘れる)

『forget Ving』(〈過去に〉Vingしたことを忘れる)

パリに滞在したのは、「過去にしたこと」なので、正解はforget Vingの形になる⑤。

19. 彼に辞書を貸したことを後悔している。その辞書がないと私は自分の課題ができない。

③

regretは後ろに不定詞が来るか、動名詞が来るかで意味が変わり、意味が通じるものを選択する。



『regret to V』(残念ながらこれからto Vしないといけない)

『regret Ving』(〈過去に〉Vingしたことを後悔している)

彼に辞書を貸したのは、「過去にしたこと」なので、正解はregret Vingの形になる③。

20. 残念だが、私はあなたのチームに参加できない。

②

regretは後ろに不定詞が来るか、動名詞が来るかで意味が変わり、意味が通じるものを選択する。

『regret to V』(残念ながらこれからto Vしないといけない)

『regret Ving』(〈過去に〉Vingしたことを後悔している)

「あなたのチームに参加できないと言う」のは、「これからすること」なので、正解はregret to Vの形になる②。

21. 出発する前にドアを閉めるのを忘れないで。

②

rememberは後ろに不定詞が来るか、動名詞が来るかで意味が変わり、意味が通じるものを選択する。

『remember to V』(これからto Vすることを覚えている)

『remember Ving』(〈過去に〉Vingしたことを覚えている)

「出発する前にドアを閉める」のは、「これからすること」なので、正解はremember to Vの形になる②。

22. 若いころにニューヨークにいたことを思い出す。

②

rememberは後ろに不定詞が来るか、動名詞が来るかで意味が変わり、意味が通じるものを選択する。

『remember to V』(これからto Vすることを覚えている)

『remember Ving』(〈過去に〉Vingしたことを覚えている)

「若い頃ニューヨークを訪れたこと」は、「過去にしたこと」なので、正解はremember Vingの形になる②。

23. 私達は何度かドアをノックしてみたが、答えは返ってこなかった。

②

tryは後ろに不定詞が来るか、動名詞が来るかで意味が変わり、意味が通じるものを選択する。

『try to V』(これからto Vしようとする)

『try Ving』(Vingしてみた)

「ドアを数回ノックしてみたが、答えがなかった」という状況なので、「～してみた」という意味を表すtry Vingという形が適切。したがって正解は②。

## 8-B

1. 私のパソコンが昨晚壊れた。だから修理する必要がある。

③

need Vingという形で、「～する必要がある」という意味があり、これが当てはまる。したがって正解は③。

2. お父さん、もし学期末までに成績が上がったら、お小遣い増やしてもらえる？

①

mindという動詞は、後ろに不定詞を取ることはできず、動名詞を取る。

そして、mind Vingは『～することをいやがる』という意味。

Would you mind Ving?は、直訳は『～することをいやがりますか？』で、遠回しに『～してくれませんか？』という依頼をする言い方。

そして、riseは自動詞で、「上がる」という意味。raiseは他動詞で、「～を上げる」という意味。

今回は、お小遣いを「上げる」話をしているので、raiseを選ぶ。

したがって正解は、①。

3. 「アルバート・アインシュタイン、あの有名な物理学者が肉を食べるのを止めてた事知ってた？」

「ええ、私の記憶が確かなら、彼は死ぬ一年前に厳格なベジタリアンになったんだ。」

④

アインシュタインが過去にした行動を述べているので、過去形の④stopped eatingが正解。

4. 「ご近所さんに電話して、私達のアパートのドアをチェックする様頼んだ方がいい。」

「その必要はないよ、出発するとき鍵をかけたのを覚えてる。」

②

rememberは後ろに不定詞が来るか、動名詞が来るかで意味が変わり、意味が通じるものを選択する。

『remember to V』(これからto Vすることを覚えている)

『remember Ving』(〈過去に〉Vingしたことを覚えている)

「鍵をかけたこと」は、「過去にしたこと」なので、正解はremember Vingの形になる②。

5. 「新雪の中を散歩に行くんだ。一緒に来る？」

「誘ってくれてありがとう、けどやめておく。寒いのが我慢できないんだ。」

④

stand Vingで、「Vingを我慢する」という意味。したがって正解は、④。

ちなみに、このstandを「我慢する」という意味で用いるときは、通常否定文で使用する。

6. 仕事着を洗濯する必要があるんだけど、今洗濯する時間がない。

②

need Vingという形で、「～する必要がある」という意味があり、これが当てはまる。したがって正解は②。

7. 電話してる間、荷物を見ててもらえますか？

④

mindという動詞は、後ろに不定詞を取ることはできず、動名詞を取る。

そして、mind Vingは『～することをいやがる』という意味。

Would you mind Ving?は、直訳は『～することをいやがりますか?』で、遠回しに『～してくれませんか?』という依頼をする言い方。

したがって正解は、④。

8. 「東京への旅行楽しかった、そうだよね？」

「ええ、素晴らしかった。いつかまた行けるのを本当に楽しみにしているよ。」

④

look forward to 名詞／動名詞 「～を楽しみにしている」という表現があり、toの後ろは動名詞が来れるので、正解は④to going。

9. 「今日何しようか？」

「ドライブに出かけたい気分だな。」

①

feel like 名詞／動名詞 「～したい気分だ」という表現があり、feel likeの後ろは動名詞が来れるので、正解は①going。

10. 「昨晚何してたの？」

「ああ、特に何も。ほとんどの時間をテレビを見て過ごしたよ。」

④

spend 時間 Ving 「時間をVingして過ごす」という表現があるため、正解は①seeingか④watchingに絞られる。

そして、テレビを見るは、watch TVと言うので、正解は④。

see TVとは言わない。

11. 「私達どこかで以前会った事ない？」

「ええ、先週パーティであなたに会っています。」

①

rememberは後ろに不定詞が来るか、動名詞が来るかで意味が変わり、意味が通じるものを選択する。

『remember to V』(これからto Vすることを覚えている)

『remember Ving』(〈過去に〉Vingしたことを覚えている)

「先週パーティーであなたに会ったこと」は、「過去にしたこと」なので、正解はremember Vingの形になる①。

12. 「この公園どう思う？」

「素晴らしいよ！この騒がしい街の中にこんな静かな場所があるなんて夢にも思わなかったよ。」

③

空欄の直前には前置詞ofがあるので、その後ろは名詞か動名詞が来る。

そして、③there beingを入れるなら、there being such a quiet place in this noisy cityという形になり、これは、there is/was such a quiet place in this noisy city(この騒がしい街にあんな静かな場所がある/あった)というthere is構文を動名詞で表現した形になる。

この形は文法的にも意味的にも正しいので、正解は③。

①being、②having beenはともに動名詞だが、「is such a quiet place(?)」や「have been such a quiet place(?)」という形は、意味が不明なので、不適。

13. この様な扱いを受けることに対して強く抗議する。

②

objection to 名詞／動名詞 「～に対する反対」という表現があり、toの後ろに動名詞が来ることができる。したがって正解は、②to being。

14. 「まだ今回の冬休みにハワイに行く予定ですか？」

「ええ、そして私と一緒に来てくれないかな。」

②

considerという動詞は、後ろに不定詞を取ることはできず、動名詞を取るので、正解は②going。

## 8-C

問1

1. 多くの聴衆の前で話すことに慣れていない。

③

be used to 名詞／動名詞 『～に慣れている』

この形が使われている。そして、その否定形は、I am not used to ~なので、正解は③am not used to。

2. 一年おきにロンドンに滞在することを楽しみにしている。

②

look forward to 名詞／動名詞 『～を楽しみにしている』

この形が使われている。toの後ろは、動名詞が来れるので正解は、②to visiting。

3. たった1人でパーティに参加するのを友人たちが反対している。

①

object to 名詞／動名詞 『～に反対する』

この形が使われている。したがって正解は、①to my joining。

joiningの前に代名詞の所有格myを使うことによって、「『私が』参加すること」という意味を表している。

4. 科学者たちはその病が拡大するのを防ごうとした。

③

prevent O from Ving 『OがVingするのを防ぐ』

この形が使われている。したがって正解は、③from spreading。



5. あの医師や看護師たちは、その患者の治療に忙しかった。

③

be busy (in) Ving『Vingするのに忙しい』

この形が使われている。したがって正解は、③treating。

6. 観光客によると、その博物館は訪れる価値があるそうだ。

①

be worth Ving『Vingする価値がある』

この形が使われている。したがって正解は、①visiting。

7. このあなたの靴は修理する必要がある。

①

want Ving『Vingする必要がある』

この形が使われている。したがって正解は、①mending。

8. アパートを所有するという発想は、この国では比較的新しいものだ。

③

『名詞 動名詞Ving』という形で、『名詞』が動名詞の意味上の主語になり、『名詞がVingすること』という意味になる。

今回は、③owningを空欄に入れると、The concept of people owning apartmentsという形になり、**people** owning apartmentsの部分が、「人々がアパートを所有すること」という意味になり、文意が通じる。したがって正解は③owning。

9. 自身の意見をはっきり言えず彼は恥ずかしく思った。

②

not Ving 『Vingしないこと』(動名詞の否定形)

この形が使われている。したがって正解は、②not being able to。

④being incapable toのincapableは「incapable of 名詞／動名詞」という形を取り、後ろにtoを取らないので不適。

10. ここで写真を取ることは許可されていないので、カメラを持っていくのは無駄だ。

③

there is no point in Ving 『Vingするのは無駄だ』

この形が使われている。したがって正解は、③there's no point in taking。

11. 「この公園どう思う？」

「素晴らしいよ！この騒がしい街の中にこんな静かな場所があるなんて夢にも思わなかったよ。」

③

空欄の直前には前置詞ofがあるので、その後ろは名詞か動名詞が来る。

そして、③there beingを入れるなら、there being such a quiet place in this noisy cityという形になり、これは、there is/was such a quiet place in this noisy city(この騒がしい街にあんな静かな場所がある/あった)というthere is構文を動名詞で表現した形になる。

この形は文法的にも意味的にも正しいので、正解は③。

①being、②having beenはともに動名詞だが、「is such a quiet place(?)」や「have been such a quiet place(?)」という形は、意味が不明なので、不適。

12. 学校にこれまで遅刻したことがないことに對し彼女は誇りに感じていた。

④

be proud of 名詞／動名詞 『～を誇りに思う』という形が使われている。

そして、動名詞の否定形 『not/never Ving』という形も使われている。

また、『having Vpp』という動名詞の完了形も使われている。

したがって正解は、④of never having been。

13. 何か違う事に挑戦しようと考えたことある？

③

considerという動詞は、後ろに不定詞を取ることはできず、動名詞を取るので、正解は③trying。

④having triedという動名詞の完了形『having Vpp』は、ここでは使っても文意が通らないので不適。

14. 発酵食品を食べる事に慣れていない人が中にはいる。

③

be accustomed to 名詞／動名詞 『～に慣れている』

この形が使われている。したがって正解は、③are not accustomed to eating。

15. できるだけ速くあなたからの返事が聞けると嬉しいです。

④

appreciateという動詞は、後ろに不定詞を取ることはできず、動名詞を取るので、正解は④hearing。

as soon as possible(できるだけ早く)というのは、未来を表す表現なので、動名詞の完了形 having Vppが使われている、③having heardは不適。

16. 回答するのが嫌だった訳ではない。ただ、自分でも本当に何故か分からなかっただけだ。

④

選択肢の中で、後ろに動名詞を取ることが出来るのは、④mindedのみ。

①thoughtのthink

②wantedのwant

③hopedのhope

はどれも、後ろには動名詞を書くことはできない。

したがって正解は、④minded。

mind Vingで、『Vingすることを嫌がる』という意味。

## 問2

1. 父は私がパーティに送れたことを恥じていた。

(my) (being)

### 【動名詞の意味上の主語】

代名詞の所有格／目的格 動名詞Ving 『～がVingすること』

この形が使われている。

ここで、myを入れることは必須。なぜなら、もしmyを入れないなら、My father was ashamed of being late for the party.となり、この文の意味は、「父が、自分がパーティーに遅れたことを恥ずかしく思う。」という意味になり、『私が』遅れた、という意味にならないから。

2. 息子が一等賞を取って私は誇りに思っている

(my) (son) (having)

### 【動名詞の意味上の主語】

代名詞の所有格／目的格 動名詞Ving 『～がVingすること』

この形が使われている。

そして、私が誇りに思っているのは、過去に息子が一等賞を取ったことなので、過去の行動を動名詞の完了形**having Vpp**で表現する必要があるので、「my son having Vpp」という形を取る。

3. 彼の家は簡単に見つけることができた。

(in) (finding)

have no difficulty (in) Ving 『Vingするのに苦労しない』

この形が使われている。

4. 今何か食べたい気持ちだ。

(like) (eating)

feel like Ving 『Vingしたい気分だ』

この形が使われている。

5. いつボブが戻ってくるか分からない。

(no) (telling)

There is no Ving 『Vingすることができない』

この形が使われている。

6. 言うまでもなく、健康は富より大事だ。

(goes) (without) (saying)

It goes without saying that S' V' ~ 『S' V'ということは言うまでもない』

この形が使われている。

7. 今日外で食べない？

(What) (say) (to) (eating)

What do you say to Ving 『Vingするのはどうですか？』

この形が使われている。

8. 駅に着くとすぐに、彼は誰かに電話した。

(Upon/On) (arriving)

On/Upon Ving 『Vingするとすぐに』

この形が使われている。

9. そのビルに入ったとき、友達の1人に偶然出くわした。

(in) (entering)

in Ving 『Vingする／した時に』

この形が使われている。

10. あなたのアメリカ人の友達が高価な贈り物を受け取るようにとあなたが強く言い張るなら、その友達はとても不快な気持ちになるだろう。

(on) (accepting)

insist on Ving 『Vingすることを強く主張する、言い張る』

【動名詞の意味上の主語】

代名詞の所有格／目的格 動名詞Ving 『～がVingすること』

insist on your American friend accepting an expensive giftで、「あなたのアメリカ人の友人が高価な贈り物を受け取るよう、強く主張する」、つまり、「高価な贈り物を受け取るよう言って譲らない」という意味になる。

insistの後ろにはonが必要で、動名詞の意味上の主語your American friendの後ろには動名詞が必要なので、空欄は、(on) (accepting)となる。

## 第9章 不定詞

### 9-A

1. 健康を保つために毎朝ジョギングしている。

①



正解は①。不定詞の目的を表す用法で、『to stay fit』で、『健康を保つために』という意味。

2. フランス語を学ぶために、彼女はフランスに行った。

③

in order to V 『Vするために』(目的)

この形が使われている。『in order to V』は、単に「to study French」と書くよりも、『目的』を述べていることをよりはっきりさせることができる。

3. 彼がお酒を飲んでいるのが分かり、私達は失望した。

④

感情を表す形容詞 + to V 『to Vして～という感情になる』(感情の原因)

この形が使われている。したがって正解は、④to find。

4. 私の祖父は100歳まで生きた。

④

live to be 年齢 『～才まで生きる』

この形が使われている。したがって正解は、④to be。

5. ある若い紳士はとても親切で、私に道を教えてくれた。

②

so 形容詞/副詞 as to V 『to Vするほど形容詞/副詞だ。とても形容詞/副詞で、to Vする』

この形が使われている。したがって正解は、②so。

6. その荷物は重すぎて、彼女には運べない。

③

too 形容詞/副詞 to V 『形容詞/副詞すぎてto Vできない』

この形が使われている。したがって正解は、③か④になる。

次に③to carryか④to carry itのどちらを選ぶか考える。

まず、この問題は、The baggage was heavy to carry. (その荷物は、運ぶには重い)という文がベースになっていることに注目する。

この文では、不定詞内のcarryは他動詞だが、目的語に相当する語句を直後に書くことはしない。なぜなら、主語The baggageが意味上の目的語として主語のところですでに書かれているから。

The baggage was heavy to carry. (the baggageは、carryの意味上の目的語)

The baggage was heavy to carry the baggage.と書くとthe baggageが重複してくどくなってしまう。

似たような文として、

This book is difficult to understand. (この本は、理解するのが難しい)

His car is easy to drive. (彼の車は運転するのが簡単だ)

This house is comfortable to live in. (この家は住むのに快適だ)

などが挙げられる。

これらの文においても、不定詞内のunderstand, drive, live inの後に目的語に相当する語句を書くことはしない。

This book is difficult to understand this book. (×)

His car is easy to drive his car. (×)

This house is comfortable to live in this house. (×)

したがって、今回の問題でも、The baggage was too heavy to carry. が正解になるため、③to carryを選ぶ。

7. この問題は解決するのが難しい。

①

正解は①to solve。③to solve itではない理由は、上記6の解説を参照。

8. 書き記す紙がなかったので、手にメモを取るしかなかった。

②

不定詞の形容詞的用法が使われている。

そして、不定詞の形容詞的用法においては、不定詞内の動詞と、修飾される名詞の間に、『他動詞／自動詞＋前置詞 ＋目的語』の関係がある。

例：

the book to read →read the book

the water to drink →drink the water

the house to live in →live in the house (the house to liveは誤り。なぜなら、live the houseとは言わないから)

the pen to write with →write with the pen (the pen to writeは誤り。なぜなら、write the penとは言わないから)

したがって、今回の問題も、paper to writeではなく、paper to write onとする必要がある。なぜなら、write paperとは言わず、write on paper(紙に書く)と言うから。

よって正解は、②to write on。

9. この辞書のおかげで、私は英語が学びやすくなっている。

③

make it easy for me to learn Englishという形になるように、空欄には③to learnを入れる。

【to learnが入る理由】

この文では、make it 形容詞 to V (to Vを形容詞にする)という形が使われている。第5文型の『make O C』(OをCにする)という形のなかで、Oに仮目的語itを入れ、真目的語としてto Vを使う形である。

make O C (OをCにする)

↓

make it 形容詞 to V (to Vを形容詞にする)

仮O C 真O

例：

make it fun to study math (数学を学ぶことを楽しくする)

仮O C 真O

今回は、

make it easy to learn English

仮O C 真O

という形で、「英語を学ぶことを簡単にする」という文になっている。

そして、さらにto learn Englishの前にfor meが入り、これが不定詞の意味上の主語の働きをし、「『私が』英語を学ぶことを簡単にする」という意味になっている。

make it easy [for me] to learn English

仮O C      真O

[for me]は不定詞の意味上の主語。

したがって正解は、③to learn。

10. ここにいることにした。疲れている。

⑥

decide to V 『to Vすることに決める』

decideは後ろにto Vを取り、動名詞Vingは取らない。

したがって正解は、⑥to stay。

11. 一週間以内にその仕事が終わっている事を上司は期待しているでしょう。

②

expect to V 『to Vすることを期待する』

expectは後ろにto Vを取り、動名詞Vingは取らない。

したがって正解は、②to find。

12. 遠慮なく質問して下さい。助けになれて嬉しいです。

②

hesitate to V 『to Vすることをためらう』

この形が使われている。したがって正解は、②to ask。

13. そんな高価な車を買う余裕がない。

②

can't afford to V 『to Vする余裕がない』

この形が使われている。したがって正解は、②to buy。

14. 道で私にすれ違う時に、ゴードンさんは私に気付かないふりをした。

①

pretend to V 『to Vするふりをする』

この形が使われている。

そして、「気付かないふりをした」という意味にするため、その否定形を作る。

不定詞の否定形は『not to V』という形を使うので、to Vの前にnotを書いて、pretend not to V(～しないふりをする)とする。

したがって正解は、①not to seeを選び、pretended not to seeという形を作る。

15. 電車に乗り遅れないように、私達は急がないといけない。

①

so as to V『to Vするために』(in order to Vと同義)

この形を使う。

そして、この形の否定形はto Vの前にnotを置いた、so as not to Vという形。

したがって正解は、①so as not to miss。

16. 植物がよく育つように、適切に日光と水とミネラルを与えないといけない。

①

不定詞の意味上の主語の表現方法→「for 名詞 to V」『名詞がto Vする』

to Vの前にfor 名詞を書くことにより、to Vの行動を誰／何ができるのか表すことができる。

この形が使われる。したがって正解は、①For。

17. パリでは、女性が働くのは普通だ。

④

It is 形容詞 for 名詞 to V『名詞がto Vすることは形容詞だ』

Itが仮主語で、to Vの部分が真主語。そして、for 名詞の部分が、不定詞の意味上の主語となっている。

この形が使われている。したがって正解は、④for women to。

18. 家族が満足できる生活を送れる様に、私は一生懸命働いた。

②

in order to V『Vするために』

この形に、「不定詞の意味上の主語『for 名詞』」を加えて、in order for 名詞 to Vとする。

したがって正解は、②for。

19. 私を駅まで送ってくれるなんて、あなたはとても親切だ。

①

It is 人の性質を表す形容詞 of 名詞 to V『to Vするなんて、名詞は形容詞だ』

例文: It is kind of you to help me. 『私を助けてくれるなんて、あなたは親切だ』

よく見る形は、『It is 形容詞 for 名詞 to V』でforを使用するものだが、It isの後ろに、『人の性質を表す形容詞』(kind, foolish, wise, braveなど)が来る場合は、forではなく、ofを使用する。

したがって正解は、①of。

20. 彼は病気だったようだ。

②

It seems that he was sick. という文を言い換える問題。この英文はthat節中にwasが使われているので、「彼は病気だったようだ」という意味になる。つまり、病気だったのは、過去のこととなる。

これをHe seems to ( ) sick. の形で表現する場合、( )内をbeとすることでは表現できない。なぜなら、He seems to be sick. とすると、「彼は現在病気のように見える」という意味になり、過去のことを表現できない。



そのため、不定詞の内容が過去であることを表現するためには、その部分をto have Vppとする必要がある。（\*to wasのようにすることはできないため）

【ポイント】

主節の動詞より古い時点を表す不定詞（不定詞の完了形） to have Vpp

したがって、正解は、②have been

21. 若いころ、その老人は偉大なアスリートであったと言われている。

①

when he was youngとあるので、その老人が偉大なアスリートだったのは、過去のことだとわかる。過去のことを表すには、to have Vppという形を使うので、正解は①to have been。

22. 新入生の歓迎会は次の土曜に開催される。

①

be to V『①Vすることになっている、②Vする予定だ、③Vしなければならない、④～するつもりである、～したい』

この形が使われている。

this coming Saturday（次の土曜日）に行われる予定の話がされているので、上記のbe to Vが「②Vする予定だ」の意味で使われていることがわかる。

したがって正解は、①is to take。

②will be taken

③is to be taken

④is taken

はどれも、受動態の形になっているので、誤り。なぜなら、take placeは「(出来事が)起こる、発生する」という意味で、受け身で用いることはしないから。

23. もし夢を実現したいならば、あなたはもっと勉強しなければならない。

③

be to V『①Vすることになっている、②Vする予定だ、③Vしなければならない、④～するつもりである、～したい』

「もし夢を実現したいならば」ということを表現する必要があるので、上記のbe to Vという形を用いることができる。be to Vには、上記④～するつもりである、～したい、という意味があるため。

したがって正解は、③are to realize。

24. 最近農家の人達は、バイオエタノールのためにコーンを栽培するようになった

③

come to V『to Vするようになる』

この形が使われている。

したがって正解は、③come。

haveの後ろは過去分詞なので、comeの過去分詞形comeを使う。

become to Vという形は存在しない。

25. その新しいメンバーはそのゲームのルールを徐々に学んでいった。

②

get to V『to Vするようになる』

この形が使われている。

したがって正解は、②got。

26. 日本のメディアは自分たちをオピニオンリーダーと見なす傾向がある。

②

tend to V『to Vする傾向がある』

この形が使われている。

したがって正解は、②tend。

27. 「ごめんなさい、あなたを傷つけるつもりはなかったのです。」

「心配しないで、故意ではないと分かっています。」

③

mean to V『to Vするつもりである』

この形が使われている。

したがって正解は、③mean。

28. あなたはキッチンのお皿を洗ってくれるだけでいいです。

③

All you have to do is (to) V ~. 『あなたがすべきすべてのことは、～です、あなたは～するだけでいい』

この形が使われている。to Vのtoはよく省略される。

したがって正解は、③wash。

29. 本当のことを言うと、まだ宿題が終わっていません。

②

to tell the truth『本当のことを言うと』

この形が使われている。

したがって正解は、②tell。

30. 山道を運転していると、タイヤがパンクしてしまった。さらに悪いことに雨も降り出した。

③

to make matters worse『さらに悪いことに』

この形が使われている。

したがって正解は、③To make matters worse。

31. 言うまでもなく、私達は家庭ゴミをリサイクルする事について考えるべきだ。

②

needless to say『言うまでもなく』

この形が使われている。

したがって正解は、②Needless。

32. この写真は、控えめに言っても、私がこれまで見てきた中で最も印象的なものの1つだ。

④

to say the least『控えめに言っても』

この形が使われている。

したがって正解は、④least。

## 9-C

問1

1. 森の中でカイルはどこに行けばいいか分からなかった。

④

where to V『どこに／でVすべきか』

where to goで『どこに行くべきか』という意味になる。したがって正解は、④。

2. 彼は私に何が起きたか誰にも言わない様にと伝えた。

④

次の二つの形が使われている。

1 ask O to V『Oにto Vするよう頼む』

2 not to V 不定詞の否定形

ask O not to V で「Oに～しないように頼む」という意味になる。したがって正解は、④me not to tell。

3. 私に会いに来てくれるなんて、あなたはいい人だ。

②

It is 人の性質を表す形容詞 of 名詞 to V『to Vするなんて、名詞は形容詞だ』

例文 : It is kind of you to help me. 『私を助けてくれるなんて、あなたは親切だ』

よく見る形は、『It is 形容詞 for 名詞 to V』でforを使用するものだが、It isの後ろに、『人の性質を表す形容詞』(nice, kind, foolish, wise, braveなど)が来る場合は、forではなく、ofを使用する。

したがって正解は、②of。

4. 昔ギャンブルで財産を失ったと彼は言われている。

④

文末にin the pastとあるので、彼がギャンブルで財産を失ったのは、過去のことだとわかる。

不定詞で過去のことを表現するには、to have Vpp(不定詞の完了形)を使う。

したがって正解は、④to have lost。

5. 飲み過ぎないように、あなたは注意しないといけない。

③

不定詞の否定形 not to V

飲み過ぎない、ということを不定詞で表現するには、上記の不定詞の否定形「not to V」を用いる。

したがって正解は、③not to drink。

6. 彼の部屋に入ったが、結局彼は外出していた。

③

only to V『結局to Vだった』

この形が使われている。

したがって正解は、③only to。

7. 2人の取引相手は、論争中の解決されるべき問題を議論するだろう。

②

不定詞の受動態 to be Vpp

この形が使われている。

disputed issues to be settledで、to be settledという部分が、直前の名詞issuesを後置修飾している形になっている。意味は、「解決されるべき論争中の問題」という意味になる。

したがって正解は、②to be settled。

8. あのイスは座り心地が良い。

③

That chair is comfortable to sit on.

この英文は、It is comfortable to sit on the chair. (その椅子に座るのは快適だ) の言い換えである。

文末のthe chairが文頭に移り、Itは消える。

The chair is comfortable to sit on (the chair).

そのため、文末はsit onのonで終わることになる。

前置詞onで終わっているのは、不自然に見えるかもしれないが、正しい形である。

したがって正解は、③to sit on。

選択肢①to sitを選ぶと、to sit the chairということになってしまい、onが不足していることになる。

また、選択肢④to seatを選ぶと、to seat the chairということになる。seatは動詞として使う場合、「seat 人」の形で、「～を座らせる」という意味になるので、ここでは「その椅子を座らせる(?)」となってしまう、不適。

9. ジョンはまだほんの13歳だ。彼は運転免許を取得するのに十分な年齢ではない。

②

形容詞 enough to V 『to Vするのに十分形容詞だ』

この形が使われている。したがって正解は、②not old enough。



10. 彼は仲良くしやすい人である思う。

①

find O C『OがCだとわかる』

get along with ~『～と仲良くやる』

①to get along withを入れると、I find him easy to get along with. となる。

この文のhim easy to get along withの部分は、He is easy to get along with. と書き換えることができる。

この書き換えた部分に問題がなければ、元々のhim easy to get along withの部分にも問題がないことになる。

He is easy to get along with. はIt is easy to get along with him. の書き換えで、himがItの代わりに主語になって文頭にきた形。It is easy to get along with him. (彼と仲良くやることは、たやすい)は正しいセンテンスなので、したがって、書き換えたセンテンスも正しくなる。

したがって正解は、①to get along with。

11. この川は、あなたが泳いで渡るには広すぎはしない。

③

選択肢③too wideを空欄に入れると、次の文ができる。

This river is not too wide for you to swim across.

この文では、以下の形が使われている。

too 形容詞/副詞 to V『形容詞/副詞すぎてto Vできない』

この形に、「不定詞の意味上の主語『for 名詞』」が付け加わって、

too 形容詞/副詞 for 名詞 to V『形容詞/副詞すぎて名詞がto Vできない』

となり、さらにそれに否定のnotが加わり、「この川は、あなたが泳いで渡るには広すぎるわけではない」という意味になっている。

したがって、意味的にも、文法的にも間違いがないので、正解は③too wide。

12. 始発に乗り遅れないように、明日は早起きしないといけない。

②

in order to V (to Vするために) の否定形→in order not to V (to Vしないように)

この形が使われている。

したがって正解は、②In order not to。

13. その物理の問題は、私が理解するには十分簡単なものです。

④

形容詞 enough to V『to Vするには十分形容詞だ』に意味上の主語が付いた形→形容詞 enough for 名詞 to V『名詞がto Vするには十分形容詞だ』

この形が使われている。したがって正解は、④easy enough for me。

14. 彼らは正午までに到着することになっていた。何かあったのかな。

①

was/were to have Vpp『～することになっていた(がそうしなかった)』

この形は、「過去にあることが起こることになっていたが、そうならなかった」ということを表す。  
was/were toは「予定」を表すbe to Vという形で、to Vの部分にto have Vppという形を使うことで、「あることをすることになっていた(がそうしなかった)」という意味を表す。

正解は、①were to have。

15. 言うまでもなく、私達はこの世界をより平和にしなければならない。

②

①So to speak『いわば』

②Needless to say『言うまでもなく』

③To make matters worse『さらに悪いことに』

④Strange to say『奇妙なことに、不思議な話だが』

この中で、空欄以降と意味的に通じるのは、②Needless to say。

16. 二度とそれをしないと、彼に誓わせた。

①

make O V原『OにV原させる』

この形が使われている。

したがって正解は、①swear。

問2

1. お前は黙っていればいい。

(All you have to do is hold) your tongue.

②③①⑥⑤④⑦

All you have to do is (to) V ~. 『あなたがすべきすべてのことは、～です、あなたは～するだけでいい』

この形が使われている。to Vのtoはよく省略される。

hold one's tongue 『黙る、しゃべらない』

2. 正気を失って得られるものは何もない。

Nothing is (to be gained by losing your temper).

⑥①③②④⑦⑤

be to V 『Vすることになっている』

この形が使われている。

3. 誰にも他人の自由を奪う権利はない。

No one has (the right to deprive others of) their freedom.

不要語③

①⑦⑥④⑤②

the rightをto deprive以下の不定詞が後置修飾している。

deprive A of B『AからBを奪う』

4. 彼女の事を良く知れば、仲良くするのはそんなに難しい事ではない。

That woman isn't (difficult to get along with when you know) her well.

⑤⑥③②①④

5. 私達は3時に会う事になっていた。

(We were to have met) at three.

不要語⑥

④⑤③①②

was/were to have Vpp『～することになっていた(がそうしなかった)』

この形は、「過去にあることが起こることになっていたが、そうならなかった」ということを表す。  
was/were toは「予定」を表すbe to Vという形で、to Vの部分にto have Vppという形を使うことで、「あることをすることになっていた(がそうしなかった)」という意味を表す。

## 第10章 分詞

## 10-A

1. A: クリスがスキーで事故にあったことを知っていますか。

B: はい。彼は脚を骨折していますが、大丈夫だと思います。

③

過去分詞Vppは、名詞を修飾できる。

したがって、過去分詞brokenがlegを修飾し、a broken legという形を作れる。意味は「折れた脚」となる。

したがって正解は、③broken。

2. 彼女は昨夜、バースデー ケーキの燃えているろうそくを吹き消しました。

①

現在分詞Vingは、名詞を修飾できる。

したがって、現在分詞burningがcandlesを修飾し、the burning candlesという形を作れる。意味は「燃えているろうそく」となる。

したがって正解は、①burning。

### 【まとめ】

現在分詞Ving＋名詞 「Vingしている名詞」

例: the sleeping cat 寝ている猫

過去分詞Vpp＋名詞 「Vppされる/た名詞」

\*過去分詞を使用するときは、「Vppされる/た」のように「受け身」の意味になることがポイント。

例: the repaired car 修理された車

3. この近所に住むほとんどの子供たちは、活発で元気です。

③

複数の単語が、名詞を修飾する場合は、その複数の単語を、名詞の後ろに置く。(後置修飾)

したがって、Most children living in this neighborhoodでliving in this neighborhoodの部分が、直前のMost childrenを修飾している。意味は、「この近所に住むほとんどの子どもたち」となる。

【まとめ】

名詞＋(現在分詞Ving～)「(～している)名詞」

例: the cat sleeping on the sofa ソファで寝ている猫

名詞＋(過去分詞Vpp～)「(～される/た)名詞」

例: the car repaired by him 彼によって修理された車

4. その店で売られているカラフルな携帯電話は若者に人気だ。

③

The colorful cell phones sold at the storeで、sold at the storeの部分が、直前のThe colorful cell phonesを修飾している。意味は、「その店で売られているカラフルな携帯電話」となる。

5. オーケストラを聴いたほとんどの人は、演奏の質に感銘を受けたようです。

②

be impressed with ~『～に感銘を受ける』

この形において、be動詞をseemなど第二文型SVCで使われる他の動詞に置き換えることが可能。

seem impressed with ~で『～に感銘を受けているように見える』

したがって正解は、②impressed。

6. 外出時は玄関のドアを閉め、施錠してください。

③

keep O Vpp『OがVppされた状態を保つ』

この形が使われている。したがって正解は、③closed。

7. 彼は誕生日プレゼントを喜んでくれたようだ。

①

be pleased with ~『～で喜んでいる』

この形において、be動詞をlookやseemなど第二文型SVCで使われる他の動詞に置き換えることが可能。

look pleased with ~で『～で喜んでいるように見える』



したがって正解は、①pleased。

8. 彼が無事に到着したという知らせを聞いてうれしく思います。

①

### 【重要ポイント】

英語で「感情を表す」場合は過去分詞形で書くことが多い。

例：

I'm delighted. (私は喜んでいる)

I'm excited. (私は興奮している)

I'm surprised. (私は驚いている)

I'm bored. (私は退屈している)

なぜ、delightedが「喜んでいる」、excitedが「興奮している」、surprisedが「驚いている」、boredが「退屈している」というと、

delightの意味が「喜ばせる」という意味だから。(「喜ぶ」という意味ではない！！！！)

delightの過去分詞形delightedは、受け身の意味になり、「喜ばされる」という意味。「喜ばされる」というのは、自然な日本語にすると「喜んでいる」という意味になる。

delight 「喜ばせる」

delighted 「喜ばされる」＝「喜んでいる」

同じように、

excite「興奮させる」(「興奮する」ではない！)

excited「興奮させられる」＝「興奮している」

surprise「驚かせる」(「驚く」ではない！)

surprised「驚かされる」＝「驚いている」

bore「退屈させる」(「退屈する」ではない！)

bored「退屈させられる」＝「退屈している」

上記の内容から、正解は①delighted。

9. 興奮した群衆が野球場のフィールドに殺到した。

④

【重要ポイント】

excitedとexcitingの違い

8の重要ポイントにある通り、exciteの意味は「興奮させる」(「興奮する」ではない！)。

このexciteの過去分詞形excitedは、受け身の意味になり、「興奮させられた」。

現在分詞形excitingは能動態の意味になり、「興奮させるような」という意味になる。

例：

|                   |                      |                         |
|-------------------|----------------------|-------------------------|
| excite(興奮させる)     | excited(興奮させられた)     | exciting(興奮させるような)      |
| surprise(驚かせる)    | surprised(驚かされた)     | surprising(驚かせるような)     |
| bore(退屈させる)       | bored(退屈させられた)       | boring(退屈させるような)        |
| interest(興味を持たせる) | interested(興味を持たされた) | interesting(興味を持たせるような) |

今回は、「興奮した群衆」を英語で表現するので、興奮したは、excitedかexcitingのどちらかを選ぶ。

「興奮した群衆」というのは、「興奮させられた群衆」なので、正解は④excited。

10. 今まで見た中で最も恐ろしい映画だった。

②

frighten「怖がらせる」の現在分詞形frighteningは、「怖がらせるような」という意味。「怖がらせるような」とは、意識すると「恐ろしい」なので、正解は②frightening。

11. その話は皆を驚かせた。

③

空欄は形容詞が入る。

surprise「驚かせる」の現在分詞形surprisingは「驚かせるような」という意味で、空所に当てはまる。

したがって正解は、③was surprising。

12. 彼のクラスはとても退屈で、眠ってしまいます。

①

His class is so (        ) I can't help falling asleep. には、「so 形容詞 that S' V' ~」(とても形容詞なので、S' V'だ)という表現が使われている。

この表現のthatは頻繁に省略され、今回は省略されている。

そして、「退屈なので、眠る」という関係が成立しているので、空欄には「退屈な」という形容詞を入れる。

「退屈な」はboring。

したがって正解は、①boring。

13. 生徒たちは結果にがっかりした。

②

be disappointed with ~『～にがっかりする』

この形が使われている。したがって正解は、②disappointed。

14. この音はうるさいです。我慢できない。

③

空欄はisの後にあるので、形容詞が入る。

形容詞は②annoyedか③annoying。

annoyedは「いらいらさせられた」、annoyingは「いらいらさせるような」。

この音は、「いらいらさせるような」ものなので、正解は③annoying。

15. メアリーは、自分のドレスが破れていることに気付いたとき、とても恥ずかしかった。

②

when she found that her dress was tornは、「ドレスが破れていることに気付いた時」という意味なので、メアリーは「恥ずかしかった」という選択肢を選ぶ。

過去分詞形embarrassedは、embarrass「恥をかかせる」の受け身の意味で「恥をかかされた」という意味で当てはまる。

したがって正解は、②embarrassed。

16. 母親はその光景にショックを受けたような顔をした。

①

be shocked at ~『～にショックを受ける』

この形において、be動詞をlook、seemなど第二文型SVCで使われる他の動詞に置き換えることが可能。

look shocked at ~で『～ショックを受けているように見える』

したがって正解は、①shocked。

17. この事故で何人がけがをしたか知っていますか。

④

injure『怪我をさせる』

be injured『怪我をさせられる』=『怪我をする』

したがって正解は、④were injured。

18. 学生たちは負傷した兵士の世話をしました。

③

wound『怪我をさせる』

wounded『怪我をさせられた』=『怪我をした』

したがって正解は、③wounded。

19. 右に曲がったら、探している銀行があります。

③

主節はyou will find ~なので、その前の部分は、副詞句になる。

副詞句は次の3種類がある。

1) To V 「～するために(目的)」

2) Ving 「～して、～したら」(現在分詞Vingの分詞構文)

3) Vpp 「～されて、～されたら」(過去分詞Vppの分詞構文)

今回は、「右に曲がったら」という意味を表現すると良いので、正解は上記(2)のVing「～したら」。  
これは、現在分詞Vingの分詞構文。

したがって正解は、③Turning。

20. 今日は日曜日だったので、銀行は休みでした。

③

Since it was Sunday, the bank was closed. (日曜だったので、銀行は休みだった)

この文を分詞構文に変えたものが正解となる。

分詞構文では、

①接続詞を消し、

②動詞をVingに変える。

③接続詞の後ろの主語を消す。ただし、接続詞の後ろの主語と主節の主語が違う場合は残す。

したがって、①まず接続詞Sinceを消し、②動詞wasをbeingに変える。

そして、③itは主節の主語the bankと違うので、残す。

よって、(Since) It being Sunday, the bank was closed.

となる。

よって正解は、③It being。

21. 議論するトピックがなくなったため、議長は会議を終了しました。

②

Since there was no more topics to discuss, the chairperson concluded the meeting. (議論するトピックがなくなったため、議長は会議を終了しました)

この文を分詞構文に変えたものが正解となる。

分詞構文では、

- ①接続詞を消し、
- ②動詞をVingに変える。
- ③接続詞の後ろの主語を消す。ただし、接続詞の後ろの主語と主節の主語が違う場合は残す。

したがって、①まず接続詞Sinceを消し、②動詞wasをbeingに変える。

そして、③thereは主節の主語the chairpersonと違うので、残す。(厳密に言えば、thereは主語ではないが、分詞構文では主語のようなものとみなして扱う。)

よって、(Since) There being no more topics to discuss, the chairperson concluded the meeting.

となる。

よって正解は、②There being。

22. どうしたらいいのかわからず、黙っていました。

①

分詞構文の否定形 : not Ving

この形が使われている。

したがって正解は、①Not knowing what to do。

23. 以前彼に会ったことがあるので、彼のことは容易に認識できた。



②

分詞構文の完了形: Having Vpp

(\*この形は、分詞構文が表す行動が行われた時点が、主節の時点より古いことを明示する。)

Having met him before, I could recognize him easily.

この文は、「彼に以前に会ったことがあったので、簡単に彼を見分けられた。」という意味で、「彼に会った」ことが「彼を見分けられた」時よりも古いので、「彼に会った」の部分を、分詞構文の完了形で表している。

したがって正解は、②Having met。

## 10-B

1. お父さん、学期末までに成績が上がったら、お小遣いを上げてくれない？

①

mindは動名詞を目的語に取る動詞。

したがって、①raisingか②risingが正解。

そして、raiseは「～を上げる」、riseは「上がる」という意味。今回は「お小遣いを上げる」という話をしているので、正解はraiseの動名詞の①raising。

2. 毎日病院にいる祖母に会いに来るなんて、彼はとても思いやりがあります。

④

文中にconsiderate(思いやりがある)という人の性質を表す形容詞がつかわれているので、次の形が使われていると判断する。

「It is 人の性質を表す形容詞 of 人 to V～」

『to Vするなんて、人は形容詞だ』

したがって正解は、④A: It is、B: of。

3.「新雪の中を散歩します。一緒に参加しませんか？」

「ありがとう、でも感謝しない。寒くてたまりません。」

④

stand Vingで、「Vingを我慢する」という意味。したがって正解は、④。

ちなみに、このstandを「我慢する」という意味で用いるときは、通常否定文で使用する。

4. 角で待つように言われた理由がわかりません。バス停はブロックの真ん中にありました。

④

tell O to Vで『Oにto Vするよう言う、命令する』という意味。

角で待つ、はwait on the cornerなので、正解は④to wait。

5. 一人で英語で手紙を書こうとしましたが、1 時間後にはあきらめました。

③

tryは後ろに不定詞が来るか、動名詞が来るかで意味が変わり、意味が通じるものを選択する。

『try to V』(to Vしようとする)

『try Ving』(Vingしてみた)

「自力で英語で手紙を書こうとしたが、一時間後にはあきらめた」という状況で、「英語で手紙を書こうとした」ので、try to writeという形が適切。したがって正解は③。

tryed writingだと、「英語で手紙を書いてみた」という意味になり、「一時間後にはあきらめた」とつながらないので、不適。

6. 私は彼の新しい家が好きでしたが、こんなに狭いとは思っていませんでした。

③

expect O to V 『Oがto Vすることを期待する』

この形が使われている。

したがって正解は、③to be。

7. 両親は、私が海で一人で泳ぐことを決して許しませんでした。

③

allow O to V 『Oがto Vすることを許す』

この形が使われている。したがって正解は、③to swim。

8. おじいさんが風の作り方を説明してくれた。

②

explain (to 人) 名詞句/名詞節 『(人に)名詞句/名詞節を説明する』

\*名詞句/名詞節には、how to V(to Vする方法)やthat節などが入る。

この形が使われている。

したがって正解は、②how to make。

今回は「to 人」の部分が書かれていない。

また、③to makeが誤りの理由は、

explained to make a kiteとすると、「凾を作ることを説明する」(?)という意味になり、意味が通じないので不適。

9.「この気候、気になりませんか？」

「少し。だけどしばらくすると暑いのに慣れる」

④

be used to 名詞／動名詞 『～に慣れている』の中のbeをgetに変えると、次のような意味になる。

get used to 名詞/動名詞 『～に慣れる』

getを使うことで、ある状態への変化を表すことになる。

この形が使われている。したがって正解は、④to being。

(toの後は、動名詞Vingが来る必要がある。)

10. 必要なときはいつでも喜んでお手伝いします。

④

be glad to V 『喜んでto Vする』

この形が使われている。

したがって正解は、④to help you。

11. 彼の本が逆さまだったので、彼はただ本を読むふりをしているだけだと私は理解できました。

④

pretend to V『to Vするふりをする』

この形が使われている。

したがって正解は、④pretending。

12. ジョンの母親は買い物に行きたがっていたので、外出中は弟の面倒を見るようにジョンに頼んだ。

④

ask O to V『Oにto Vするよう頼む』

この形が使われている。

したがって正解は、④to look after。

13. 「彼は何と言った？」

「彼は私に彼と結婚するように言いました、そして私はそれを受け入れました。」

③

ask O to V『Oにto Vするよう頼む』

この形が使われている。

したがって正解は、③to marry。

marryは、「marry 人」で「～と結婚する」という意味。

「marry to 人」という形はないので、④to marry toは誤り。

14. 今話すのが都合が悪い場合は、折り返し電話してもらえますか？

②

convenient(便利な)という形容詞は、物や状況を主語に取り、人を主語に取ることはしない。

したがって正解は、②it is。

15. 政府の決定は増税でした。

③

rise → 自動詞「上がる」

raise → 他動詞「～を上げる」

今回は、税金「を上げる」なので、正解は③raise。

16. この川は 7 月に泳ぐには危険です。

②

1) This book is difficult to understand. (この本は、理解するのが難しい)

2) His car is easy to drive. (彼の車は運転するのが簡単だ)

3) This house is comfortable to live in. (この家は住むのに快適だ)

これらの文において、不定詞内の動詞understand, drive, live inと、主語には、「動詞と目的語の関係が成立している」

1)の文においては、understand this book

2)の文においては、drive his car

3)の文においては、live in this house

という関係が成立している。

したがって、今回の英文でもto不定詞の中の動詞と、主語This riverの間には、「動詞と目的語の関係」が成立している。

②swim inを選ぶと、This river is dangerous to swim in in July.

となる。

swim in in Julyとinが重なっていて間違っているように見えるが、一つ目のinに関してはswim in this riverという関係が成立し、二つ目のinはin Julyという形でJulyと使われているので問題ない。

よって正解は、②swim in。

17. 上司に車を貸してくれるよう頼む勇気がない.

③

不定詞の形容詞的用法が使われている。(名詞 to V『to Vする名詞』)

したがって正解は、③to ask。

18. 良い教師は、生徒が自分で何かを発見できるようにします。

③

allow O to V『Oがto Vするようにする、Oがto Vするのを許す』

この形が使われている。したがって正解は、③to discover。

19. ジョンはまだ 13 歳です。彼は運転免許を取得できる年齢ではありません。

①

形容詞 enough to V『to Vするのに十分形容詞だ』

この形が使われている。したがって正解は、②not old enough。

20. 友達は、天気が悪いときは山に登らないようにと注意されました。

②

warn O to V『Oにto Vするよう警告する』

warn O not to V『Oにto Vしないよう警告する』

上記の否定形を受動態にした形が使われている。

My friends were warned not to climb the mountain in such bad weather.

したがって正解は、②not to climb。



21. 彼の母親は、言葉の選択にもっと注意するように彼にアドバイスしました。

①

advise O to V 『Oにto Vするようアドバイスする』

この形が使われている。したがって正解は、①advise him。

②said、③suggestには、said O to V(×)やsuggest O to V(×)という形はない。

また、④warnには、warn to him to V(×)という形もない。

## 10-C

問1

1. その新鮮なレモンはかなりすっぱかったが、口当たりは良かった。

③

please【動】『喜ばせる』

pleasing【形】『(物事が)喜ばせるような』→『喜ばしい』

pleased【形】『(人が)喜ばされている』→『喜んでいる』

味が『喜ばせるような』味なので、正解は③pleasing。

もし、②pleasedを選んでしまうと、

The fresh lemon was pleasedという受動態be Vppになり、「その新鮮なレモンが喜ばされていた」(??)という意味になってしまい、不適。

2. パーティーの後、子供たちはとても興奮して眠れませんでした。

③

まず、問題の英文には、so ... (that) S' V『とても...なのでS' Vだ』という形が使われている。thatは省略されている。

The children were so (            ) after the party (that) they couldn't sleep.

「とても興奮したので眠れない」という文なので、「興奮している」という意味の選択肢を選ぶ。

excite【動】『興奮させる』

excited【形】『(人が)興奮させられている』つまり『興奮している』という意味なので、

正解は、③excited。

3. 休暇中に子供たちを楽しませ続けるのは難しい。

②

keep O C『OをCの状態に保つ』という形が使われている。

このOとCの間にbe動詞を入れて意味が成立するという法則があるので、それを使ってどの選択肢を入れるか判断する。

children (are) の後に続くのは、amuse『楽しませる』の過去分詞形amused『楽しませられている、楽しんでいる』が適切。

children are amused (子供たちは、楽しんでいる)

したがって正解は、②amused。

4. 観客は退屈そうに劇場を出た.

③

分詞構文には、次の二種類がある。

1) Ving 「～して、～したら」(現在分詞Vingの分詞構文)

2) Vpp 「～されて、～されたら」【受け身の意味】(過去分詞Vppの分詞構文)

分詞構文は次のように作る。

①接続詞を消し、

②接続詞の後ろの主語を消す。

③動詞をVingに変える。

この作り方を踏まえて、選択肢を元の形に直して、正解か不正解かを検証する。

The audience walked out of the theater, ( ).

選択肢③looking boredを元の形に直していく。

The audience walked out of the theater, the audience look bored.

主語のthe audienceを復元し、lookingを元の形lookに直した。

the audience look boredで、「観客は退屈しているように見える」という正しい文なので、選択肢③が正解。

選択肢②と④のboringは、「退屈させるような」という意味なので不適。

また、選択肢①と②のlookedは、「過去分詞の分詞構文」。これらの過去分詞を使った分詞構文は、過去分詞が受け身の意味を持っているため、元の形に直す時、受動態be + Vppにして直す必要がある。

したがって、looked boredは、元の形に直すと、The audience were looked boredという受動態になる。

この文では、be動詞が不要である。なぜなら、look ~「～のように見える」は下記のように、be動詞を入れずに使うから。

例：

He looked happy. (○)「彼は幸せそうに見えた」

He was looked happy. (×)→be動詞wasは不要。

したがって、The audience were looked bored(×)は、誤り。

5. トムは自分のしたことにぞっとしたので、最初は何も言えませんでした。

①

horrified「怖がって」、horrifying「怖がらせて」なので、horrifiedを選ぶ。

そして、what he had doneとthat he had doneのどちらが適切か検討する。

まず、what he had doneのwhatはthe thing(s) whichと言い換える事ができる。したがって、what he had doneはthe thing(s) which he had doneとなり、意味は、「彼がしたこと」という意味になり、問題ない。

一方で、that he had doneは「彼がしたこと」と訳せはするが、文法的に問題がある。doが他動詞なのに、目的語が書かれていないという問題がある。したがって、誤り。

what he had doneつまりthe thing(s) which he had doneの場合は、関係代名詞whichが目的格で目的語の働きをしているため、正しい。

したがって正解は、①horrified at what。

6. 彼女はゆで卵が好きだった。

④

like O C『OがCであることを好む』

この形が使われている。

そして、OとCの間に、be動詞を入れて文が成り立つという法則があるので、her eggs are ( )の空欄に当てはまる語を考える。

④boiledを選ぶと、her eggs are boiled hardとなり、「卵が、固く茹でられる」という意味になり、正しい。

したがって正解は、④boiled。

7. 交通事故で右足を怪我しました。

④

get O Vpp『OをVppされる』

このOとVppの間にbe動詞を入れて意味が通じるという法則があるので、my right leg was ( )の空欄に当てはまる語を考える。

④hurtを入れると、my right leg was hurtとなる。

hurtは「傷つける、怪我をさせる」という意味で、

活用は、hurt – hurt – hurt(原形、過去形、過去分詞形がすべて同じ)。

したがって、was hurtは受動態で「傷つけられた」という意味。

文全体は、「私の右足が傷つけられた＝怪我した」となり、意味が通じるので正解。

8. 一日の仕事で疲れ果てて、彼はいつもより早く寝た。

②

exhaustは「疲れさせる」という意味。

したがって、Exhausted from a day's workは、「一日の仕事で、疲れさせられて」という意味。これは、こなれた日本語にするなら、「一の仕事で、疲れて」という意味になり通じるので、正解は②Exhausted。

9. 脳は酸素を奪われると、その細胞は死に始めます。

④

独立分詞構文が使われている。('独立分詞構文'とは、名詞＋Ving/Vppの形で、「名詞がVingして／Vppされて」という意味になる)

depriveはdeprive A of Bという形で、「AからBを奪う」という意味。

上記を踏まえ、④deprived ofを選択すると、The brain deprived of oxygenで、名詞＋Vppの形になっている。

そして、意味は「脳は酸素を奪われて」となり、通じる。

したがって正解は、④deprived of。

10. 校長は、テーブルの端に座り、満面の笑顔でした。

③

seatは「座らせる」という意味。

そして、seated at the end of the tableとすると、過去分詞から始まる分詞構文となり、意味は受け身となる。

したがって訳は「テーブルの端に座らせられて」となる。そして意識すると、「テーブルの端に座って」となり通じるので、正解は③seated。

11. 歯がとても痛かったので、歯医者で抜かなければなりませんでした。

③

have O Vpp『OをVppされる、OをVppしてもらう』

この形が使われていて、この形に当てはまるのは、③it taken out。

この選択肢を使うと、have it taken outの形で、「それを抜いてもらう」という意味になる。

したがって正解は、③it taken out。

12.説明がわかりにくいと混乱する。

①

confuse【動】『混乱させる』

confusing【形】『(物事が)混乱させるような』

confused【形】『(人が)混乱させられている』

説明が「混乱させるような」ものだと、「混乱させられる」ので、正解は①confusing / confused。

13. アパートで自分の食事を作ることは、私には魅力的とは言えません。

②

soundは、第2文型で使う動詞で、soundの後に形容詞が来ることができる。

選択肢の中で形容詞は、②appealing『魅力的な』。

したがって、これが正解。

14. その仕事をオファーされるとは夢にも思っていませんでした。その仕事を手に入れたときは本当に驚きました。

④

amaze【動】『驚かせる』

amazing【形】『(物事が)驚かせるような』

amazed【形】『(人が)驚かされた』

「その仕事をオファーされるとは思っていなかった」ので、私は「驚かされた」ことになるので、正解は④amazed。

15. 親たちは、仕事と家族の義務の間で引き裂かれていると感じています。



④

tear『引き裂く』

torn『引き裂かれた』

「仕事と家族の義務の間で引き裂かれていると感じる」ので、正解は④torn。

16. ラッシュアワーに学校に行くのは疲れますし、不快です。

①

tire【動】『疲れさせる』

tiring【形】『(物事が)疲れさせるような』

tired【形】『(人が)疲れさせられた』

ラッシュアワーに学校に行くのは、『疲れさせるような』ことなので、正解は①tiring。

問2

1. 購入したことに大喜びしたこの裕福な夫婦は、新しい 8 メートルのヨットをすぐに湾に出そうと決心しました。

①

delighting → delighted

delight【動】『喜ばせる』

delighting【形】『(物事が)喜ばせるような』

delighted【形】『(人が)喜ばされている』

下線部①は、分詞構文の部分で、分詞構文の意味上の主語は、主節の主語のthe wealthy coupleである。

「その裕福な夫婦が」「喜ばされている」ので、下線部①はdelightingではなく、受け身の意味を表す過去分詞のdelightedにする。

2. 音声は言語の主要な形式です。書くことは二次的な形であり、  
人類の歴史の中で比較的最近になって開発された。

④

spoken → speaking

relatively speaking 『比較して言う』

という表現があり、これが下線部④では誤ってspokenとなっている。

正しくは、speaking。

3. プエブロ インディアンは、知られている最も初期の食品保存方法をいくつか開発したため、彼らの作ったものをコミュニティの保管エリアに保管していました。

①

Having being developed → Having developed

下線部①は分詞構文の部分。そして、分詞構文の意味上の主語は、文全体の主語と一致するので、Pueblo Indiansが分詞構文の主語となっている。

Pueblo Indiansが、「知られている最も初期の食品保存方法を開発した」ので、下線部①はhaving Vppという形になる。したがって、下線部①は正しくは、Having developed。beingは不要。

問3

1. 理論は私たちが現実を見る窓のようなものであり、私たちが見る景色は、私たちが見る窓の種類によって異なります。

Theories are like windows through which we view reality, (the view we get depending on the kind of window we) look through.

不要語⑧

④②⑦⑥⑤③①

独立分詞構文が使われている。(独立分詞構文の公式:『名詞＋Ving / Vpp』(名詞がVingして／Vppされて))

the view we getが独立分詞構文の公式の「名詞」に相当し、depending on the kind of window we look throughが「Ving」に相当する。

意味は、the view (which) we getが「私たちが見る景色は」で、depending on the kind of window (which) we look throughは、「私たちが見る窓の種類次第である＝窓の種類によって異なる」となる。

独立分詞構文分詞全体は「私たちが見る景色は、私たちが見る窓の種類によって異なります」という意味になる。

2. 彼女は、薄いスカーフだけで頭を守ったまま、雨の中へ飛び出しました。

She dashed out into the rain, (her head protected only by her thin scarf).

不要語②

⑦⑥③⑤①④

独立分詞構文が使われている。(独立分詞構文の公式:『名詞+Ving / Vpp』(名詞がVingして／Vppされて))

her headが独立分詞構文の『名詞』に相当し、protected only by her thin scarfが『Vpp』に相当する。

意味は、「彼女の頭が、薄いスカーフだけで守られて」となる。

3. 探偵は、殺人の直後に逃げた男を誰かが特定できることを望んでいます。

Detectives hope someone will be able to identify (the man seen running away just after the murder).

不要語⑥

④③②①⑤

the man seen running awayの部分には、次の形が使われている。

【まとめ】

名詞+(過去分詞Vpp～)「(～される/た)名詞」

例: the car repaired by him 彼によって修理された車

したがって、the man seen running awayの意味は、「逃げているところを見られた男」となる。

4. 父は目を輝かせて彼の冒険について語りました。

Father told us (about his adventures with his eyes shining).

不要語⑥

④①②③⑦⑤

with O C(OがCである状態で)【付帯状況のwith】

この形が使われている。

with his eyes shiningの中で、his eyesがO、shiningがCに相当する。

意味は「目が輝いている状態で」となる。

5. 彼はレースに間に合うように自転車を修理してもらいました。

He (had his bicycle repaired in time for the race).

不要語⑦

③④⑥⑤①⑧②

have O Vpp『OをVppしてもらう』

この形が使われている。

had his bicycle repairedの部分で、his bicycleがO、repairedがVppに相当する。意味は、「自転車を修理してもらった」。

## 第11章 関係詞

### 11-A

ポイント

関係詞の問題の正解の判断方法

関係詞は、2文を1文にまとめる働きがある。

例1：

I know the man. + He is taking photos over there.

上記の文のHeが関係代名詞whoに変わる。

I know the man who is taking photos over there.

例2：

I know the man. + You want to meet him.

上記の文のhimが関係代名詞whomに変わる。

I know the man. + You want to meet whom.

そして、関係代名詞whomが2文目の先頭に移動する。

I know the man whom you want to meet.

上記の例1、例2のように、関係代名詞によって2文が1文になる。

そして、この2文が1文に合体していることを、問題を解く際に活かす。

例題：

The flowers (            ) this morning are still fresh.

- ①which cut
- ②which I cut them
- ③which I cut
- ④by which I cut

この問題の解き方は、まずは正解だと感じられる選択肢を空欄に代入する。

ここでは、選択肢③を代入してみる。

The flowers (which I cut) this morning are still fresh.

ここで、この文に誤りがなければ、選択肢③が正しいことになる。

そして、この文の正誤の判断は、このままでは難しく、2文に分けることで判断が容易になるので、この文を2文に分割していく。

1文目は、The flowers are still fresh. (文には必ずSとVがあるので、Vとしてareが入ることになる)

2文目は、上記以外の部分で、which I cut this morning

そして、whichは直前のThe flowersを指すので、the flowers I cut this morningとなる。

そして、文中のcutは他動詞なので、その後ろに目的語が必要。(this morningは目的語ではない)

もともとthe flowersが文の先頭に移動した目的語だったので、これをcutの後ろに書く。

the flowers I cut this morning

O        S V

↓

I cut the flowers this morning

S V    O

こうして、The flowers are still fresh. (一文目)、I cut the flowers this morning. (二文目)という二つの文ができた。

これら二つの文の正誤を考えるが、どちらにも誤りがないので、これらが合わさった文も正しく、選択肢③は正解だと判断できる。

関係詞の問題はこのように、①選択肢の代入、②一文を二文に分けて吟味、の手順で解く。

以下の解説でもこの方法を基本的に踏襲する。

1. 私たちを連れて行ってくれたガイドはたった10歳でした。

②

正解は②who took us there。



関係詞の問題の正解の判断は、選択肢を代入した文を2文に分けて、誤りがないかどうか見ることによって行う。

The guide (who took us there) was only ten years old.

上記の文は、関係詞節の外の文と、関係詞節の2文に分かれる。

関係詞節の外の文→The guide was only ten years old. 正しい文

関係詞節→who took us there. whoはもともとthe guideを指すので、the guide took us there. これも正しい。

したがって、この2文が合わさってできた、The guide (who took us there) was only ten years old. も正しいことになる。

2. 完全に正直だと思う人の話を聞いてください。

③

問題の英文を、2文に分ける。

その際に、文中のthoseはwhoやwhomなどが後に続く時、「人々」という意味になるので、thoseをpeopleと置き換える。

1文目 : Listen to people.

2文目 : people you believe to be utterly honest. このままでは、他動詞believeの後ろに目的語がないので、peopleをbelieveの後ろの目的語の位置に移動させる。

you believe people to be utterly honest.

S V O to V

ここで、2文目は、believe O to V『Oがto Vなことを信じる』という形が使われているので、「あなたは、その人々が完全に正直だと信じる」という意味になる。

そして、この問題の空欄に当てはまる関係詞は、2文目で目的語の位置にあるpeopleを置き換える関係詞を選ぶ必要があるので、目的格の関係詞whomを選ぶ。

したがって正解は、③whom。

3. 待ちに待ったチームがついに到着しましたが、手遅れでした。

④

問題の英文を2文に分ける。

④we had beenを代入して分ける。

この際、関係代名詞の省略をまず補うため、we had beenをwhom we had beenとする。

すると、The team (whom we had been waiting for) finally arrived、となる。(カッコ内が関係代名詞節。カッコの外が主節。)

そして、この文を2文に分ける。

カッコの外 : The team finally arrived.

カッコの中 : whom we had been waiting for. このwhomはthe teamを指す。そして、文末forの後ろに名詞が必要なので、the teamを文末に動かす。

we had been waiting for the team.

こうして出来上がった文は、文法的にも意味的にも正しい。

したがって、正解の選択肢は④we had been。

4. あれは、先週私がお父さんに会った男の子ですか。

③

【訂正事項】

問題の英文で、単語の脱落があった。

Is that boyではなく、Is that the boyが正しい。

選択肢③whoseを代入して、その文を2文に分け、正しいかどうか判定する。

Is that the boy /whose father I met last week?

上記の文中の斜線部分で、二文に分かれる。

1文目 : Is that the boy?

2文目 : whose father I met last week.

whoseは直前のthe boyの所有格「the boy's」を表す。

したがって、the boy's father I met last week.

他動詞metの後ろに目的語がないので、目的語としてthe boy's fatherをそこに移動させる。

I met the boy's father last week.

こうして、できた2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は③whoseだと判定できる。

5. これは彼らが車を盗んだと言う男です。

①

選択肢①whoを問題の英文に代入し、2文に分ける。

This is the man / who they say stole the car.

斜線部で、2文に分かれる。

1文目 : This is the man.

2文目 : who they say stole the car.

whoはthe manに置き換える。

the man they say stole the car.

ここで、stoleの前に主語が不足しているので、the manをそこに移動させる。

they say the man stole the car.

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は①who。

6. 門のそばに立つ木は、20年前に祖父が植えたものです。

①

選択肢①whichを問題の英文に代入し、2文に分ける。

The tree (which stands by the gate) was planted by my grandfather twenty years ago.

カッコ外が一つのセンテンスになり、カッコ内が関係詞節でもう一つのセンテンスになる。

1文目 : The tree was planted by my grandfather twenty years ago.

2文目 : which stands by the gate.

whichはthe treeに置き換える。

the tree stands by the gate.

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は①which。

7. 昨夜はアンのパーティーに行ってとても楽しかったです。

①

選択肢①very muchを問題の英文に代入し、2文に分ける。

Last night we went to Anne's party, which we enjoyed very much.

partyの後ろのカンマが区切りとなり、その前後に1文目と2文目が存在する。

1文目 : Last night we went to Anne's party.

2文目 : which we enjoyed very much.

whichはAnne's partyに置き換える。

Anne's party we enjoyed very much.

ここで、他動詞enjoyの後ろに目的語が不足しているので、Anne's partyをそこに移動させる。

we enjoyed Anne's party very much.

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は①very much  
。

8. これは私があなたに話した雑誌です。

②

選択肢②spoke to you aboutを問題の英文に代入し、2文に分ける。

This is the magazine / which I spoke to you about.

斜線が区切りとなり、その前後に1文目と2文目が存在する。

1文目 : This is the magazine.

2文目 : which I spoke to you about.

whichはthe magazineに置き換える。

the magazine I spoke to you about.

ここで、前置詞aboutの後ろに名詞が不足しているので、the magazineをそこに移動させる。

I spoke to you about the magazine.

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は②spoke to you about。

9. 頂上が雪に覆われた山をいわき山と呼びます。

③

選択肢③whose summitを問題の英文に代入し、2文に分ける。

The mountain (whose summit is covered with snow) is called Mt. Iwaki.

カッコの外が一つのセンテンスになり、カッコ内が関係詞節でもう一つのセンテンスになる。

1文目 : The mountain is called Mt. Iwaki.

2文目 : whose summit is covered with snow.

whoseは所有格なので、the mountain'sとして置き換える。

the mountain's summit is covered with snow.

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は③whose summit。

10. 隣人のラジオが大音量で、集中しづらかった。

②

問題の英文に、選択肢②whichを代入する。

My neighbor had his radio on loud, which made it difficult to concentrate.

次のこの文を2文に分ける。

カンマの部分で、分かれる。

1文目 : My neighbor had his radio on loud.

2文目 : which made it difficult to concentrate.

ここで、whichは前文の内容(隣人が大音量でラジオを流していた)ということを指すので、itやthatで置き換える。

it/that made it difficult to concentrate

こうして出来上がった2つの文はどちらも、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は、②which。

11. あなたの成功の程度はあなたがあなたの仕事をする条件に依存します。

③

問題の英文に、選択肢③under whichを代入する。

The extent of your success depends on the conditions / under which you do your work.

そして、上記の文を斜線のところで2文に分ける。



1文目 : The extent of your success depends on the conditions.

2文目 : under which you do your work.

そして、whichはconditionsを指すので、whichにconditionsを代入する。(conditionsは二回目に使用されていることになるので、“the” conditionsとする)

under the conditions you do your work.

conditions(条件)という単語は、underという前置詞と使用するのが適切。

こうして出来上がった2つの文は、どちらも文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は③under which。

12. 講義で参考にした箇所を読んでください。

③

問題の英文に、選択肢③to whichを代入する。

Read the passage / to which I referred in my lecture.

斜線部で、2つの文に分ける。

1文目 : Read the passage.

2文目 : to which I referred in my lecture.

whichはthe passageを指しているなので、the passageをwhichに代入する。

to the passage I referred in my lecture.

語順を整えるために、to the passageをreferredの後ろに移動させる。

I referred to the passage in my lecture.

こうして出来上がった2つの文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は③to which。

13. 夏目漱石は私が一番尊敬している男です。

③

問題の英文に、選択肢③for whomを代入する。

Soseki Natsume is a man / for whom I have the greatest respect.

斜線部で、上記の文を2文に分割する。

1文目 : Soseki Natsume is a fam.

2文目 : for whom I have the greatest respect.

whomはa manを指すので、これを代入する。(a manは二回目に使用するときは、“the” manとして代入する)

for the man I have the greatest respect.

語順を整えるために、for the manをrespectの後ろに書く。

I have the greatest respect for the man.

こうして出来上がった2つの文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は③for whom。

14. 彼女には3人の息子がいて、全員が医者になりました。

①

問題の英文に、選択肢①of whomを代入する。

She had three sons, all of whom became doctors.

次に、カンマのところで、文を2つに分割する。

1文目 : She had three sons.

2文目 : all of whom became doctors.

whomは、three sonsを指すので、three sonsを代入する。

all of the three sons became doctors.

こうして出来上がった2つの文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は①of whom。

15. 彼は、今はタイトルが思い出せない本について言及しました。

④

問題の英文に、選択肢④the title of whichを代入する。

He mentioned a book / the title of which I can't remember now.

次に斜線部で、上記の文を2文に分割する。

1文目 : He mentioned a book.

2文目 : the title of which I can't remember now.

whichはa bookを指すので、これを代入する。

the title of the book I can't remember now. (a bookは、この文に二回目に現れているので、“the book”としている)

語順を整えるために、the title of the bookをrememberの後ろに移動させる。

I can't remember the title of the book now.

16. 美しい鳥が営巣している背の高い木を見つけた。

③

問題の英文に、選択肢③whereを代入する。

He found a tall tree / where beautiful birds were nesting.

斜線部で、英文を2分割する。

1文目 : He found a tall tree.

2文目 : where beautiful birds were nesting.

関係副詞は、「前置詞＋関係代名詞」に置き換えることができるので、whereをin whichに書き換える。

in which beautiful birds were nesting.

whichはa tall treeを指しているので、a tall treeをwhichに代入する。

in the tall tree beautiful birds were nesting. (tall treeは2回目に使用されているので、“the” tall treeとしている)

語順を整えるために、in the tall treeをnestingの後ろに移動させる。

beautiful birds were nesting in the tall tree.

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は③where。

18. 冷凍庫を持っている理由はいくつかあります。

③

the reason why S' V' ~『～な理由』

この形において、S' V' ~の部分は、完全文となる。

選択肢③whyを入れると、上記の形になり、whyより後のS' V' の部分も完全文(I have a freezer. )となっているので、正解。

19. こうして互いに知り合うことができます。

①

This is how S' V' ~ 『これが、S' V' する方法です、こうやってS' V' することができる』

この形において、S' V' ~の部分は、完全文となる。

選択肢①howを入れると、上記の形になり、howより後のS' V'の部分も完全文 (we can become acquainted with one another.)となっているので、正解。

20. 彼が探していた家は大通りにあった。

③

問題の英文に、選択肢③whichを代入する。

The house (which he was looking for) was on the main street.

カッコ外が一つのセンテンスとなり、カッコ内が関係詞節で、もう一つのセンテンスになる。

1文目 : The house was on the main street.

2文目 : which he was looking for.

上記の文で、whichはthe houseを指すので、the houseをwhichに代入する。

the house he was looking for.

語順を整えるために、the houseをforの後ろに移動させる。

he was looking for the house.

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は③which。

ここで、選択肢①whereがなぜ違うかだが、もし関係副詞を使うなら、分割した英文の2文目は、where he was looking forとなる。

そして、関係副詞whereは前置詞＋whichに置き換えることができるので、

前置詞＋which he was looking for.

そして、whichはthe houseに置き換わるので、

前置詞＋the house he was looking for. となる。

ここで、上記の文において、the houseの前の前置詞は不要であることがわかる。(forの後ろにthe houseが移動すると、the houseの前の前置詞が余ってしまうため)

したがって、選択肢①whereは誤り。

21. 太陽の影響を受けないものは地球上にありません。

②

【訂正点】

主語のThisは間違い。正しくはThere。

問題の英文に、選択肢②thatを代入する。

There is nothing on earth / that is not affected by the sun.

上記の文を斜線部で2文に分割する。

1文目 : There is nothing on earth.

2文目 : that is not affected by the sun.

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は②that。

22. 男が私に手紙をくれて、それを読んでほしいと頼んだ。

②

問題の英文に、選択肢②whichを代入する。

The man gave me a letter, which he requested me to read.

カンマの部分で、文が分かれる。

1文目 : The man gave me a letter.

2文目 : which he requested me to read.

whichはa letterとなる。

a letter he requested me to read.



語順を整えるために、a letterをreadの後ろに移動させる。

he requested me to read the letter. (letterは2度目の登場なので、“the”を付ける)

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は②which。

選択肢①thatが誤りの理由は、今回は、関係代名詞の非制限用法が使われているため。(非制限用法とは、『, which』のように関係詞の前にカンマが使われている形)

この関係代名詞の非制限用法では、thatを使うことができないので、誤り。

23. 寝たベッドはあまり快適ではありませんでした。

③

問題の英文に選択肢③I slept inを代入する。

The bed I slept in wasn't very comfortable.

ここで、関係代名詞の目的格がThe bedとIの省略されているので、whichを補う。

The bed (which I slept in) wasn't very comfortable.

次に上記の英文を2文に分ける。

カッコの外に一つセンテンスがあり、カッコ内が関係詞節で、もう一つセンテンスがある。

1文目 : The bed wasn't very comfortable.

2文目 : which I slept in.

whichはthe bedなので、whichにthe bedを代入する。

the bed I slept in.

次に語順を整えるために、the bedを文末に移動させる。

I slept in the bed.

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は③I slept in。

24. 彼は濃いめがねをかけていて、表情がわかりづらかった。

②

問題の英文に、選択肢②whichを代入する。

He was wearing dark glasses, which made it hard to tell what his expression was.

次に、カンマを区切りとして、上記の英文を2文に分割する。

1文目 : He was wearing dark glasses.

2文目 : which made it hard to tell what his expression was.

whichはdark glassesを指すので、dark glassesをwhichに代入する。

the dark glasses made it hard to tell what his expression was.

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は②which。

25. 彼は私が最初に彼を知ったときの彼ではありません。

①

問題の英文に選択肢①thatを代入する。

He is not the man / that he was when I first knew him.

この英文を斜線部で2文に分ける。

1文目 : He is not the man.

2文目 : that he was when I first knew him.

ここでthatをhe wasの後ろに移動させる。

he was that when I first knew him.

ここで、空欄が③whoや④whomではだめかどうか検討する。

③whoは主格の関係代名詞。④whomは目的格の関係代名詞。

したがって、それぞれ2文目の中で、主語や目的語の役割を果たしている必要がある。

しかし、he(S) was(V) that(C) when I first knew him.

関係代名詞が果たしている役割は、上記の通り、補語(C)である。

それゆえ、主格と目的格の関係代名詞が入ることはできない。

補語の役割を関係代名詞はthatのみなので、正解は①that。

26. 作文を書く上で重要なのは、自分の考えを明確にすることです。

④

問題の英文に選択肢④Whatを代入する。

What is vital in writing a composition is to make your ideas clear.

上記の英文が正しいかどうか検証する。

検証は、関係代名詞whatを、the thing(s) whichに置き換えることで行う。

The thing (which is vital in writing a composition) is to make your ideas clear.

上記の英文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は④Whatだとわかる。

27. 稼いだものを息子に使う。

④

問題の英文に、選択肢④whatを代入する。

He spends what he earns on his son.

上記の英文が正しいかどうか検証する。

検証は、関係代名詞whatを、the thing(s) whichに置き換えることで行う。

He spends the things (which he earns) on his son.

上記の英文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は④whatだとわかる。

28. 町の眺めは思っていたものとは大きく異なります。

②

空欄にwhatを代入することで、what I expectedが「私が期待していたもの」という意味になり通じるので、正解の選択肢は②what。

29. 多くの人が私を批判しましたが、私は自分が正しいと思ったことをしました。

③

選択肢③thought was rightを空欄に代入する。

そうすると、what I thought was rightとなる。

I thoughtは挿入的に意味を加えていて、「正しいと、私が思ったこと」という意味になる。

文法的にも意味的にも正しいので、正解は③thought was right。

30. これがいわゆるノルマン征服です。

②

選択肢②whatを空欄に代入する。

すると、what is called the Norman Conquestという単語の並びができる。

意味は、「ノルマンコンクエストと呼ばれるもの」となる。

文法的にも意味的にも正しいので、正解は②what。

## 11-B

1.ひろみさん、ありがとうございました。この本はまさに私が欲しかったものです。

①

what I wantedで「私が欲しかったもの」という意味。

2.「明日は雨が降ることを心から願っています。」

「あなたが今言ったことから、あなたはピクニックに行きたくないようです。」

②

what you just saidで「あなたが今言ったこと」という意味。

3.ダウントウンに駐車できる場所はほとんどありませんが、これは本当に問題です。

③

空欄の前の内容を受けた関係代名詞を選ぶ。

空欄の前は、「駐車場がほとんどないということ」で、これは「物事」なので、これを受けてwhichを選ぶ。

4. どんなに大変そうに見えても、勉強を続けましょう。

①

however 形容詞/副詞 S' V' ~『たとえどんなに[形容詞/副詞]でも』

空欄の直後にhardという形容詞があるので、上記の形が使われているとわかる。

したがって正解は、①however。

5.英語を話す人々がテレビで見るものの大部分はアメリカ起源です。

②

what English-speaking people watch on TVで、「英語を話す人々がテレビで見るもの」という意味。

6.消防士は、家が燃えている通りに行くのに苦労しました。

③

問題の英文に選択肢③whereを代入する。

The firemen had trouble getting to the street / where the houses were on fire.

上記の英文を斜線部で2文に分割する。

1文目 : The firemen had trouble getting to the street.

2文目 : where the houses were on fire.

whereは関係副詞なので、前置詞＋関係代名詞(ここではon which)に置き換えられる。

on which the houses were on fire.

そして、whichはthe streetを指しているなので、the streetを代入する。

on the street the houses were on fire.

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解は③where。

7.チェックアウトカウンターに着いたとき、お金が足りないことに気づいたので、本当に必要なものを残して残りを残しました。

③

what I really neededで、「私が本当に必要としていた物」という意味。

8.今言ったことを思い出してください。あなたが成長するとき、それは非常に重要になります。

③

what I've just told youで、「私があなたに今言ったこと」という意味。

9.最初は簡単に思えるものが、しばしば難しいことがわかります。

③

What seems easy at firstで、「最初のうちは簡単に思えるもの」という意味。



10.教授は学生に、「講義で言及した箇所を読んでください」と厳しく言いました。

③

問題の英文に、選択肢③to whichを代入する。

Read the passage / to which I referred in my lecture.

この英文を斜線部で、2文に分ける。

1文目 : Read the passage.

2文目 : to which I referred in my lecture.

whichはthe passageを指しているのので、the passageをwhichに代入する。

to the passage I referred in my lecture.

語順を整えるために、to the passageをreferredの後ろに移動させる。

I referred to the passage in my lecture.

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は③to which。

11.砂はガラスを作る材料です。

①

問題の英文に、選択肢①from whichを代入する。

Sand is the material / from which glass is made.

この英文を斜線部で、2文に分ける。

1文目 : Sand is the material.

2文目 : from which glass is made.

whichはthe materialを指しているので、the materialをwhichに代入する。

from the material glass is made

語順を整えるために、from the materialをmadeの後ろに移動させる。

glass is made from the material.

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は①from which  
。

12.母は私に、昼食に出かけるのか、家で食べるのかと尋ねました。

③

whether S' V' ~ で、「S' V' かどうか」という意味。

13.先週、私は輸入車を購入しました。それは私がいつもやりたかったことでした。

④

問題の英文に、選択肢④whichを代入する。

Last week I bought an imported car, which was something I had always wanted to do.

上記の英文を、カンマの前後で分割する。

1文目 : Last week I bought an imported car.

2文目 : which was something I had always wanted to do.

whichは、1文目の内容である「輸入車を買ったこと」を指すので、whichをit「それ」で置き換える。

it was something I had always wanted to do.

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は④which。

14.これらの本はどれも、必要な情報を見つけるのに役立ちます。あなたが最も興味を持っていると思われる本を選んでも大歓迎です。

③

他動詞takeの後ろには、目的語が来る必要がある。

そして、whicheverは、名詞節を作ることができるので、

take [whichever book seems most interesting to you]で、[whichever ~]以下が名詞節となり、目的語になることができる。

意味は、[あなたにとって最も面白く思えるどの本でも]、となり通じる。

したがって正解の選択肢は、③whichever。

15.スーザンは貯金をすべて使ってデモテープの支払いをしました。デモテープのコピーは後でいくつかの音楽会社に送られました。

③

カンマ以下の文に選択肢③whichを代入する。

copies of which she later sent to several music companies.

whichはa demo tapeを指すので、それをwhichに代入する。

copies of the demo tape she later sent to several music companies.

語順を整えるために、sentの後ろに、copies of the demo tapeを移動させる。

she later sent copies of the demo tape to several music companies.

(彼女は後で、デモテープのコピーを、いくつかの音楽会社に送った。)

こうして出来上がった文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は③which。

16.昨夜、シンディは東京での新しい仕事について話してくれました。彼女はとても楽しんでいるようです。

①

問題の英文に、選択肢①whichを代入する。

Last night Cindy told me about her new job in Tokyo, which she appears to be enjoying very much.

この英文をwhichの前のカンマの位置で、2文に分ける。

1文目 : Last night Cindy told me about her new job in Tokyo.

2文目 : which she appears to be enjoying very much.

whichはher new job in Tokyoを指す。(2文目の中で、「彼女が楽しんでいるのは、her new job in Tokyoだから」

それゆえ、whichをher new job in Tokyoに置き換える。

her new job in Tokyo she appears to be enjoying very much.

語順を整えるために、her new job in Tokyoをenjoyingの後ろに移動させる。

she appears to be enjoying her new job in Tokyo very much.

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は①which。

17.私の先生はいつも、すべての生徒が自由に自分を表現できる学習環境を作ろうとしています。

③

問題の英文に、選択肢③whereを代入する。

My teacher always tries to create a learning environment / where all students can express themselves freely.

斜線部で、上記の英文を2分割する。

1文目 : My teacher always tries to create a learning environment.

2文目 : where all students can express themselves freely.

関係副詞は「前置詞＋関係代名詞」に置き換えることができ、今回は、in whichに置き換える。

in which all students can express themselves freely.

そして、whichはa learning environmentを指すので、whichをa learning environmentに置き換える。

in the learning environment all students can express themselves freely.

語順を整えるために、in the learning environmentを文末に移動させる。

all students can express themselves freely in the learning environment.

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は③where。

18.「休暇中にどこかに行きますか？」

「はい、2月でも水泳を楽しめる素敵なビーチを見つけました。」

③

問題の英文に、選択肢③whereを代入する。

I've found a nice beach / where I can enjoy swimming even in February.

斜線部で、上記の英文を2分割する。

1文目 : I've found a nice beach.

2文目 : where I can enjoy swimming even in February.

関係副詞は「前置詞＋関係代名詞」に置き換えることができ、今回は、in whichに置き換える。

in which I can enjoy swimming even in February.

そして、whichはa nice beachを指すので、whichをa nice beachに置き換える。

I can enjoy swimming in the nice beach even in February.

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は③where。

19. 入手したどんな情報でもできるだけ早く教えてください。

③

whatever 名詞 S' V' ~『S' V' したどんな名詞でも』

この形が使われている。したがって正解の選択肢は③whatever。

20.米のアジア人に対する関係は、小麦のヨーロッパ人に対する関係と同じであると言われます。

③

A is to B what C is to D『AのBに対する関係は、CのDに対する関係と同じだ』

この形が使われている。したがって正解の選択肢は③what。

21.台風が急に弱まったのは、村にとって朗報でした。

④

問題の英文に、選択肢④whichを代入する。

The typhoon suddenly became weaker, which was good news for the village.

問題の英文をカンマの部分で、2分割する。

1文目 : The typhoon suddenly became weaker.

2文目 : which was good news for the village.

whichは直前の文の内容「台風が急に弱まった」ことを指すので、whichをitで置き換える。

it was good news for the village.

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は④which。



22.彼の言葉通り、日本の野球選手は今年多くのベースヒットを記録しました。

③

true to one's word『～の言葉通り』

この形が使われている。したがって正解の選択肢は③to。

23.何か私にできることがあれば、教えてください。

①

If there is anything ( ) for youに、選択肢①I can doを代入する。

If there is anything I can do for you

anythingとIの間に省略されている関係代名詞whichを復元する。

If there is anything / which I can do for you

斜線部で、英文を2分割する。

1文目 : If there is anything

2文目 : which I can do for you

whichはanythingを指すので、whichにanythingを代入する。

anything I can do for you

語順を整えるために、anythingをdoの後ろに移動させる。

I can do anything for you

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は①I can do。

24.木下さんが親切なのは友達だけではありません。彼女は助けが必要な人を助けます。

③

whoever V' ~『V' する人は誰でも』(≡ anyone who ~)

この形が使われている。

問題の英文にwhoeverを代入する。

She helps whoever needs her help.

そして、whoeverはanyone whoで置き換えることが出来るので、置き換える。

She helps anyone who needs her help.

意味は、「彼女は、自分の助けを必要な人を誰でも助ける」となり、通じる。

したがって正解の選択肢は③whoever。

## 11-C

問1

1.窓が惨めに粉々になった建物は空いている。

②

whoseはthe premises'に置き換えることができ、置き換えた関係詞節は文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は②whose。

2.私たちが話し合っていた計画は、スミス氏によって提案されました。

①

The scheme we were discussingで、「私たちが話し合っていた計画」

discussは他動詞のため、aboutは不要。

したがって正解の選択肢は①we were discussing。

discuss ~【他】『~を議論する』

×discuss about ~

3.ジェフリー・アーチャーは短編小説のコレクションをいくつか書きましたが、そのうちの1つのタイトルはレッドヘリングでした。

③

空欄にof whichを代入すると、the title of one of whichとなる。whichはseveral collections of short storiesを指し、the title of one of the several collections of short stories was Red Herringというセンテンスは文法的にも意味的にも成立している。

したがって正解は、③of which。

4.彼女は、私がそのような犯罪を犯す可能性が最も低いと私が信じていた無実の少女のように見えます。

①

選択肢①thatを代入すると、

that I believed would be most unlikely to commit such a crime

となる。

そして、I believedは挿入部分なので、これを取り除いて考える。

that would be most unlikely to commit such a crime

thatは直前のan innocent girlを指し、これを代入すると、the innocent girl would be most unlikely to commit such a crimeとなる。

この英文は文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は①that。

選択肢③whomは、目的格であるために不適。なぜなら、上記の英文では、thatの位置には関係代名詞の主格が入るため。

5.私たちが実験を行う方法を検討することは非常に賢明です。

③

選択肢③by whichを代入すると、by which we conduct an experimentとなり、whichをthe methodに置き換えると、by the method we conduct an experimentとなり、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は③by which。

6.首都ヌメアを拠点とするニューカレドニアは、南太平洋に位置するフランスの海外領土です。

①

選択肢①of whichを代入すると、the capital of which is Noumeaとなり、whichはNew Caledoniaを指すので、これを代入する。

the capital of New Caledonia is Noumea.

こうして出来上がった文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は①of which。

選択肢③of thatは不適。なぜなら、前置詞＋関係代名詞の形において、of whichは正しいが、**of that**という形は使わないことになっているから。

7.きっと文句を言うと思った2人の生徒からのコメントはありませんでした。

②

選択肢②whoを代入すると、who I thought were sure to complainとなる。

そして、I thoughtは挿入されている部分なので、これを除いて検討する。

who were sure to complain

このwhoはthe two studentsを指す。

the two students were sure to complain

この文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は②who。

選択肢③whomは不可。この文で、the two studentsは主語の位置にあるので、主格の選択肢whoが正しい。whomは目的格のため当てはまらない。

8.教室でのいじめは、学校での不安を評価するためのリトマス試験として役立ちます。

②

選択肢②by which anxiety at school may be appraisedを検証する。

whichは直前のlitmus test(リトマス試験)を指すので、これを代入する。

by the litmus test anxiety at school may be appraised. (\*appraise 評価する)

この英文は、文法的にも意味的にも正しいので、選択肢②は正解。

9.これはあなたが寝た寝室ですか？

②

選択肢②を問題の英文に代入する。

Is this the bedroom you slept in?

省略されている関係代名詞whichをbedroomとyouの間に復元する。

Is this the bedroom / which you slept in?

上記の英文を斜線部で2分割する。

1文目 : Is this the bedroom?

2文目 : which you slept in

whichはthe bedroomを指すので、the bedroom you slept inとなる。

そして、the bedroomはもともとinの後ろにあったので、you slept in the bedroomとなる。

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は②you slept inだとわかる。

10.他の人に意味が明らかなフレーズのみを使用してください。

④

選択肢④whoseを空欄に代入すると、whose meanings are obvious to othersとなる。

そして、whoseはthe phrases'を指すので、the phrases' meanings are obvious to othersとなる。

この文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は④whoseとなる。

11.荷物はポーターが手入れすることになっていたのですが、実際には必要ありませんでしたが、2階まで自分で荷物を運びました。

④

空欄は選択肢④whichを代入すると、which was actually not necessaryとなる。

もともとはit was actually not necessaryで、この文は文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は④which。

選択肢②thatは不可。理由は、空欄の直前にカンマがあり、「カンマ＋関係代名詞」という関係代名詞の非制限用法では、thatを使用できないため。

12.虫は、私が初めて意識した美しい音の種の間でメッセージを伝えようとして、独特の音を出します。

④

選択肢④of whoseを問題の英文に代入する。

of whose beautiful sound I was conscious for the first time.

whoseはbugsを指すので、

of bugs' beautiful sound I was conscious for the first timeとなる。

語順を整えるために、of bugs' beautiful soundをconsciousの後ろに移動させる。

I was conscious of bugs' beautiful sound for the first time.

この文は文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は④of whose。

13.私が母の知人だと思っていた老人は、まったく見知らぬ人であることがわかりました。

②

選択肢②を問題の英文に代入する。



The old man (whom I thought to be my mother's acquaintance) proved to be a total stranger.

カッコの内外の2文を分析する。

カッコの外の文 : The old man proved to be a total stranger.

カッコの中の文 : whom I thought to be my mother's acquaintance.

whomはthe old manを指す。

the old man I thought to be my mother's acquaintance.

語順を整えるために、the old manをthoughtの後ろに移動させる。

I thought the old man to be my mother's acquaintance. (think O to V 『Oがto Vだと考える』という形が使われている)

こうして出来上がった2文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は②whom。

14. 彼らは世界中からハリウッドにやって来ます。ハリウッドは、最高の人だけが成功できる場所です。

②

選択肢②whereを代入すると、the one place where only the best can make itとなる。

whereはもともとin whichなので、the place in which only the best can make itとなる。

whichはthe one placeなので、関係詞節は、in the one place only the best can make itとなる。

語順を整え、only the best can make it in the one placeとする。ちなみにmake itの意味は、「成功する」という意味。

したがって、「最高の人だけが、その場所で成功できる」という意味になる。

こうして出来上がった文は、文法的にも意味的にも正しいので、正解の選択肢は②where。

15.彼らが自動車を持っていない理由は、彼らが自動車を買う余裕がないからです。

④

reasonという単語は、関係副詞whyと共に『the reason why 完全な文』という形を取るのが一般的だが、whyがthatに置き換わった『the reason that 完全な文』という形もあり、今回はそれが使われている。

したがって正解は、④that。

16.あなたが探しているものは、恐縮ですが、この地域では見つかりません。

①

that whichは関係代名詞whatと同じ意味で、古い言い方。

空欄に選択肢That whichを入れるのは、whatを入れるのと同じことなので、whatを代入すると、What you are looking forで、「あなたの探している物」という意味になる。

文法的にも意味的にも正しいので、正解は①That which。

17.私たちが海の下に都市を建設できる日は遠くないはずです。

②

関係副詞whenは、『時を表す名詞＋when 完全な一文』の形で使うのが一般的だが、『時を表す名詞』と『when 完全な一文』が分割されて使用されることもある。

The day (when they will know the truth) will come.

という文は、

The day will come (when they will know the truth).

と書くこともできる。

今回はそのパターンで、空欄にはwhenが入る。

18.他に誰が反対するとしても、私はとにかくそこに行きます。

②

Whoever V' ~ 『たとえ誰がV'するとしても』

この形が使われている。

19.予想されたように、彼の娘たちは皆甘やかされていました。

④

As might have been expectedで、『予想されたように』

20.誰もが女の子を哀れに思い、彼らが持っていたわずかなお金を彼女に与えました。

②

what (little) 名詞 S' V 『少ないながらもS'がV'する名詞』

この形が使われている。したがって正解は、②what。

21.赤ちゃんコアラは、母親のポーチに約6週間滞在します。その時点で、コアラの体長は約5センチです。

②

whichが関係形容詞として使用されている。

例：

The conference will be held next week, at which time a new CEO will be appointed.

(会議は来週開かれ、その時、新しいCEOが任命されるだろう)

今回は、これと同じ仕方でwhichが使われている。

したがって正解の選択肢は、②which。

22.未払いの請求書を求めてクライアントに電話をかけると、録音されたメッセージに「彼は今出ています」と繰り返し言われました。

④

outstanding 『未払いの』

Whenever S' V' ~ 『S'がV'する時はいつでも』

この形が使われている。

したがって正解の選択肢は、④Whenever。

## 問2

1.日本のサブカルチャーを扱うショップで有名な秋葉原には多くの外国人が訪れます。

②

where → which

下線部②whereの直後は、is celebratedとなっており、Vが来ているので、その直前の部分は、主格成分が来る必要がある。

whereは関係副詞で、主格成分にはなれないので、正しくは主格のwhichを使う。

2.彼女は私があなたを最も助けることができると私が信じる人です。

①

whom → who

whomの直後のI believeは挿入部分なので、ここを除いて検討する。

whom can help you most

そうすると、関係詞の後にcan help youというVが来ているので、関係詞は主格成分である必要がある。

whomは目的格で、主格成分ではないので、主格のwhoを使う。

3.紳士には3人の息子がいて、そのうち2人は戦争で殺されました。

②

them → whom

関係代名詞の継続用法を使うべきところなので、目的格のthemを、目的格のwhomに置き換える。

4.奨学金は、資格試験で最高点を獲得した人に与えられるべきです。

②

no matter who → whoever

no matter who ~は「たとえ誰が~しても」という譲歩の意味で、ここでは意味が通じないので不適。

一方、whoever ~は、「たとえ誰が~しても」という譲歩の意味と、「~する人は誰でも」という意味の両方があり、今回は、whoever achieves the highest markで、「最高点を取った人は誰でも」という後者の意味で使われると考えるなら適切。

したがって、下線部②はwhoeverなら正しくなる。

5.私はついに彼がオートバイを修理するためのレンチを探していることに気づきました。

④

which → with which

6.彼らが海外で遭遇したどんな種類の気候イベントでも、彼らは与えられた状況に適応することができました。

①

However → Whatever / No matter what

howeverは『however 形容詞/名詞 S' V' 』という形を取って、「どんな形容詞/副詞でも」という意味になる。

今回は、下線部①の直後は、kind of climatic eventsという語句が続いているが、このkindは「種類」という意味の名詞なので、形容詞や副詞が続いていない。したがって、howeverを使うことはできない。

whateverあるいはno matter whatは、後ろに名詞を続けて、『whatever / no matter what 名詞』という形で、「どんな名詞でも」という意味になる。

したがって、下線部①HoweverはWhateverあるいはNo matter whatとするのが正しい。

### 問3

1.事態をさらに深刻にしたのは、破壊された家屋の多くで火災が発生したことです。

④⑦②⑤③⑥①

(What made things more serious was that) fires broke out in many of the destroyed houses.

2.これは私が支払ったすべてのお金の価値があります。

③①②⑤④

This is (worth all the money I paid for) it.

3.あなたが私にくれたお金がなかったら、私は飢えていたでしょう。それが、生き続けるために私が持っていたすべてでした。

②⑤③④⑥①

If it hadn't been for the money you gave me, I would have starved. It was (all I had to live on).

all I had to live onは、誤読しやすいので注意。

『I had to live on』で「生き続けなければならない」という意味ではない。

『生き続けなければならないすべてのもの』では、意味が不明。

all I hadは、省略された関係代名詞thatを補うとall that I hadで、これで「私が持っていたすべてのもの」という意味になる。そして、その後の <to live on>は、<生き続けるために>という不定詞の目的用法。

したがって、all that I had to live onの意味は、「生き続けるために、私が持っていたすべての物」となる。

4.彼は難しい問題を解決することに成功しました。それは彼が数学がどれほど上手かを示しています。

③⑤①④②⑥

He succeeded in solving the tough problem, (which shows how good he is at mathematics).

5.過去を何も知らない人を簡単に信用してはいけません。

⑤④⑥③①⑦②

You should (not easily trust a man of whose past you know nothing).

you know nothing of his pastが関係代名詞節の元の文。

そして、所有格のhisが所有格のwhoseとなり、you know nothing of whose pastとなる。

そして、of whose pastが文頭に出て、of whose past you know nothingとなる。

6.日本を訪れるのに最適な時期は、桜が咲いているときです。

⑥④①⑤③②



The best time (to visit Japan is when the cherry blossoms are out).

7.これは私があなたに同意しないところです。

⑤①②④③

(This is where I disagree) with you.

8.私は今日の自分を両親に負っています。

⑦⑤④⑥③②①

I (owe what I am today to my parents).

what S isで、『現在の私(の姿・状態)』という意味。

what I am todayで「今日の自分」

9.メアリーは彼に彼女が持っていたわずかなお金を与えました。

④⑨⑤⑥⑧③

Mary gave (him what little money she had).

①all, ②as, ⑦muchは不要。

what (little) 名詞 S' V' で、『少ないながらもS' がV' する名詞』という意味。この形が使われている。

10.どんな助けが必要な場合でも、彼は子供たちを助けることに失敗することはありません。

⑤①②③④⑥

He never fails to help the children (no matter what help they need).

no matter what 名詞 S' V' 『どんな名詞をS' V' しても』

この形が使われている。

## 第12章 比較

原級(**as ~ as ~**)と比較級(**~er than ~**)の最重要ポイント

原級(as ~ as ~)の文と、比較級(~er than ~)の文は共に、2つの文が合わさってできていることを意識することが重要です。

例えば、次の文の並べ替えをしてみましょう。

(my cat, water, as, as, a dog, much, drinks).

My cat drinks as much as ~. のようにならなかったでしょうか？

実は、上記の並べ方は誤っています。

正しくは、My cat drinks as much water as a dog. (うちの猫は、犬と同じくらいたくさん水を飲む)

です。as ~ as ~のところで、as much asとはしないことです。

よくShe is as tall as the man. のように、「asでtallなどの形容詞を挟む！」と教わるので、すぐas形容詞 asのようにしてしまいがちですが、必ずしもas 形容詞 asという形になるわけではありません。(もちろんなる場合もあります)

正しい原級(as ~ as ~)の文と、比較級(~er than ~)の文の作り方をすることが大切です。

それを、これから説明していきます。

まず、原級(as ~ as ~)の文は、2つの文が合わさってできています。

例：

「彼女は、その男性と同じくらい背が高い。」という文を作ってみましょう。

次のような2つの文を考えます。

She is tall. + The man is tall.

(彼女は背が高い) (その男性は背が高い)

次に、2つの文の間にasを入れます。

She is tall as the man is tall.

そして、形容詞の前にasを入れます。

She is as tall as the man is tall.

こうして、だいぶ完成に近づいてきました。

最後は、asの後ろの文から、重複している単語を省略します。

She is as tall as the man (is) (tall).

上記の文で、isとtallは、2回使われていることになるので、省略します。

(\*tallのような形容詞は必ず省略します。isは残してあってもかまいません)

原級(as ~ as ~)の文は、このように作ります。

では、ここで、「うちの猫は、犬と同じくらいたくさん水を飲む」という日本語を英語にしてみましょう。

まず、2文を考えます。

My cat drinks much water. + A dog drinks much water.

(うちの猫はたくさん水を飲む) (犬はたくさん水を飲む)

次に2つの文の間にasを入れます。

My cat drinks much water as a dog drinks much water.

そして、形容詞の前にasを入れます。今回はmuchが形容詞なので、muchの前にasを入れます。

My cat drinks as much water as a dog drinks much water.

最後に重複している語を省略します。

My cat drinks as much water as a dog (drinks) (much) (water). 完成！

この文では、as much asとなっていないことがポイントです。

このように比較の文が出来ていることを知れば、ミスのない比較の文を書くことができるようになります。

では、次に比較級(～er than ～)の文です。

比較級の文も考え方は同じです。

例：

「私は、その生徒よりたくさん勉強する」を英語にしてみましょう。

まず、2つの文を考えます。

I study much. + The student studies much.

(私はたくさん勉強する)(その生徒はたくさん勉強する)

次に2つの文の間にthanを入れます。

I study much than the student studies much.

次に1つめの文の形容詞あるいは副詞を比較級に変えます。

今回は、muchが比較級なので、これをmoreに変えます。

I study more than the student studies much.

最後に重複している語を省略します。

I study more than the student (studies) (much). 完成！

このように比較級の文は、2つの文が合体することによってできています。

次に、「私の息子は私よりもたくさん本を読む」を英語にしてみましょう。

My son reads many books. + I read many books.

(私の息子はたくさん本を読む)(私はたくさん本を読む)

My son reads many books than I read many books.

My son reads more books than I (read) (many) (books). 完成！

この文のポイントは、more thanとはならず、more books than ~となっていることです。

このように、正確に文を書くカギは、2つの文が合体して比較級の文が出来ていることを意識することです。

では、これを押さえて、以下に進んでいきましょう。

## 12-A

1. 群衆は、7歳の少年が10代の若者と同じくらい速く泳ぐことができたのを見て驚いた。

①

as 形容詞/副詞 as ~『~と同じくらい形容詞/副詞』

この形が使われている。したがって正解は、①fast as。

2. 十人中九人までが、自分の子どもに対するのとおなじくらい、親にも優しくすればよかったと思うのです。

⑦⑤③②①④⑥

Probably nine of ten people (wish they had been as kind to) their parents as they are to their children.

as 形容詞/副詞 as ~『~と同じくらい形容詞/副詞』

この形が使われている。

3. 質問に答えるのは私が思っていたほど難しくはありませんでした。

②

as 形容詞/副詞 as ~『~と同じくらい形容詞/副詞』

この形が使われている。したがって正解は、②as difficult。

4. 私にはその計画をやり遂げるのに十分な資金がありません。

①⑤②③④

I haven't got (as much money as I really need) to complete the project.

as much money asとなることに注意！

as much asとならない理由は、「原級(as ~ as ~)と比較級(~er than ~)の最重要ポイント」を参照。

5. 飛行機での移動は、電車の2倍の費用がかかります。

③

倍数表現as 形容詞/副詞 as ~『~のX倍形容詞/副詞だ』

この形が使われている。

今回は、twice(2倍)という倍数表現を用いている。

したがって正解の選択肢は、③twice as much as。

6. キャロルは高級ホテルのオーナーの娘で、先月、私の10倍の値段のスポーツカーを購入しました。

②

倍数表現as 形容詞/副詞 as ~『~のX倍形容詞/副詞だ』

この形が使われている。



今回は、ten times (10倍)という倍数表現を用いている。

したがって正解の選択肢は、②ten times as expensive。

7. 前の事務所の大きさは新しい事務所の3分の1だった。

④⑤③②①

Our old office (was one third as large) as our new one.

分数表現 as 形容詞/副詞 as ~『～の1/X形容詞/副詞だ』

この形が使われている。

分数は、今回はone third (3分の1)が使われている。

8. このエアコンの消費電力はあのエアコンの2分の1だ。

⑥②①⑤③④

This air conditioner uses (half as much electricity as that one).

分数表現 as 形容詞/副詞 as ~『～の1/X形容詞/副詞だ』

この形が使われている。

2文の1は、英語ではhalfと表現する。

as much electricity asとなることに注意！

as much asとならない理由は、「原級(as ~ as ~)と比較級(~er than ~)の最重要ポイント」を参照。

9. 私たちの新しいコンピューターは、従来のコンピューターのほぼ半分のサイズです。

②

原級(as ~ as ~)や比較級(~er than ~)以外の比較表現

倍数表現/分数表現 the 名詞 of ~

例文：

This house is three times the size of that house.

(この家は、あの家の3倍の大きさだ)

この形が使われている。

したがって正解は、②half the size of。

10. 車はジェット機の約10分の1の速度で走ります。

②④①⑥③⑤

A car (runs at approximately one-tenth the speed of) a jet plane.

原級(as ~ as ~)や比較級(~er than ~)以外の比較表現

倍数表現/分数表現 the 名詞 of ~

例文:

This house is three times the size of that house.

(この家は、あの家の3倍の大きさだ)

この形が使われている。

one-tenth the speed of a jet planeで、「ジェット機の10分の1のスピード」という意味。

11.家に帰りたくなかったので、レストランでできるだけ多くの時間を殺しました。

②

as ~ as possible 『できるだけ～』

この形が使われている。

as much asとならない理由は、「原級(as ~ as ~)と比較級(~er than ~)の最重要ポイント」を参照。

12.この本をできるだけ注意深く読んでください。

①

as ~ as one can (= as ~ as possible) 『できるだけ～』

この形が使われている。

したがって正解は、①as carefully as you can

13.私が彼の任務を手伝ったとき、彼は感謝の言葉さえ言わなかった。

③

not so much as V原 『V原さえしない』

この形が使われている。

したがって正解は、③so much as say。

14.怒った人は、謝罪の言葉を何も言わずに立ち去りました。

①

without so much as Ving 『～さえしないで、～もなしで』

この形が使われている。

したがって正解は、①as saying。

15.彼はかつてないほど勤勉な人です。

①

as 形容詞 a 名詞 as ~

この形が使われている。

原級のasに「a + 形容詞 + 名詞」をつける場合は、「as + a + 形容詞 + 名詞」ではなく、「as + 形容詞 + a + 名詞」のようにaの位置が変わる。

例文：

That man is as great a man as Gandhi.

（その男はガンジーと同じくらい偉大な男だ）

×as a great man

○as great a man

したがって、今回の問題では、「as diligent a man」。

16.これは私が今まで直面したどの仕事よりも難しい仕事です。

③

以下のような原級を使って、最上級を表す用法がある。

as ~ as any 名詞 『どんな名詞よりも～』

例文：

He is as strong as any man in the world.

（彼は、この世界のどんな男よりも強い）→彼は世界で一番強い。

この用法が今回は使われている。

したがって正解は、③any。

17.200人もの方にご来場いただきました。

④

as many as 可算名詞 『(多さを強調して)～もの人・物』

この形が使われている。

したがって、正解は④as many as。

18. その授業に出席した学生は、わずか10 人だった。

③

As few as 10 students attended the class.

as few as 可算名詞 『(少なさを強調して)わずか～の人・物』

この形が使われている。

19.世界の一部の地域では、週に6～7日働く人々はわずか4ドルしか稼ぎません。

④

as little as ~ 『(少なさを強調して)わずか～』

この形が使われている。

したがって正解は、④。

20.彼らは早くも15世紀に印刷を発明しました。

④

as early as ~『(時期の早さを強調して)早くも～に』

この形が使われている。

したがって正解は、④early。

21.次郎の車は私の車よりはるかに経済的です。

③

much 比較級『(比較級を強調して)はるかに～』

この形が使われている。

したがって正解は、③much。

22.彼はこざかしいというより賢いのだ。

③

more A than B『BというよりAだ』

wiseとcleverは、ともに賢いという意味だが、ニュアンスが違っていて、wiseは「知恵があって、賢い」という意味合いがあり、cleverは「頭の回転が速く、こざかしい」という意味合い。このwiseとcleverを比較して、どちらかと言えば、wiseのほうだ、という時、more A than Bという形を使う。

AとBには、形容詞が来ることもでき、その場合は、形容詞は原形のままにする。

したがって正解は、③more wise。

23. オリオン座の星のベテルギウスは直径が太陽の700 倍もある。

①⑧②⑤⑥③⑦④

Betelgeuse, a star in the constellation of Orion, has a diameter (700 times larger than that of the sun).

a diameter 700 times larger than ~で、largeという形容詞を中心とした部分が、a diameterという名詞を後置修飾している(形容詞による後置修飾)。

24. ジョンは二人の少年の中で背が高い。

③

「2つあるいは2人の中で、より～だ」ということを表現する場合は、『the 比較級 of the two』と表現する。

比較級にtheが付くことがポイント。

したがって正解は、③the taller。

25. ゲームが長く続くほど、プレイヤーはより疲れます。

③

『the 比較級 ~, the比較級 ~』構文の最重要ポイント



『the 比較級 ~, the 比較級 ~』構文は、次の点に注意を払う必要があります。

「**the** 比較級構文は、元の文を意識して作文する。」

まず、次の問題を考えることで、元の文を意識することについて、理解を深めてみましょう。

例題: 並べ替えましょう。

『たくさん本を読めば読むほど、よりたくさん知識を得られる』

(you, books, more, read, the, you, can, get, more, the, knowledge).

この問題は、次のように書いてしまいがちです。

The more you read books, the more you can get knowledge. (×)

しかし、この英文は誤りです。

正しくは、次のようになります。

The more books you read, the more knowledge you can get. (○)

その理由は、the 比較級構文の元の文を考えることでわかります。

元の文:

you read more books, you can get more knowledge.

この文が元の文になり、これをベースにthe 比較級の文を作ります。

まず、上記の文の比較級の前にtheを付けます。

you read the more books, you can get the more knowledge.

次に、the more booksとthe more knowledgeを各節の前に出します。

The more books you read, the more knowledge you can get. 完成！

注意点は、the moreだけを前に出さないことです。

なぜなら、moreという形容詞がbooksやknowledgeを修飾しているので、moreだけ前に出して、この修飾関係を断ち切ってははいけないからです。

まとめると、次のようになります。

「**the** 比較級構文では、『形容詞＋名詞』のつながりに注意を払う」

「**the** 比較級構文は、元の文を意識して作文する」ことが大切であることをさらに定着させるために、もう一題例題を解いてみましょう。

例題：並べ替えましょう。

『太っていればいるほど、病気になりやすい』

(the, you, are, fatter, you, are, more, likely, to, sick, get).

この問題のありがちな間違いは、

the more you are fat, the more you are likely to get sick. (×)

この問題は、正しくは次のようになります。

The fatter you are, the more likely you are to get sick. (○)

これが正解の理由は、元の文を考えることによってはっきりします。

元の文：

you are fatter, you are more likely to get sick (\*be likely to V『～する可能性が高い』)

この元の文の比較級にtheを付けます。

you are **the** fatter, you are **the** more likely to get sick.

次に、the fatterとthe more likelyを文頭に出します。

The fatter you are, the more likely you are to get sick.

ここで、形容詞likelyの比較級のmore likelyにtheが付いたthe more likelyが文頭に出ることがポイントです。

そして、結果として、元の文とは語順が変わっていることに注意しましょう。

以上が、the 比較級の構文の注意ポイントです。

上記のポイントを踏まえて、the 比較級構文の元の文を考える。

元の文：

the game went on longer, the players become more tired.

この文の形容詞にtheを追加する。

the game went on the longer, the players become the more tired.

そして、the longerとthe more tiredを各節の先頭に移動させる。

The longer the game went on, the more tired the players become.

したがって正解の選択肢は、③The longer the game.

26. 時間をかければかけるほど英語は上達する。

⑤①⑥③⑦②⑧④

The more (time you spend, the more your English improves).

問題25の解説の中の、『the 比較級 ~, the比較級 ~』構文の最重要ポイントを元に考える。

まず、the比較級構文の元の文を考える。

元の文：

you spend more time, your English improves more.

この文の比較級にtheを付ける。

you spend the more time, your English improves the more.

the more timeとthe moreを各節の先頭に移動させる。

The more time you spend, the more your English improves. 完成！

27.「市長は、遊園地を建設するハリーの新しいプロジェクトについてどう思いましたか？」

「彼はそれがとても好きでした。実際、彼がそれについて聞くほど、彼はより熱心になりました。」

③

問題25の解説の中の、『the 比較級 ~, the比較級 ~』構文の最重要ポイントを元に考える。

まず、the比較級構文の元の文を考える。

元の文：

he heard more about it, he got more enthusiastic.

この文の比較級にtheを付ける。

he heard the more about it, he got the more enthusiastic.

the moreとthe more enthusiasticを各節の先頭に移動させる。

The more he heard about it, the more enthusiastic he got.

したがって正解の選択肢は、③the more enthusiastic。

28. 机の上には本が二冊しかなかった。

There were no more than two books on the desk.

①

まとめ

no more than ~『(少なさを強調して)たった～(only ~)』

no less than ~『(多さを強調して)～も』

not more than ~『～より少ない、せいぜい～』

not less than ~『～より多い、少なくとも～』

今回は、「2冊しかなかった」というのは、少なさを強調しているので、no more thanを用いる。

したがって正解の選択肢は、①no more than。

29. 彼の家は駅からせいぜい10 分だ。

His house is not more than ten minutes from the station.

③

まとめ

no more than ~『(少なさを強調して)たった~(only ~)』

no less than ~『(多さを強調して)~も』

not more than ~『~より少ない、せいぜい~』

not less than ~『~より多い、少なくとも~』

「せいぜい10分」というのは、10分より少ないことを表すので、正解は「~より少ない、せいぜい~」という意味の、③not more than。

no more than ten minutesだと、「only ten minutes(たった10分)」となり、10分間ちょうどということになり、「せいぜい10分」、つまり「多くとも10分」とは意味が違ってしまう。

30.この夏ははるかに暑いですが、去年の夏よりはるかに雨が少ないです。

②

much、by farは比較級の強調に使える。

一方で、veryは比較級の強調に使えない。

したがって、選択肢①~~very~~ – by farは誤り。②~~very~~ – muchも誤り。④much – ~~very~~も誤り。

②much – by farは、ともに比較級の強調ができるので、正解。

31.それは美しい日でした。自転車に乗るには、これ以上ない天気でした。

①

It was a beautiful day. とあるので、過去の話をしていることがわかる。

したがって、選択肢①have been better、③have gone badは、couldと合わさって、『助動詞 + have + Vpp』という過去について述べる助動詞の形になるため正しい。

そして、①を選ぶなら、The weather couldn't have been betterとなり、「(天気が良かったので) 天気はこれ以上を望めないほどのサイクリング日和だった」という意味になる。

したがって正解は、①have been better。

32.問題の解決は、私たちが思っていたよりも困難でした。

①

「問題の解決は、思っていたより困難だった」となると、「思っていた」時点と「解決した」時点という二つの過去の時点が存在することになり、より古い「思っていた」時点を過去完了形で表現すべきなので、正解の選択肢は①we had thought。

## 12-B

1.祖父を再び怒らせましたか？そんなことをしてはだめですよ。

①

比較級を使った慣用表現know better than ~を問う問題。

know better than ~ は『～するほど馬鹿じゃない』という意味。



You should know better than that. の直訳は、「そんなことをするほど馬鹿であってはいけない」。

2. 彼女は自分の仕事を知りませんが、私とほぼ同じくらい稼いでいます。

③

nearly as ~ as ~で、「～とほぼ同じくらい～」という意味。

nearlyで、程度が近いことを表す。

したがって正解は、③nearly as much as。

原級や比較級の修飾表現は、原級や比較級の直前に置く。

3. 暑いときは食欲がなくなる傾向があるため、夏は冬よりも体重が増える可能性が低くなります。

①

「夏は食欲がなくなる傾向があるため、体重が増える可能性が低い」ということ言いたいため、less likely to gain weightと述べる選択肢を選ぶ。

したがって正解は、①less likely。

4. A: 急に寒くなってきましたね。

B: はい、でもこれまでは異常に暖かったです。冬の残りの部分は、今と同じくらい寒くなると予想されます。

①

「これまでは異常に暖かったので、これからは急に気温が下がった今と同じくらい寒くなる」ということを言いたいため、選択肢①as cold as it is nowを選ぶ。

選択肢④as cold as it has beenを選ぶと、has beenという現在完了形が使われているため、「これまでと同じくらい寒い」という意味になってしまうが、これまでは暖かったので、意味が食い違ってしまうので不適。

5.「あなたが料理するものはすべて本当においしいです。」

「ありがとう。でも、私はあなたほど料理が上手ではないと思います。」

③

as 形容詞 a 名詞 as ~

この形が使われている。

原級のasに「a + 形容詞 + 名詞」をつける場合は、「as + a + 形容詞 + 名詞」ではなく、「as + 形容詞 + a + 名詞」のようにaの位置が変わる。

例文：

That man is as great a man as Gandhi.

(その男はガンジーと同じくらい偉大な男だ)

×as a great man

○as great a man

したがって、今回の問題では、「as good a cook as you」となる。(×as a good cook)

正解の選択肢は、③as good a。

6.これは私が今までに味わった中で最もおいしいアップルパイです。レシピはもらえますか？

①

in my lifeとあるので、味わったのは「私」となるので、正解の選択肢は①I've。

③we'veは、in my lifeと整合性が取れないので不適。

7.「私はあなたの庭が大好きです。とてもきれいです。」

「まあ、庭が小さければ小さいほど、手入れが簡単になります。」

③

the 比較級構文が使われているので、12-Aの25番の『the 比較級 ~, the比較級 ~』構文の最重要ポイントを参照。

元の文を考えると、次のようになる。

元の文：

the garden is smaller, it is easier to look after it.

次に比較級にtheを付ける。

the garden is **the** smaller, it is **the** easier to look after it.

次に、the smallerとthe easierを各節の先頭に移動させる。

The smaller the garden is, the easier it is to look after it.

ここで、the 比較級構文で、「the 比較級 名詞 is」となったとき、「is」はよく省略されるので、省略する。

The smaller the garden (is), the easier it is to look after it. 完成！

したがって正解の選択肢は、③the easier it is。

8.家で食べることは、レストランで食べるよりもはるかに経済的であることが多いと思います。

①

far 比較級 『はるかに～』

farは比較級を強調するために使える。

したがって正解の選択肢は、①far。

9.交通量がいつもより少なかったので、今日は早くここに到着しました。

③

「今日早くここに到着できたのは、交通量がいつもより少なかった」からなので、the traffic was lighterとする。

したがって正解の選択肢は、③lighter。

10.私たちの校庭はこのサッカー場の2倍の広さです。

①

「倍数表現 + as ~ as ~」や「倍数表現 + 比較級 than ~」は、ともにネイティブによって使用される形だが、厳密に言うと、「倍数表現 + 比較級 than ~」の方は、避けた方が良いとされる。

理由を、以下に例文によって示す。

例文1:

This rope is five meters longer than that one. (このロープは、あのロープより5メートル長い)

このように、比較級の前のfive metersには、「このロープとあのロープの差」を表す働きがある。

では、次の例文はどういう意味になるだろうか？

例文2:

This rope is twice longer than that one.

この文では、差を表現する部分にtwiceという表現が使われているため、「このロープとあのロープの長さの差は、2倍だ」ということになる。つまり、このロープの長さを1メートルとすると、あのロープの長さとの差は、このロープの2倍(twice)の長さの差(2メートル)となる。それゆえ、このロープが1メートルで、あのロープが1メートル+2メートルで、3メートルの長さということになる。それゆえ、結局、このロープとあのロープには3倍の差があることになる。

そのため、「倍数表現 + 比較級」は、本来表現したいことを表現していないことになるので、避けることが良いとされている。

したがって、この問題も、①as large asを選んで、twice as large asとするほうが正しい。③larger thanを選び、twice larger thanとするのは好ましくない。

11.「市長は、遊園地を建設するハリーの新しいプロジェクトについてどう思いましたか？」

「彼はそれがとても好きでした。実際、彼がそれについて聞くほど、彼はより熱心になりました。」

③

12-Aの問題25の解説の中の、『**the** 比較級 ~, **the**比較級 ~』構文の最重要ポイントを元に考える。

まず、the比較級構文の元の文を考える。

元の文：

he heard more about it, he got more enthusiastic.

この文の比較級にtheを付ける。

he heard the more about it, he got the more enthusiastic.

the moreとthe more enthusiasticを各節の先頭に移動させる。

The more he heard about it, the more enthusiastic he got.

したがって正解の選択肢は、③the more enthusiastic。

12.重工業は、より自動化された機械とより少ない人員の方向に進んでいます。

③

more automated machinesとあり、機械の自動化が進むので、manpowerは減ると考えられる。

automatedにmoreという比較級が付いているため、これに対応させる形で、manpowerの減少を比較級で表す必要がある。そのため、littleの比較級lessで、less manpowerとする。

したがって、正解は③less。

13.このクラスの誰も、アビーほど親切ではありません。彼女はいつも困っている人を助けます。

③

No one [Nobody] is as ~ as ~. で「～ほど～なのは誰もいない」という意味になる。

したがって正解は、③A: Nobody, B: as。

14.かわいそうなナンシー！私は同じドレスを20ドル安く購入しました。

③

金額を比較級で修飾する際は、large / littleの比較級である、larger / lessを用いる。

したがって正解は、③less。

②fewerを金額に用いることはしない。

15.電話の人気により、最近は手紙を書く人が少なくなっています。

②

「手紙を書く人が少なくなっている」ので、fewの比較級fewerを用いる。

したがって正解は、②fewer。

①almost、③hardlyは、ともに副詞なので、名詞peopleを修飾することはできない。

また、④leastはlittleの最上級であり、そもそもlittleでpeopleを修飾して「少ない人数」という意味にはならないので(little peopleは「小さい人々」という意味になってしまう)、least peopleという言い方も意味が通じない。